

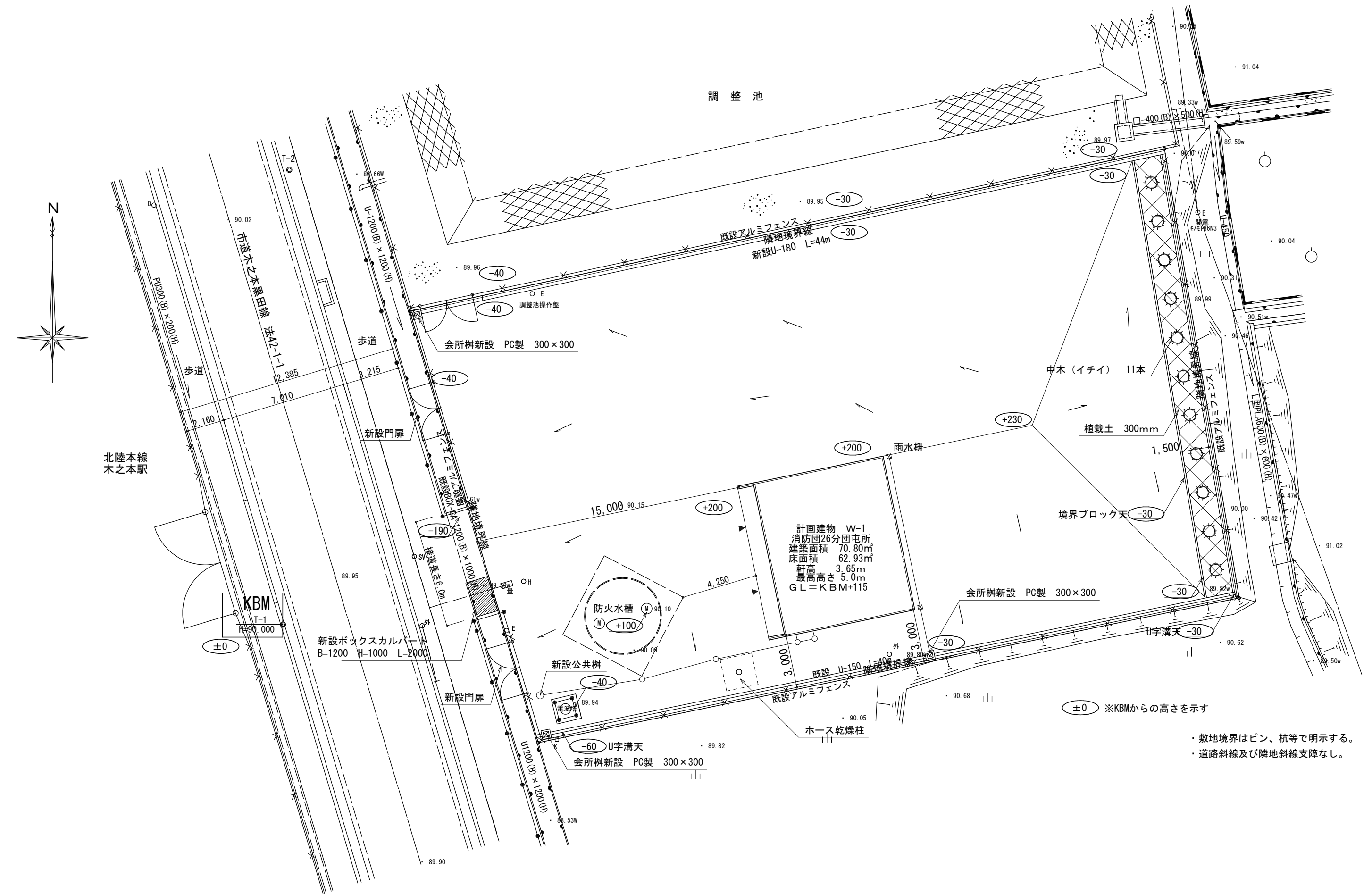
消防団第26分団拠点施設整備工事

図面リスト					
A-1	建築工事特記仕様書 (1)	S-1	構造特記仕様書	E-1	電気設備工事特記仕様書
2	建築工事特記仕様書 (2)	2	鉄筋コンクリート構造配筋標準図	2	電気設備 配置図
3	建築工事特記仕様書 (3)	3	地盤調査図	3	電気設備 平面図
4	建築工事特記仕様書 (4)	4	基礎伏図, 基礎詳細図		
5	配置図, 敷地丈量図	5	床伏図, 梁伏図, 小屋伏図	M-1	機械設備工事特記仕様書
6	面積求積図	6	筋違・柱脚柱頭金物図	2	給排水衛生設備 配置図
7	仕上表, 平面図	7	軸組図 (1)	3	給排水衛生換気冷暖房設備 平面図
8	立面図, 断面図	8	軸組図 (2)		
9	矩計図 (1)				
10	矩計図 (2)				
11	矩計図 (3)				
12	平面詳細図, 天井伏図				
13	展開図 (1)				
14	展開図 (2)				
15	建具表				
16	外構工事図				
17	ボックスカルバート詳細図				
18	ホース乾燥柱詳細図				
19	除却建物図 (1)				
20	除却建物図 (2)				

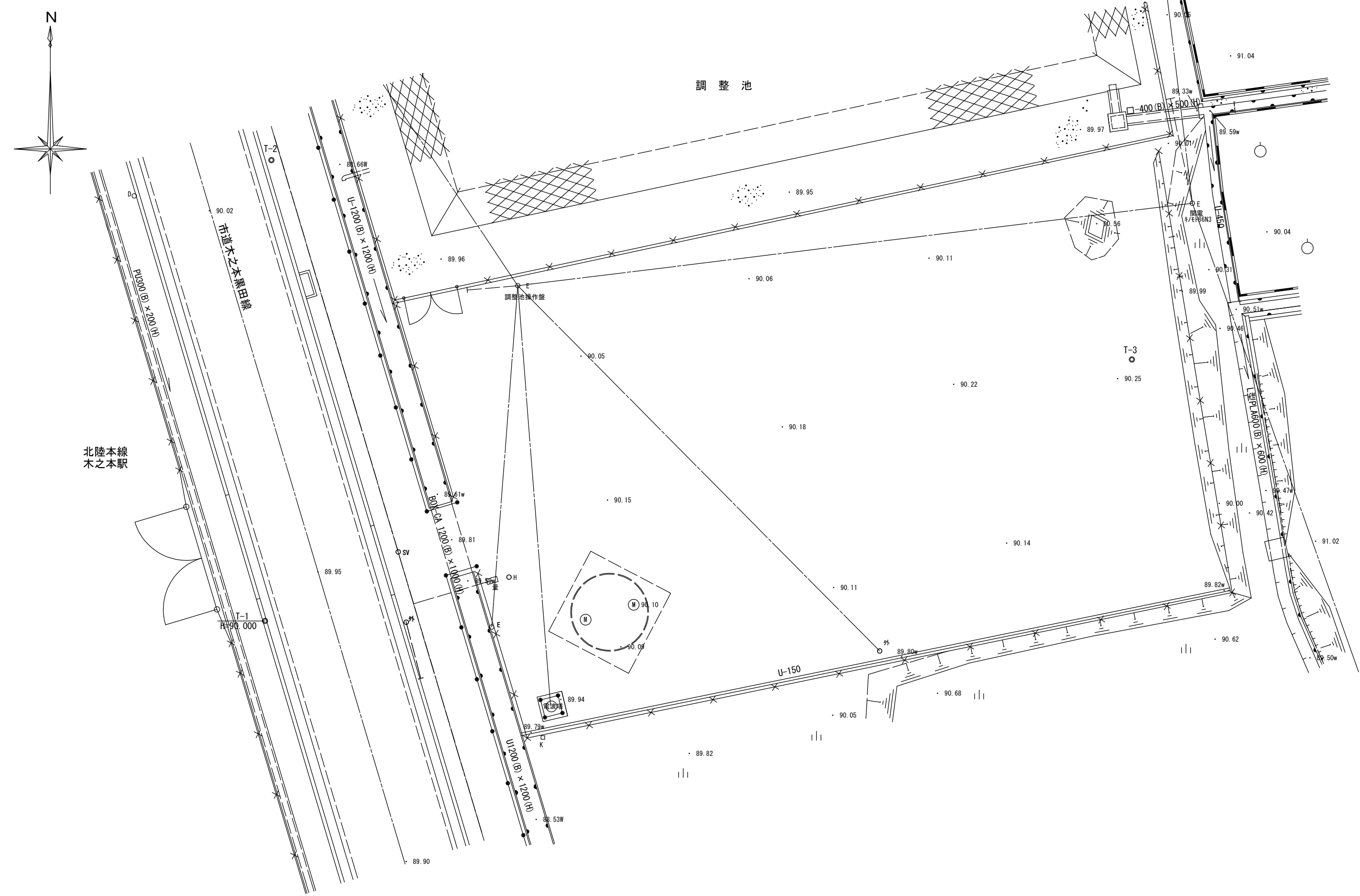
鉄筋工事	④ 床下防湿層	※ 設ける ※ 設けない	地中梁がある場合は、250mm折り下がりとする。	(4.6.5)	8 コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント コンクリート型セメント	11 タイル タイル タイル タイル タイル タイル タイル タイル タイル タイル	3. セメントモルタルによる タイル張り	内装タイルの工法 ※ 改良積上げ張り 施工箇所 () (11.2.7) (表11.2.3)	14 金 属 工 事	② ステンレス 表面処理	※ HL (14.2.1)																																								
	5. 土間スラブ (土間コン) 下断熱材	※ 設ける	A種押出法ポリスチレンフォーム保温版3種b 厚25mm+砂30mm敷き込みとし、施工範囲は建築工事標準 詳細図(図7-01-1)による。	(5.2.1)(表5.2.1)				9 防 水 工 事			12 木 工 事	4. 接着剤による タイル張り	内装タイルの工法 ・ 接着剤張り 施工箇所 () (11.3.7) (表11.3.2)	4. 鉄鋼の亜鉛 めっき	5. 軽量鉄骨 天井下地	野縁などの種類 (14.4.2) (表14.4.1)																																			
	6. 砂利地業	※ 再生クラッシュラン RC-40 () (4.6.2~3)											10 石 工 事			13 屋 根 及 び 工 事	5. 伸縮調整目地 及びひび割れ 誘発目地	位置 ※ (表11.1.1)による (11.1.3)	6. 軽量鉄骨 壁下地	7. 金属成形板 張り	種別 (角波カラーガルバリウム鋼板φ0.4) (14.6.2) (14.6.3)																														
	5. ① 鉄筋の種類	規格名称	種類の記号	径 (mm)														14 金 工 事			14 金 工 事	6. 接着力試験	※ (表11.1.2)による (11.1.5)	7. 鋼製束	8. アルミニウム 製笠木	表面処理 ※ BB-1種 ・ BB-2種 (14.7.2) (表14.7.1) (表14.2.1)																									
	2. 溶接金網	※ JIS G 3551のJIS表示認証製品 線径(mm) 6.0 × 網目(mm) 100 使用箇所 () (5.2.2)																					15 左 官 工 事			15 左 官 工 事	2. 造作用集成材	造作用集成材 12.2.1.(3)による (12.2.1)	9. 手すり及び タラップ	9. アルミニウム 製笠木	表面処理 ※ BB-1種 ・ BB-2種 (14.7.2) (表14.7.1) (表14.2.1)																				
	3. 鉄筋の継手	接合方法	径(mm)	施工箇所																								16 建 具 工 事			16 建 具 工 事	3. 造作用単板 積層材	造作用単板積層材 12.2.1.(4)による (12.2.1)	10. 鋼製束	10. 鋼製束	※ フクビ 鋼製束NK T390 T 同等品															
	4. 耐久上不利な 箇所の鉄筋の かぶり厚さ	施工箇所等	表5.3.6の値に加える寸法(mm) (5.3.5)																														17 鉄 骨 工 事			17 鉄 骨 工 事	4. 直行集成板 (CLT)	直行集成板 12.2.1.(5)による (12.2.1)	1. モルタル塗り	1. モルタル塗り	モルタル ・ 現場調査材料 ・ 既調査材料 (15.3.2)										
	5. 各部配筋	各部の配筋は、図示による。図示がなければ、標準仕様書 末尾 資料の「各部配筋 参考図」による。 (5.3.7)																																				18 鉄 骨 工 事			18 鉄 骨 工 事	5. 防腐・防蟻 ・ 防虫処理	薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理 (12.3.1)	2. セルフ レベリング材	2. セルフ レベリング材	種別 ・ 石こう系 ・ セメント系 (15.5.2~3) (表15.5.1)					
	6. 柱の帯筋	※ H形 ・ W-1形 ・ SP形 (参考図 図2.2)																																									19 鉄 骨 工 事			19 鉄 骨 工 事	6. 木材の支給	木材の加圧注入処理を行ったのち、現場における加工、切断、孔あけ等 を行った箇所は、現場にて薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理を行う。 (防虫処理)	3. 塗り仕上げ 塗材仕上げ	3. 塗り仕上げ 塗材仕上げ	規格名称
	7. 耐震壁を除く 壁の開口部補強	・ A形 ※ B形 (参考図 表4.3~4.4)																																														20 鉄 骨 工 事			20 鉄 骨 工 事
8. はり貫通孔の 補強	補強形式 ※ H3形以上 ・ M型 ・ MH型 (参考図 表7.1~7.3)			21 鉄 骨 工 事	21 鉄 骨 工 事	8. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：改質アスファルト製造所の指定とする)		1. 一般事項	1. 一般事項																																									
9. 圧接完了後の 圧接部の試験	試験方法 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 (5.4.10)						22 鉄 骨 工 事	22 鉄 骨 工 事			9. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		2. 防火戸の指定	2. 防火戸の指定																																				
6. ① レディーミク ストコンク リート	種別 ※ I類 ・ II類 (6.2.1) (表6.2.1)	・ コンクリート用骨材の品質試験を実施する。(構造用コンクリートのみ) (アルカリシリカ反応試験(化学法)、密度試験、吸水率試験) ・ コンクリート単位水量測定を実施する。										23 鉄 骨 工 事	23 鉄 骨 工 事			10. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		3. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	3. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																															
2. 設計基準強度	普通コンクリート (JIS A 5308のJIS表示認証製品) (6.2.2)	Fc (N/mm ²)															24 鉄 骨 工 事	24 鉄 骨 工 事			11. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		4. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	4. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										
3. スラブ	基礎、基礎梁、土間スラブ ※ 15cm ・ 18cm (6.2.4) (表6.2.2)	柱、梁、スラブ、壁 ※ 18cm																				25 鉄 骨 工 事	25 鉄 骨 工 事			12. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		5. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	5. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																					
4. 打放し仕上げ の種類	種別	施工箇所																									26 鉄 骨 工 事	26 鉄 骨 工 事			13. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		6. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	6. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																
5. セメントの 種類	セメントの種類	適用箇所																														27 鉄 骨 工 事	27 鉄 骨 工 事			14. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		7. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	7. 建築基準法に基づく 防火戸の指定											
7. 軽量コンク リート	※ 普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、 シカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種	建物躯体(下記以外) 基礎、地中梁 基礎、地中梁																																			28 鉄 骨 工 事	28 鉄 骨 工 事			15. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		8. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	8. 建築基準法に基づく 防火戸の指定						
8. 寒中コンク リート	せき板の種類	板厚(mm) 適用箇所 備考																																								29 鉄 骨 工 事	29 鉄 骨 工 事			16. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)		9. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	9. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	
9. 無筋コンク リート	※ 合板 ※ 12																																														30 鉄 骨 工 事	30 鉄 骨 工 事			17. 劣化防止
10. 流動化コンク リート	コンクリートの種類	適用範囲		31 鉄 骨 工 事	31 鉄 骨 工 事	18. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)	11. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																																									
7. 鉄骨工 事	※ 断熱材兼用型枠						32 鉄 骨 工 事	32 鉄 骨 工 事	19. 劣化防止		劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			12. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	12. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																																				
	MCR工法用シート ※ 適用しない										33 鉄 骨 工 事	33 鉄 骨 工 事	20. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			13. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	13. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																															
	ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 ※ 図示 (6.8.1)															34 鉄 骨 工 事	34 鉄 骨 工 事	21. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			14. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	14. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										
	初期養生期間 コンクリート圧縮強度が5N/mm ² に達するまで行うこと。 (6.11.4)																				35 鉄 骨 工 事	35 鉄 骨 工 事	22. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			15. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	15. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																					
	コンクリートの種類	適用範囲																								36 鉄 骨 工 事	36 鉄 骨 工 事	23. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			16. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	16. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																
	※普通コンクリート ※ (6.14.1)(4)(ア〜カ)による																														37 鉄 骨 工 事	37 鉄 骨 工 事	24. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			17. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	17. 建築基準法に基づく 防火戸の指定											
	コンクリートのスラブ	(6.15.2) (表6.15.1)																																		38 鉄 骨 工 事	38 鉄 骨 工 事	25. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			18. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	18. 建築基準法に基づく 防火戸の指定						
	種別	ベースコンクリート(cm) 流動化コンクリート(cm)																																							39 鉄 骨 工 事	39 鉄 骨 工 事	26. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			19. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	19. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	
	普通コンクリート	1.0 1.2 1.5 1.8 2.1																																												40 鉄 骨 工 事	40 鉄 骨 工 事	27. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)
				41 鉄 骨 工 事	41 鉄 骨 工 事	28. 劣化防止				劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)																																									21. 建築基準法に基づく 防火戸の指定
							42 鉄 骨 工 事	42 鉄 骨 工 事	29. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)				22. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	22. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																																				
										43 鉄 骨 工 事	43 鉄 骨 工 事	30. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						23. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	23. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																															
													44 鉄 骨 工 事			44 鉄 骨 工 事	31. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						24. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	24. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										
																		45 鉄 骨 工 事			45 鉄 骨 工 事	32. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						25. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	25. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																					
																							46 鉄 骨 工 事			46 鉄 骨 工 事	33. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						26. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	26. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																
																												47 鉄 骨 工 事			47 鉄 骨 工 事	34. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						27. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	27. 建築基準法に基づく 防火戸の指定											
																																	48 鉄 骨 工 事			48 鉄 骨 工 事	35. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						28. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	28. 建築基準法に基づく 防火戸の指定						
																																						49 鉄 骨 工 事			49 鉄 骨 工 事	36. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)						29. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	29. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	
																																											50 鉄 骨 工 事			50 鉄 骨 工 事	37. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			
				51 鉄 骨 工 事	51 鉄 骨 工 事	38. 劣化防止																																										劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)			31. 建築基準法に基づく 防火戸の指定
							52 鉄 骨 工 事	52 鉄 骨 工 事	39. 劣化防止					劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)	32. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																																	32. 建築基準法に基づく 防火戸の指定			
										53 鉄 骨 工 事	53 鉄 骨 工 事	40. 劣化防止		劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)					33. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	33. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																															
													54 鉄 骨 工 事	54 鉄 骨 工 事		41. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)							34. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	34. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										
																	55 鉄 骨 工 事	55 鉄 骨 工 事			42. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)							35. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	35. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																					
																						56 鉄 骨 工 事	56 鉄 骨 工 事			43. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)							36. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	36. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																
																											57 鉄 骨 工 事	57 鉄 骨 工 事			44. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)							37. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	37. 建築基準法に基づく 防火戸の指定											
																																58 鉄 骨 工 事	58 鉄 骨 工 事			45. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)							38. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	38. 建築基準法に基づく 防火戸の指定						
																																					59 鉄 骨 工 事	59 鉄 骨 工 事			46. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)							39. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	39. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	
																																										60 鉄 骨 工 事	60 鉄 骨 工 事			47. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)				
				61 鉄 骨 工 事	61 鉄 骨 工 事	48. 劣化防止																																									劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)				41. 建築基準法に基づく 防火戸の指定
							62 鉄 骨 工 事	62 鉄 骨 工 事	49. 劣化防止						劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)																																42. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	42. 建築基準法に基づく 防火戸の指定			
										63 鉄 骨 工 事	63 鉄 骨 工 事	50. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)				43. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	43. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																															
													64 鉄 骨 工 事	64 鉄 骨 工 事	51. 劣化防止	劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)								44. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	44. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										
																65 鉄 骨 工 事	65 鉄 骨 工 事	52. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)								45. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	45. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																					
																					66 鉄 骨 工 事	66 鉄 骨 工 事	53. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)								46. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	46. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																
																										67 鉄 骨 工 事	67 鉄 骨 工 事	54. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)								47. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	47. 建築基準法に基づく 防火戸の指定											
																															68 鉄 骨 工 事	68 鉄 骨 工 事	55. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)								48. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	48. 建築基準法に基づく 防火戸の指定						
																																				69 鉄 骨 工 事	69 鉄 骨 工 事	56. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)								49. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	49. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	
																																									70 鉄 骨 工 事	70 鉄 骨 工 事	57. 劣化防止			劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)					
				71 鉄 骨 工 事	71 鉄 骨 工 事	58. 劣化防止																																								劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)					51. 建築基準法に基づく 防火戸の指定
							72 鉄 骨 工 事	72 鉄 骨 工 事	59. 劣化防止																																					劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)	52. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	52. 建築基準法に基づく 防火戸の指定			
										73 鉄 骨 工 事	73 鉄 骨 工 事	60. 劣化防止							劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)	53. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										53. 建築基準法に基づく 防火戸の指定					
													74 鉄 骨 工 事	74 鉄 骨 工 事	61. 劣化防止				劣化防止 (種類・数量：ルーフィングシート製造所の指定とする)					54. 建築基準法に基づく 防火戸の指定	54. 建築基準法に基づく 防火戸の指定																										



付近見取図 S:1/2500

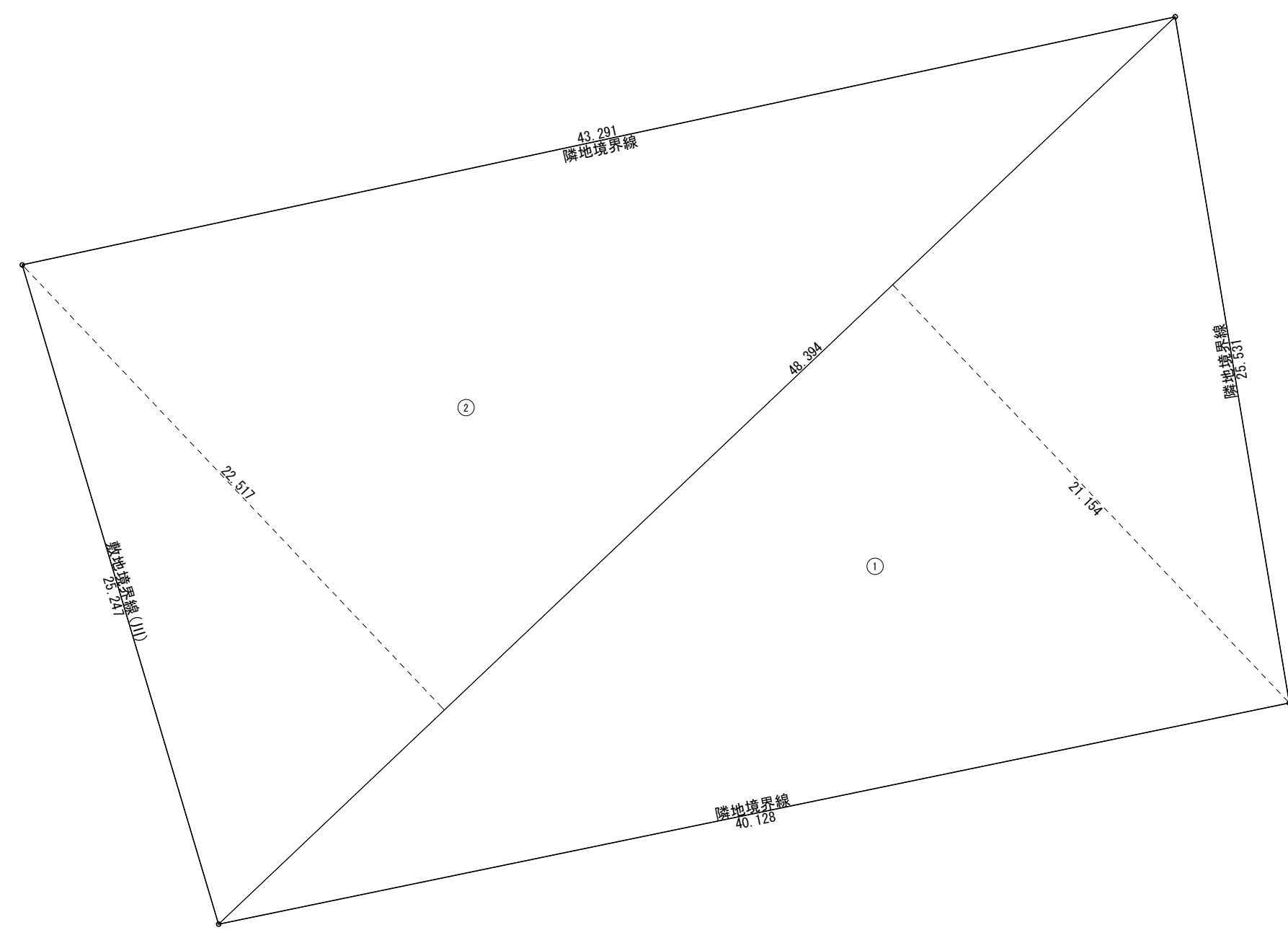


配置図 S:1/200



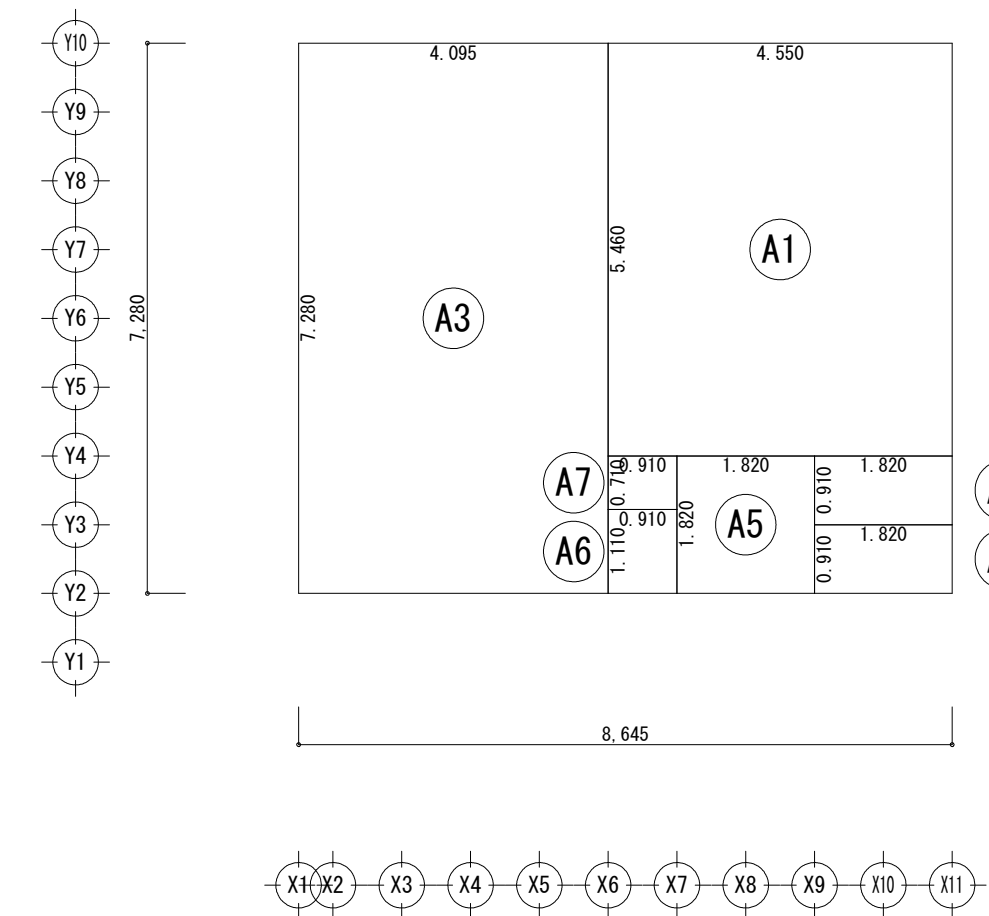
現況図 S:1/200

消防団第26分団拠点施設整備工事 設計図		図名	配置図	縮尺	1/200	図面番号	年月日	2023/01	A-5
伊藤建築設計事務所		滋賀県長浜市湖北町逢水2711 一級建築士登録360938号 電話(0749)78-0101番 伊藤 嘉文		縮尺	A3(50%)縮小				20

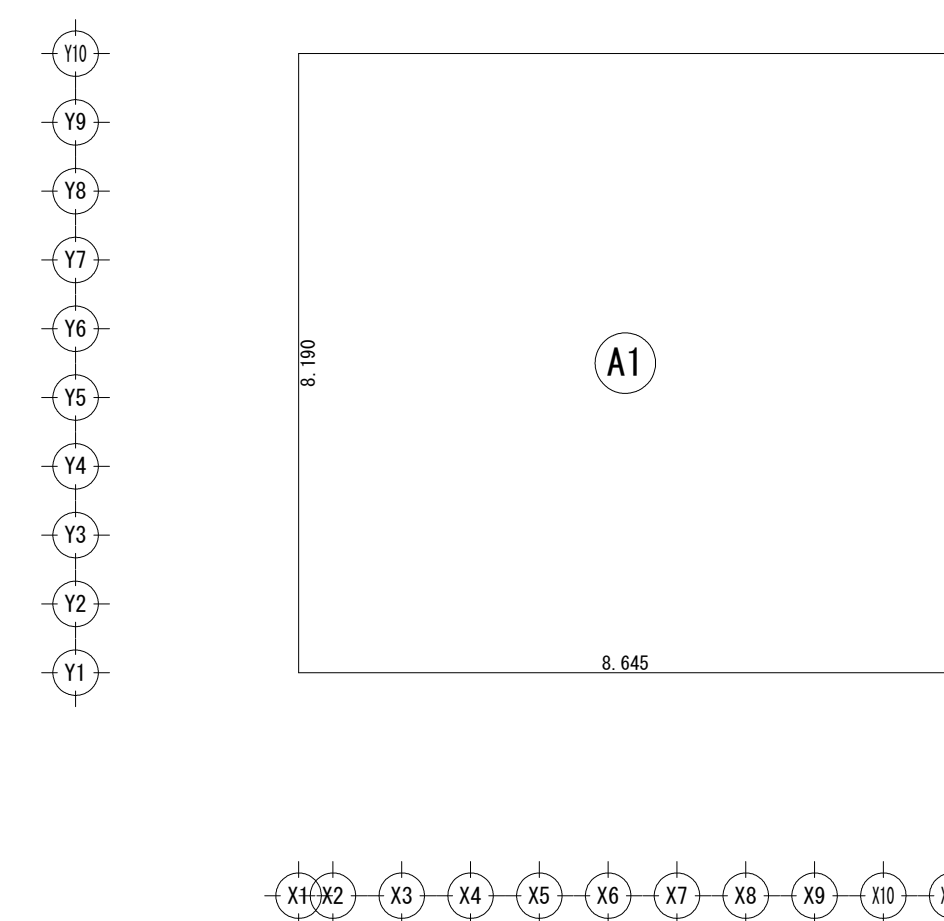


敷地面積求積図 S:1/200

敷地面積			
辺 (m)	高さ (m)	積面積 (m ²)	
①	48.394	21.154	1023.22676
②	48.394	22.517	1089.68768
積面積 計		2113.414374	
敷地面積 (m ²)		1056.70	



床面積求積図 S:1/100



建築面積求積図 S:1/100

会議・休憩室		
形状	計算式	面積
(A1)	矩形 4.550 × 5.460	24.843000
(A2)	矩形 1.820 × 0.910	1.656200
面積 計 (m ²)		26.49
		(坪) 8.01

消防車庫		
形状	計算式	面積
(A3)	矩形 4.095 × 7.280	29.811600
面積 計 (m ²)		29.81
		(坪) 9.01

トイレ		
形状	計算式	面積
(A4)	矩形 1.820 × 0.910	1.656200
面積 計 (m ²)		1.65
		(坪) 0.50

玄関		
形状	計算式	面積
(A5)	矩形 1.820 × 1.820	3.312400
(A6)	矩形 0.910 × 1.110	1.010100
面積 計 (m ²)		4.32
		(坪) 1.30

押入		
形状	計算式	面積
(A7)	矩形 0.910 × 0.710	0.646100
面積 計 (m ²)		0.64
		(坪) 0.19

床面積		
形状	計算式	面積
(A1)	矩形 8.645 × 7.280	62.935600
面積 計 (m ²)		62.93
		(坪) 19.02

建築面積		
形状	計算式	面積
(A1)	矩形 8.645 × 8.190	70.802550
面積 計 (m ²)		70.80
		(坪) 21.41

外部仕上表	
屋根	カラーガルバリウム鋼板 α 0.8 折板葺き SV-3型 セキノ興産同等品 裏面高充填フォームプラスチック α 4 雪止めアングル L-60 \times 60 \times 4 亜鉛メッキ
外壁	角波カラーガルバリウム鋼板 α 0.4 長尺角波455 セキノ興産同等品 木胴縁 18 \times 45@455 透湿防水シート 構造用合板 α 9
巾木	コンクリート打放し補修 複層仕上塗材E ゆず肌状
軒天井	木下地 ケイ酸カルシウム板 α 6張EP塗り
樋	軒樋 硬質塩ビ製 120角 受金物共 タテ樋 カラーVP ϕ 65 受金物共
外構工事	ホース乾燥柱 メッシュフェンス門扉 境界ブロック 集水枿 ボックスカルバート

部屋名称	床		巾木		壁		天井			廻縁	備考	
	下地	仕上	下地	仕上	H	下地	仕上	下地	仕上			CH
消防車庫※		コンクリート金打押さえ		コンクリート打放し修正		ケイカル板 α 6	EP		GB-D α 9.5	3120	塩ビ製	
玄関		コンクリート金打押さえ	塗床 α 1.0 ノンスリップ 式台 フローリング α 15	モルタル打押さえ	塗床 α 1.0		GB-S α 12.5	ビニールクロス	GB-R α 9.5	3220	塩ビ製	
		コンクリート金打押さえ	塗床 α 1.0	モルタル打押さえ	塗床 α 1.0		GB-S α 12.5	ビニールクロス	GB-R α 9.5	2950	塩ビ製	
トイレ		コンクリート金打押さえ	ノンスリップ	モルタル打押さえ	塗床 α 1.0		GB-S α 12.5	ビニールクロス	GB-R α 9.5	2400	塩ビ製	
会議・休憩室※		構造用合板 α 15	畳 α 55 防湿シート	畳寄せ30 \times 55 (杉)	塗床 α 1.0		GB-R α 12.5	ビニールクロス	GB-R α 9.5	2600	木製	
湯沸コーナー※		構造用合板 α 15	フローリング (支給品)	雑巾摺9 \times 15 (杉)			GB-R α 12.5	ビニールクロス	GB-R α 9.5	2600	塩ビ製	
		構造用合板 α 15		雑巾摺9 \times 15 (杉)			GB-R α 12.5	一部メラミン化粧板 ビニールクロス	GB-R α 9.5	2600	塩ビ製	
押入		構造用合板 α 15	シナ合板 α 4	雑巾摺9 \times 15 (杉)			GB-R α 12.5	ビニールクロス	GB-R α 9.5	2600		中段 枕棚 (取り外し式)

認定番号他	
NM-8619	GB-R α 12.5
NM-4227	ケイカル板 α 6
NM-2183	メラミン化粧板 α 3 セラール同等品
QM-0898	GB-S α 12.5
QM-9828	GB-R α 9.5
QM-0524	GB-D α 9.5
QM-0803	ビニールクロス サンゲツ同等品

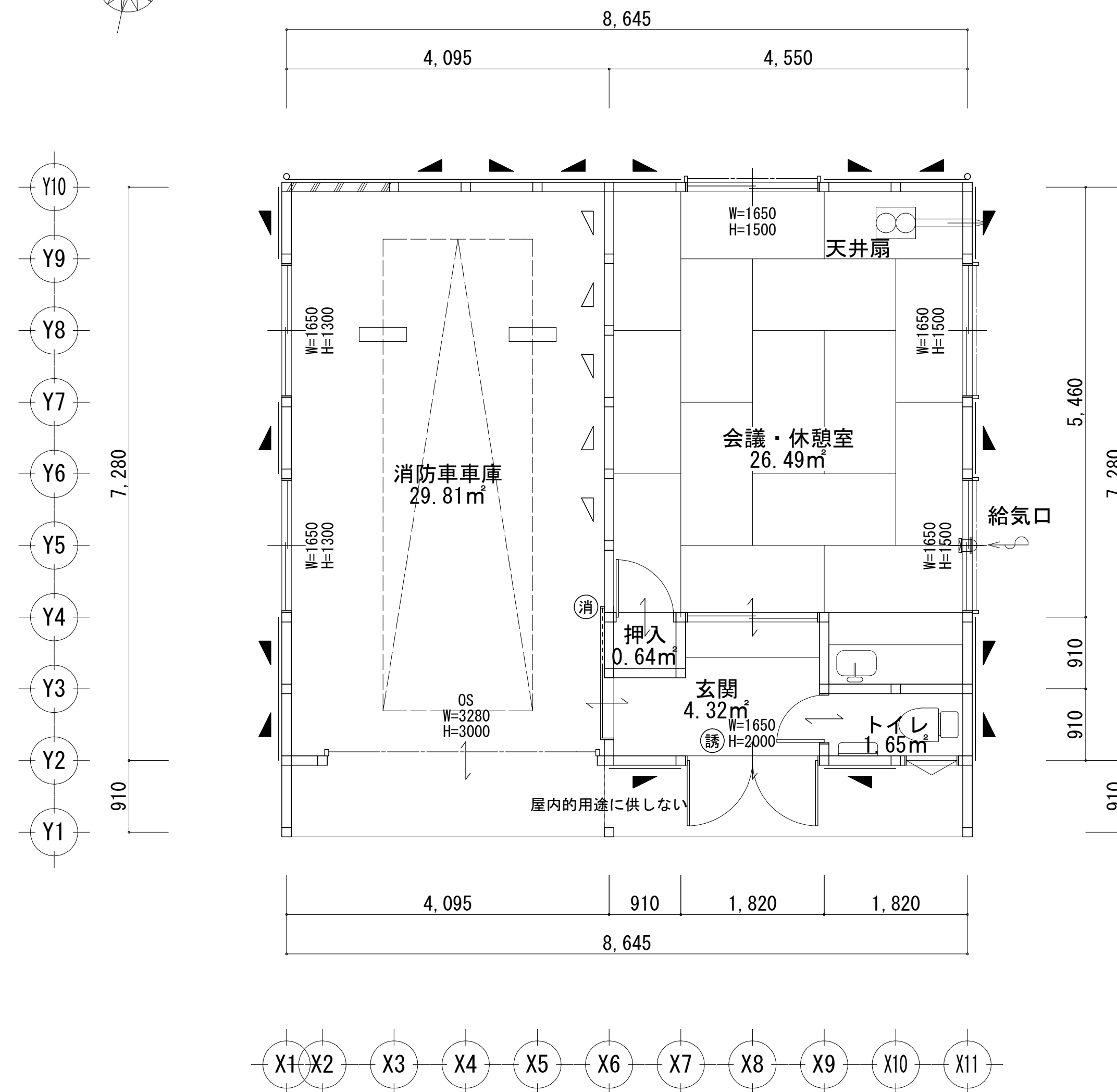
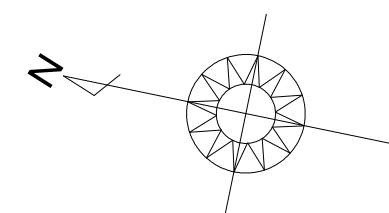
※内装制限を受ける室 壁、天井共準不燃材料仕上げ (認定番号は右記参照)

※NMは不燃材料、QMは準不燃材料を示す

L V S チェック表									単位 (㎡)
階	室名	床面積	排煙面積	排煙有効面積	採光面積	採光有効面積	換気面積	換気有効面積	
1	会議・休憩室	26.49	0.53	0.75 (W) \times 0.3 (H) \times 3=0.67	1.32	1.65 (W) \times 1.5 (H) \times 3=7.43	1.32	1.65 (W) \times 1.5 (H) \times 3 \times 0.5=3.71	

◎凡例 排煙面積=A \times 1/50 採光面積=A \times 1/20 換気面積=A \times 1/20

24時間換気計算表									
階	室名	床面積 (㎡)	天井高 (m)	気積 (m3)	換気種別	有効換気風量 (m3)	換回数	適・否	参考品番
1	会議・休憩室	26.49	2.6	68.87	第3種換気	380	380/64.19=5.92 $>$ 0.3	OK	三菱電機VD-20ZXP13-C



凡例				
記号	壁の構造 (1) 壁の構造 (2)	筋かいの構造	倍率	
W1		木材 45 \times 90以上 シングル	2.00	2.00
W2	大壁 構造用合板	2.50		2.50
W3	大壁 構造用合板	2.50	木材 45 \times 90以上 シングル	2.00 4.50

※建物外周部全面 構造用合板 α 9張り

※三角の大きい方が柱の頭に取り付く

※耐力壁の取り付く柱の土台又は横架材に対する接合方法は
H12.5.31 建設省告示第1460号
木造の継手及び仕口の構造方法を定める件による

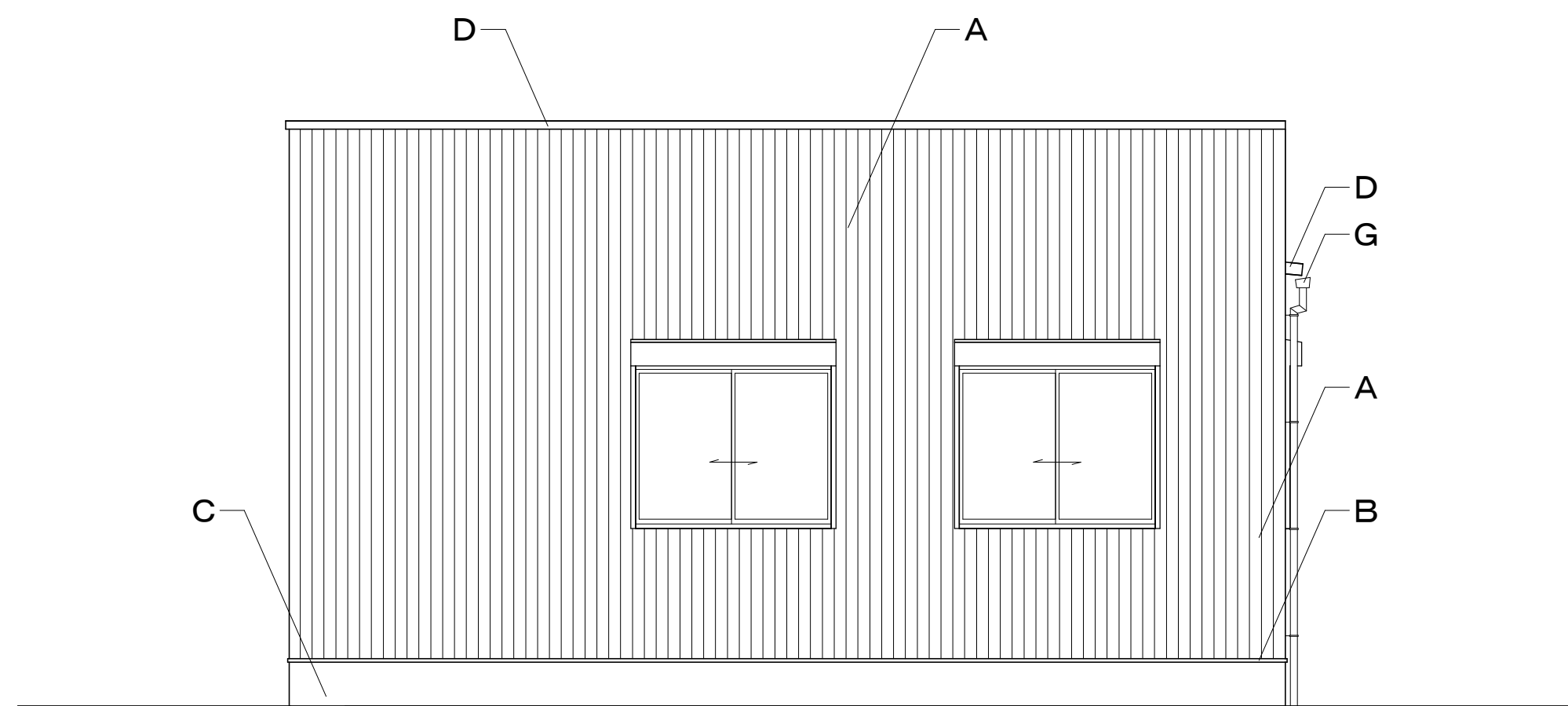
凡例

消 ABC消火器10型 1ヶ
誘 誘導標識

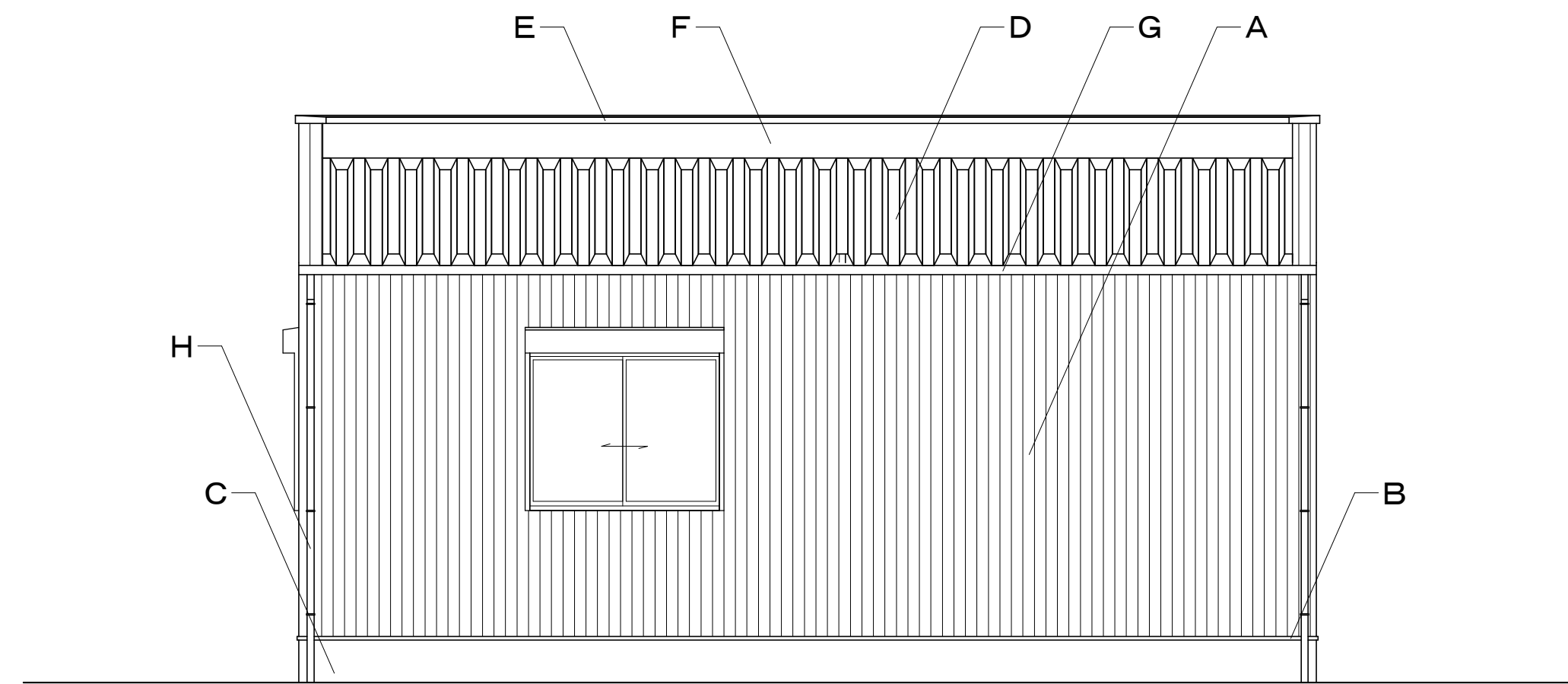
※ 法第20条第1項第4号に適合していることを確認

平面図 S:1/50

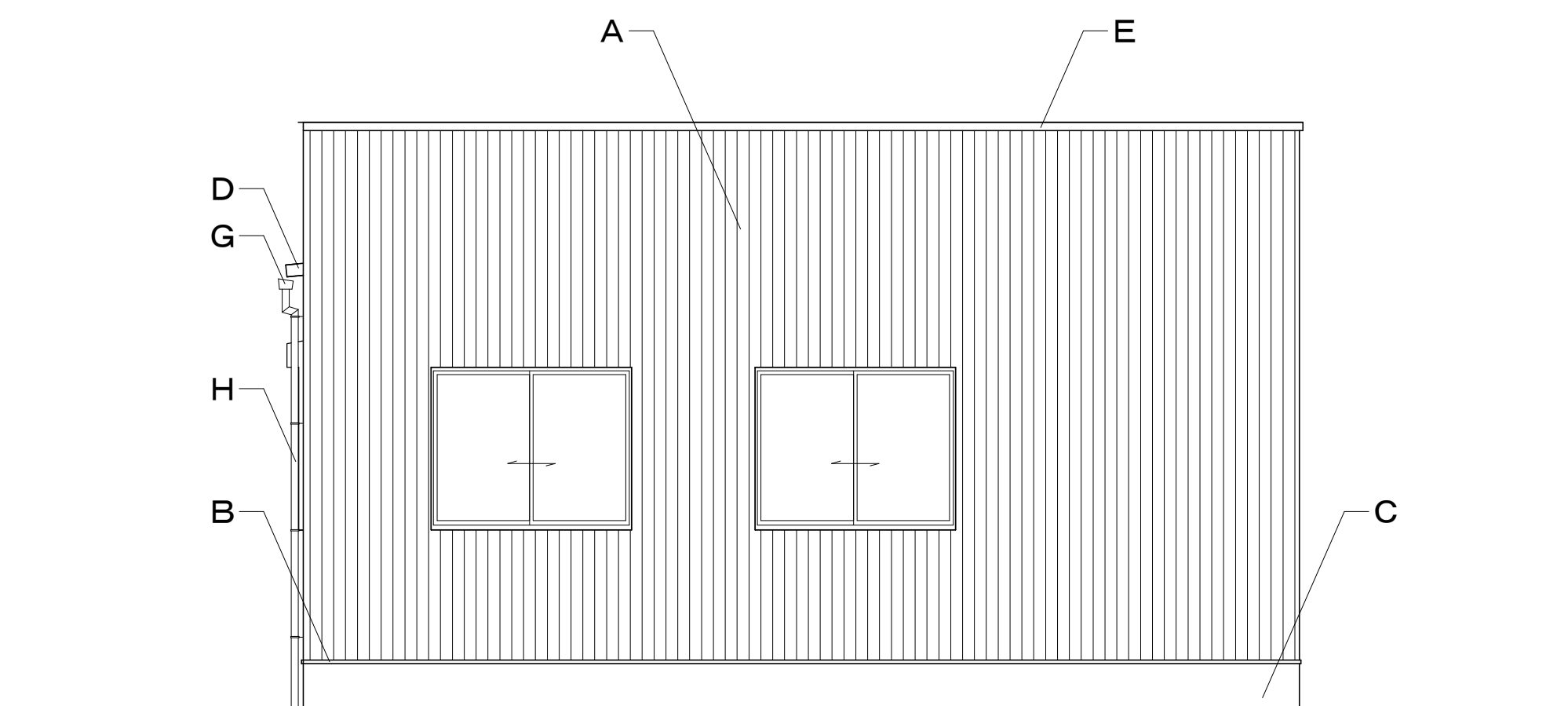
消防団第26分団拠点施設整備工事 設計図		図名	平面図、仕上表	縮尺	1/50	図面番号	年月日	2023/01	A-7
伊藤建築設計事務所		滋賀県長浜市湖北町連水2711 一級建築士登録360938号 電話(0749)78-0101番 伊藤 嘉文		縮尺	1/50	図面番号	年月日	2023/01	20



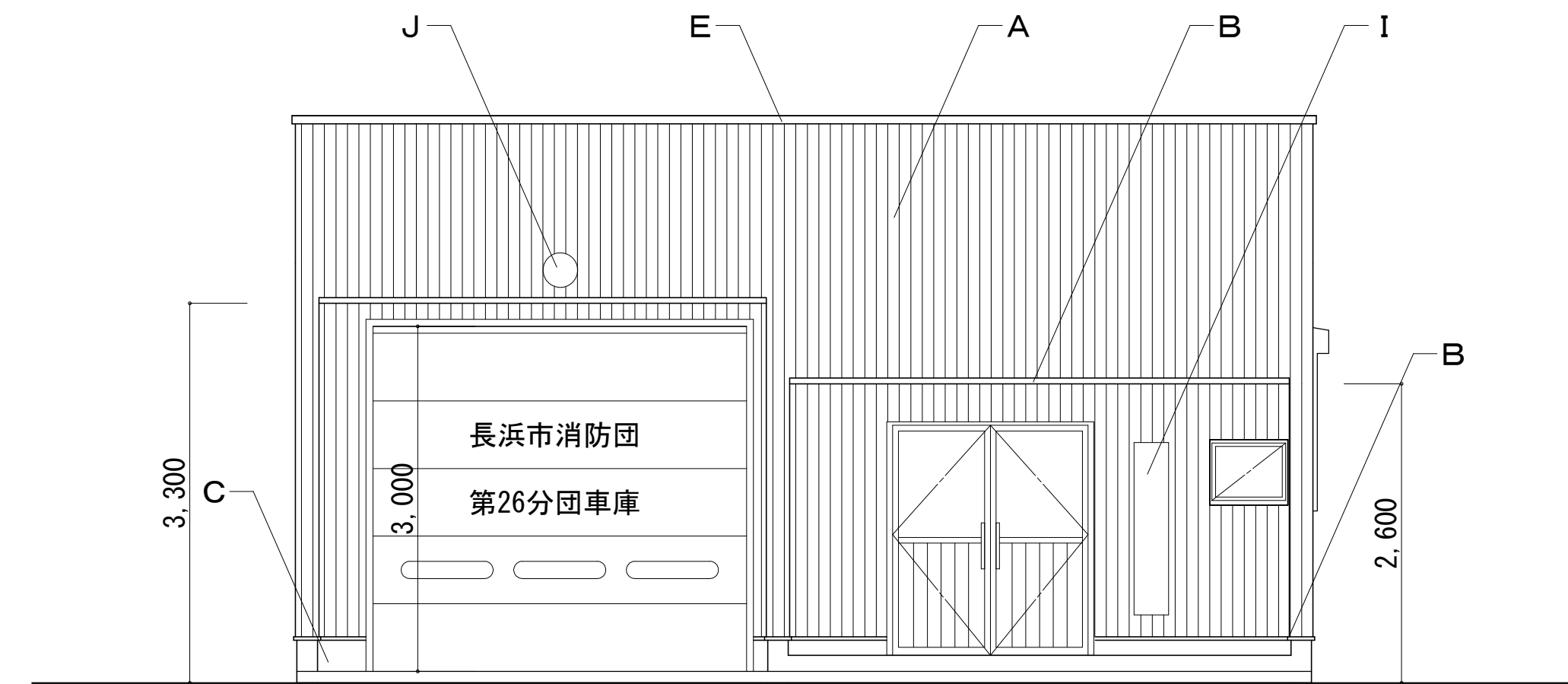
南側立面図 S:1/50



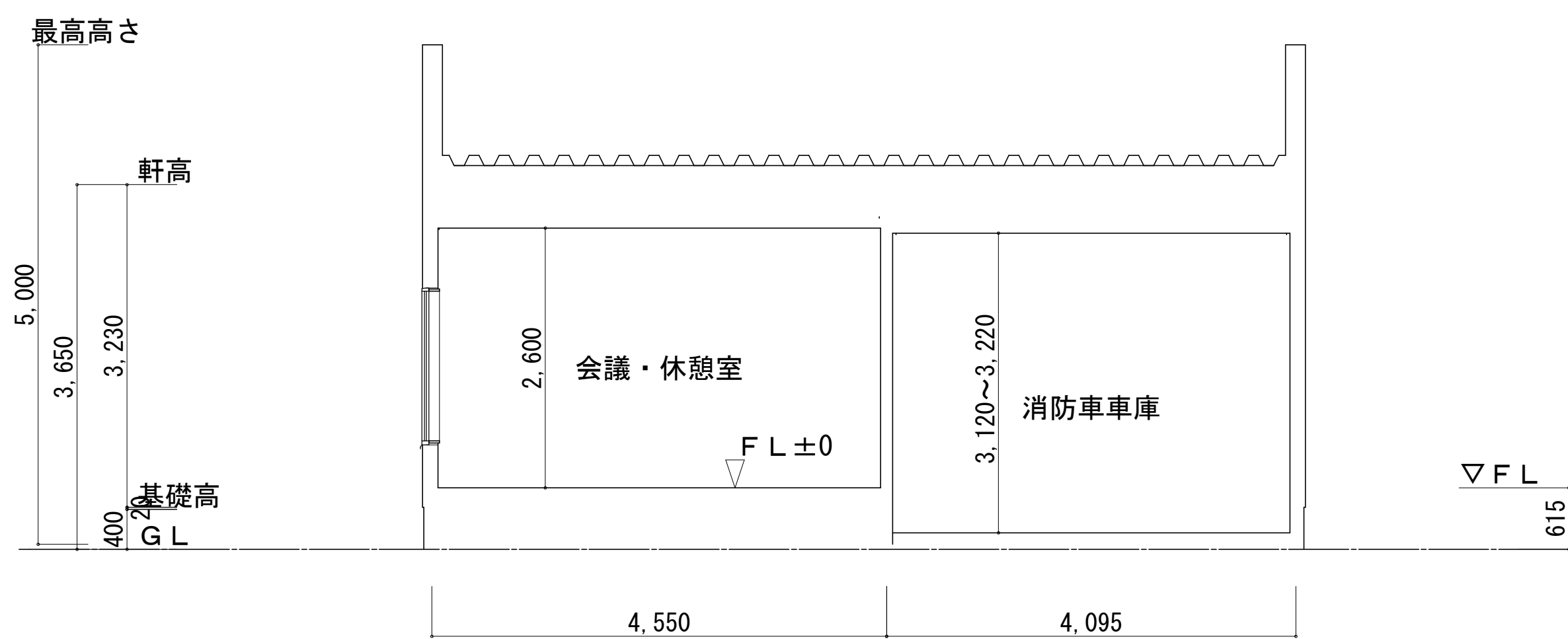
東側立面図 S:1/50



北側立面図 S:1/50

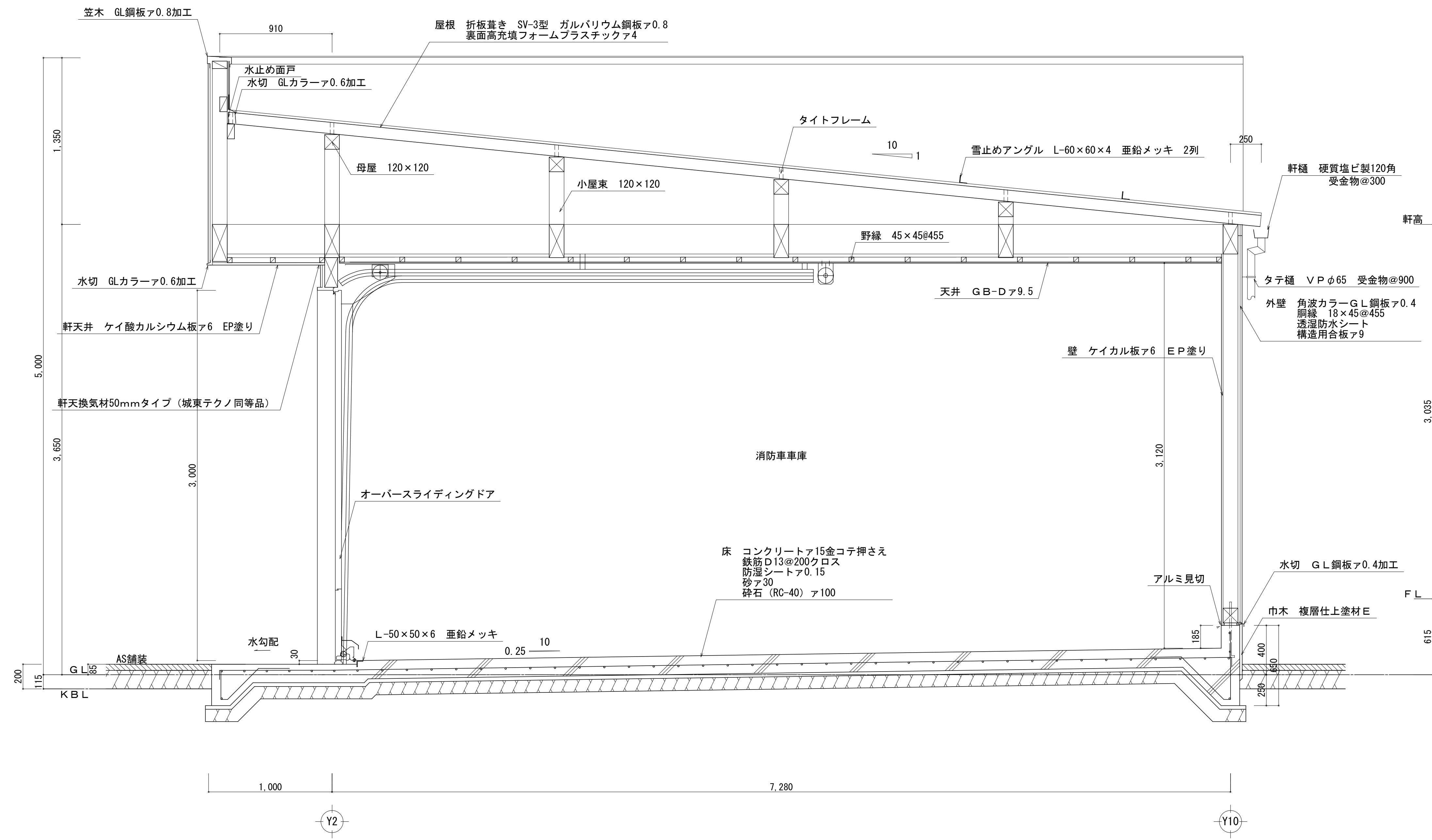


西側立面図 S:1/50



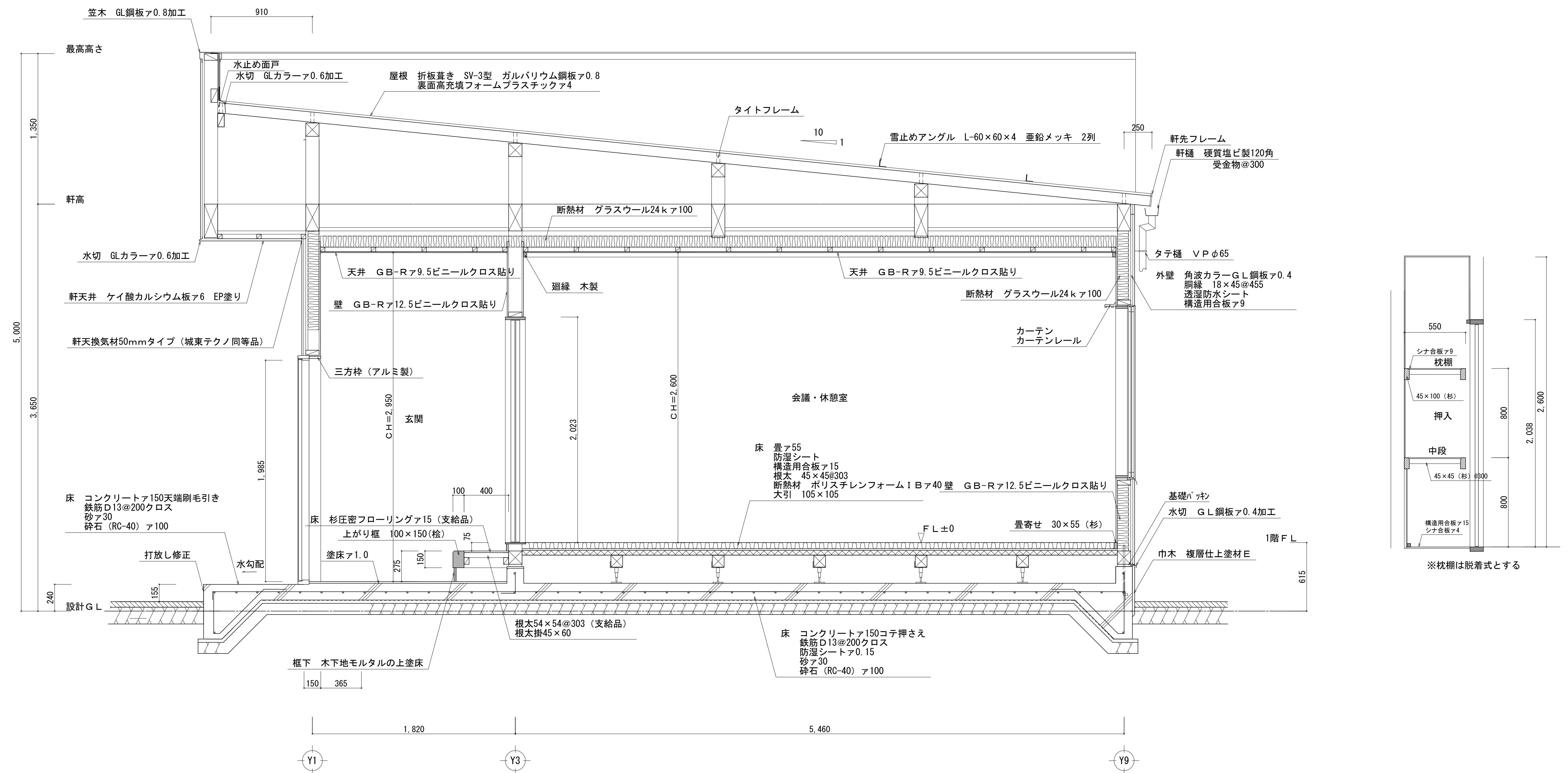
断面図 S:1/50

外部仕上表			
名称	仕上	番号	
壁	一般	角波カラーガルバリウム鋼板 α 0.4 長尺角波455 セキノ興産同等品	A
	水切	カラーガルバリウム鋼板 α 0.4加工	B
	巾木	複層仕上塗材E ゆず肌状	C
屋根	一般	カラーガルバリウム鋼板 α 0.8 折版葺き SV-3型 セキノ興産同等品	D
	笠木	カラーガルバリウム鋼板 α 0.8加工	E
	立上り	角波カラーガルバリウム鋼板 α 0.4 長尺角波455 セキノ興産同等品	F
樋	軒樋	硬質塩ビ製 120角 受金物共	G
	タテ樋	カラーV P ϕ 65 受金物共	H
その他	銘板	木製 W=300 L=1500	I
	赤色灯	(電気工事)	J



矩計図(1) S:1/20

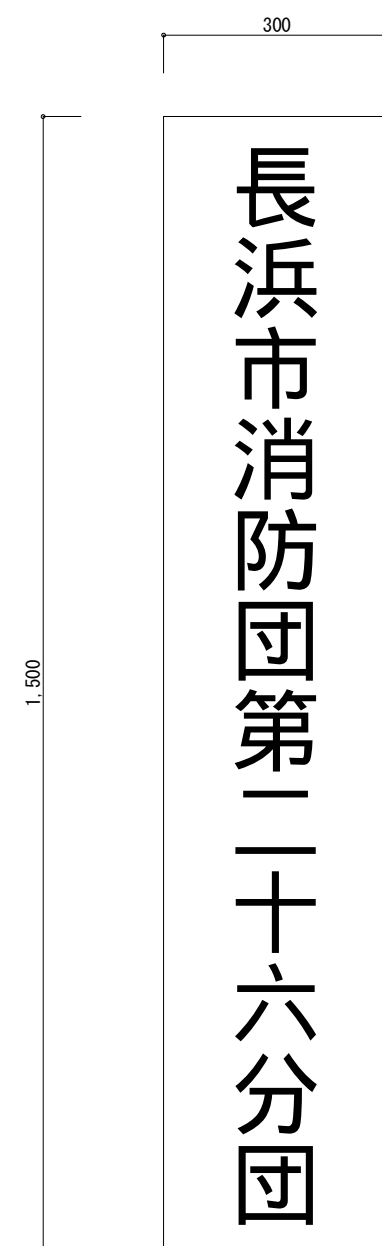
消防団第26分団拠点施設整備工事 設計図		図名	矩計図(1)		縮尺	1/20	図面番号	A-9 / 20	
伊藤建築設計事務所		滋賀県長浜市湖北町連水2711 一級建築士登録360938号 電話(0749)78-0101番 伊藤 嘉文		縮尺	1/20	年月日	2023/01		



矩計図(2) S:1/20

消防団第26分団拠点施設整備工事 設計図		図名	矩計図(2)	縮尺	1/20	図面番号	A-10
伊藤建築設計事務所		滋賀県長浜市湖北町連水2711 一級建築士登録360938号 電話(0749)78-0101番 伊藤 嘉文		縮尺	1/20	年月日	2023/01
				縮尺	A3(50%縮小)		20

銘板1



表示基盤：杉板 35×300 L=1,500
 表示方法：文字刷り込みの上、墨入れ
 材料：本工程（市産材） 支給品
 塗装型ウレタン系木部保護仕上げ塗料塗り
 （ウッドスキンコート同等品）

銘板2



※本文フォント：UDデジタル教科書体N-R

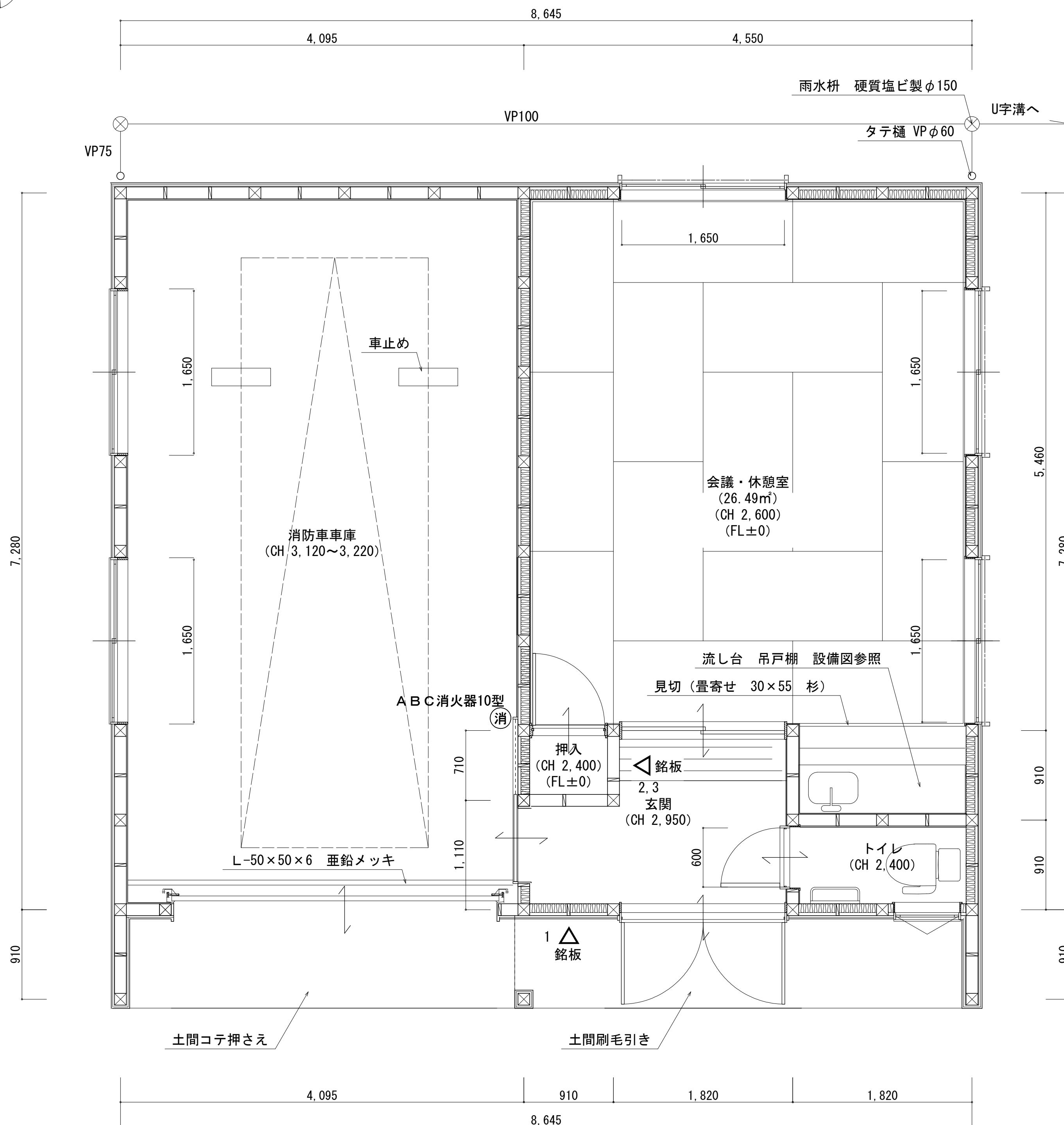
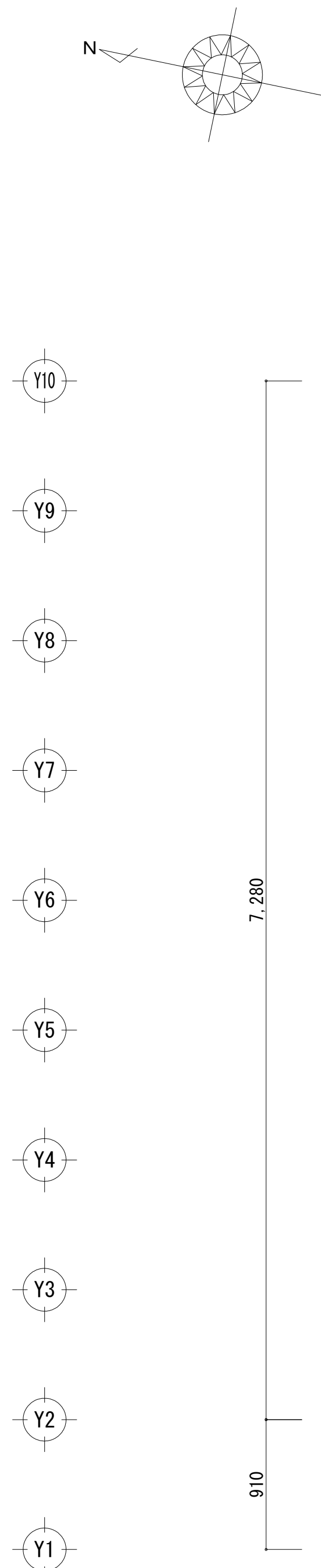
表示基盤：杉板ア30 420×210
 表示方法：UV印刷
 材料：支給品（市産材）

銘板3

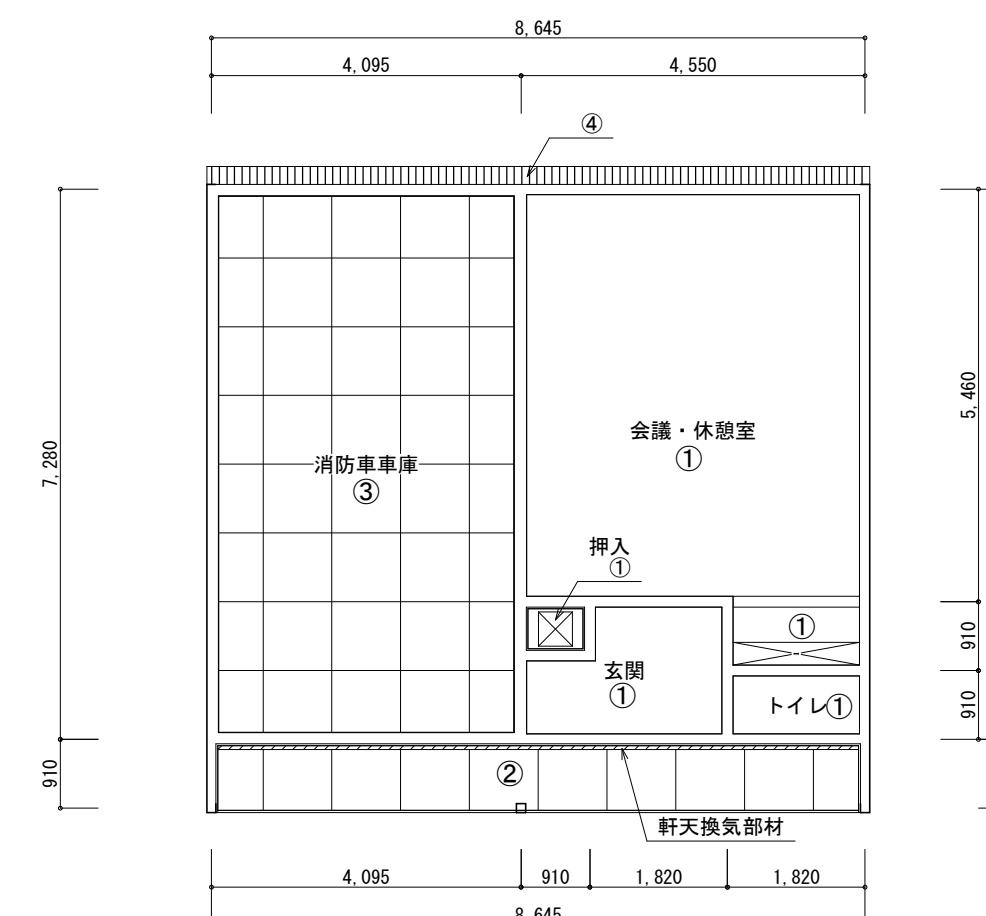
この施設の整備には、琵琶湖森林づくり県民税を充当し、構造材や内装材に「びわ湖材」を利用しました。



表示基盤：杉板ア30 400×300
 表示方法：UV印刷
 材料：支給品（県産材）

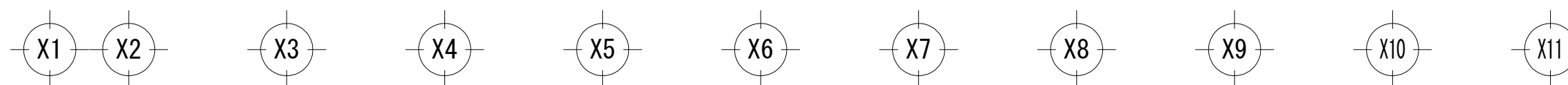
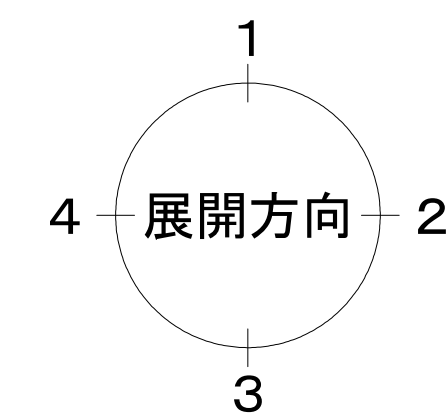


平面詳細図 S:1/30

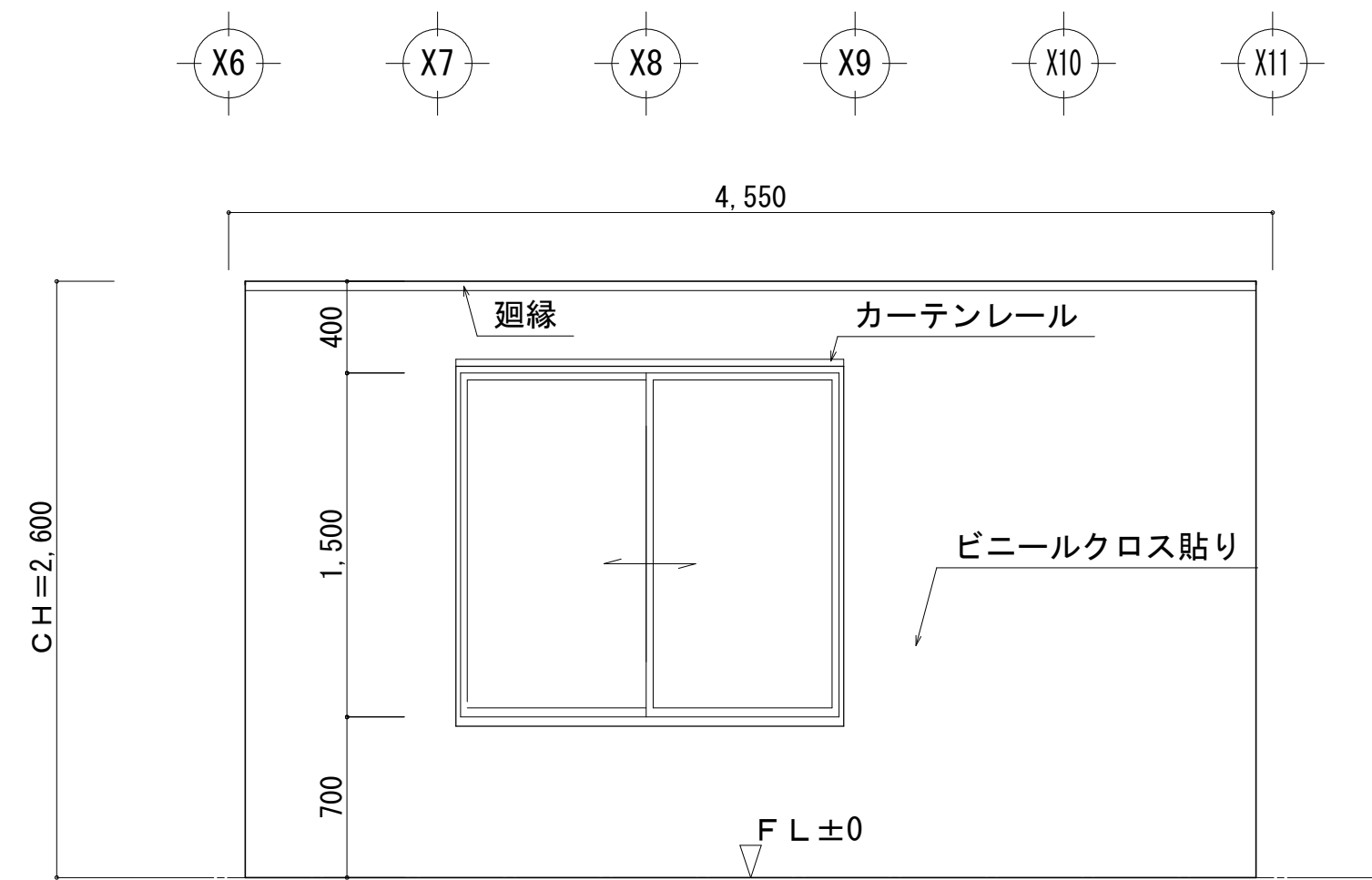


天井伏図 S:1/100

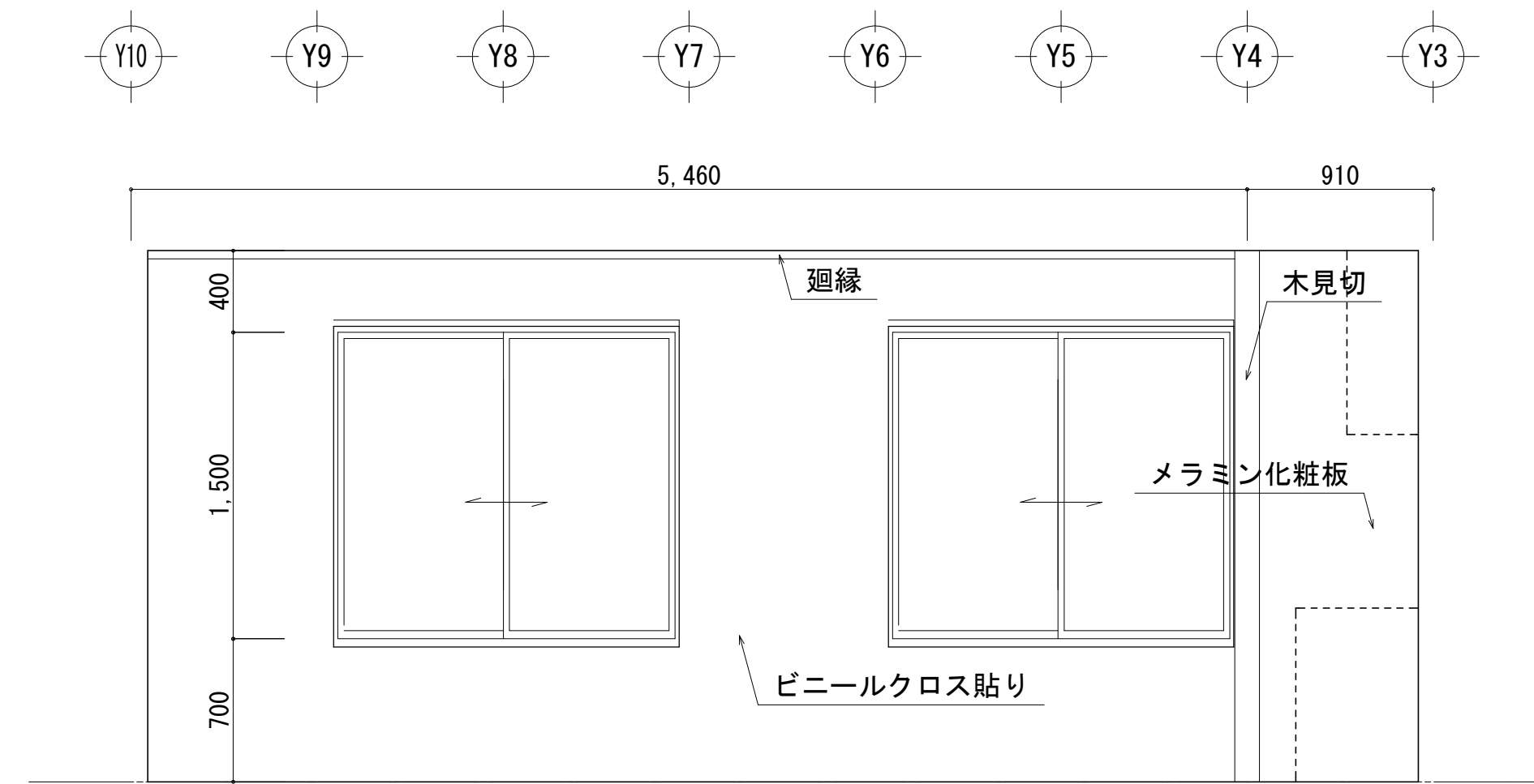
番号	下地名	仕上名
①	GB-Rア9.5	ビニールクロス
②	ケイ酸カルシウム板ア6目目地張り	EP塗り
③		GB-Dア9.5
④		折板あらし
⊗	天井点検口 アルミ製 450×450	
備考	下地は木下地とする 野縁45×45@450	



会議・休憩室



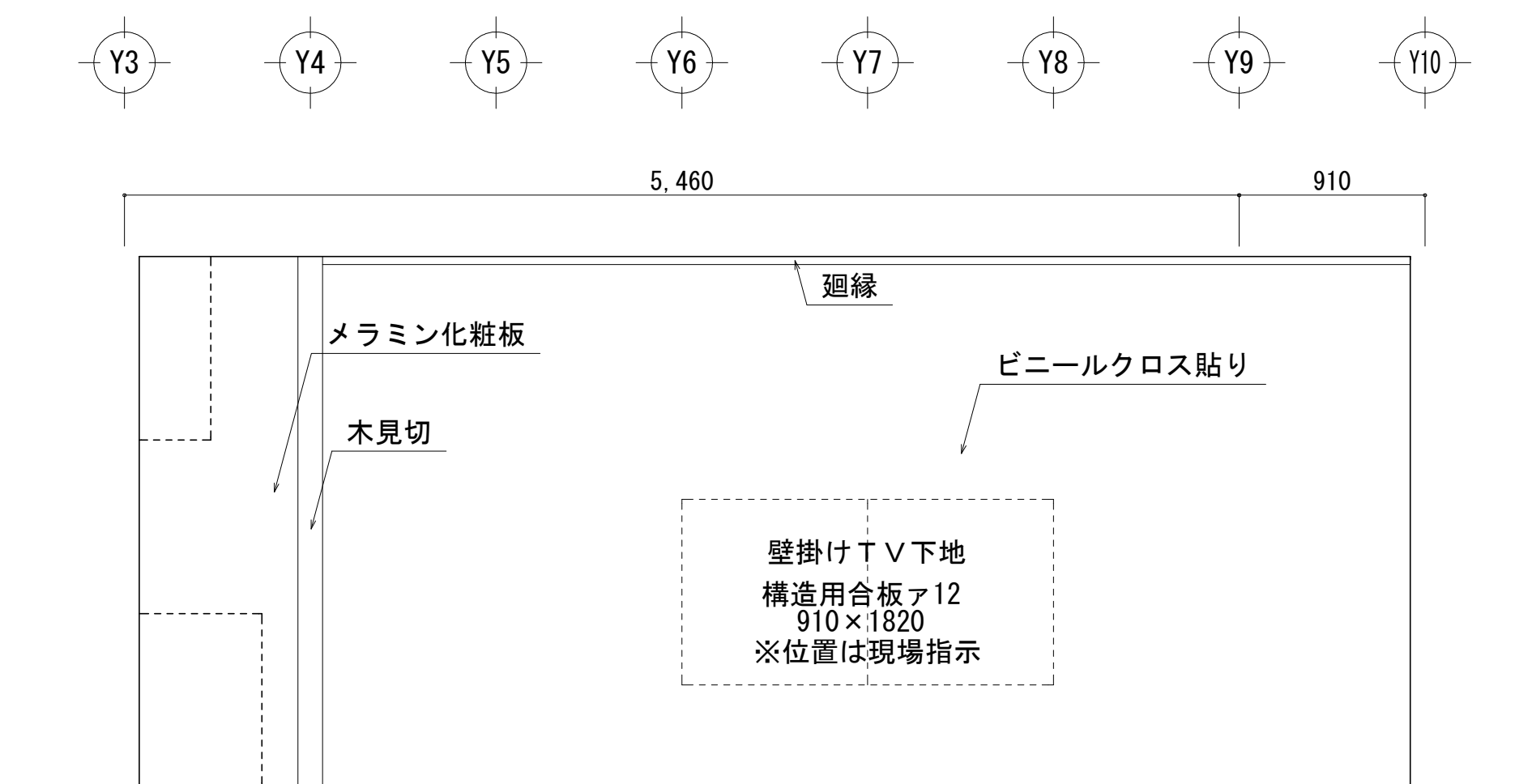
1面



2面

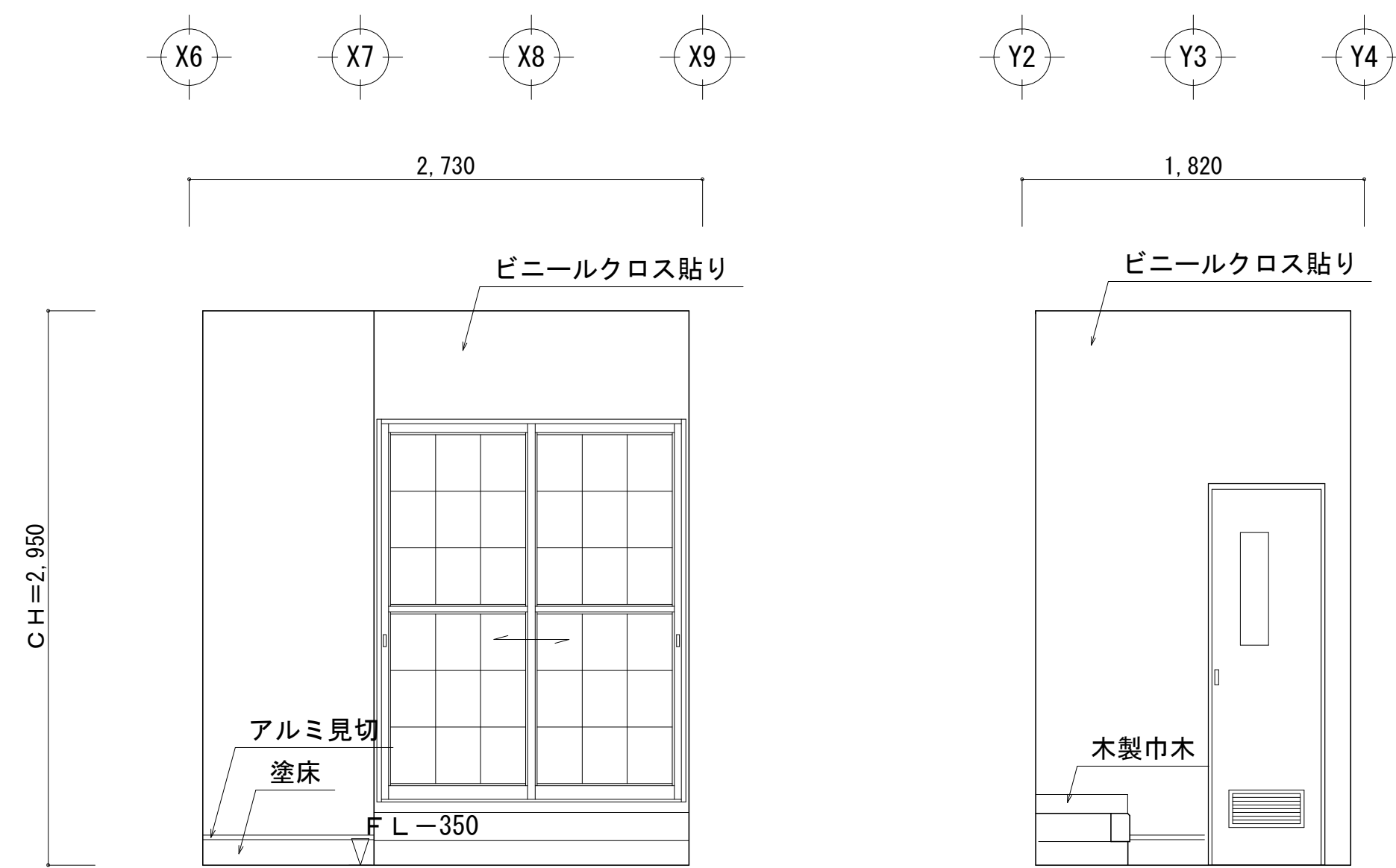


3面



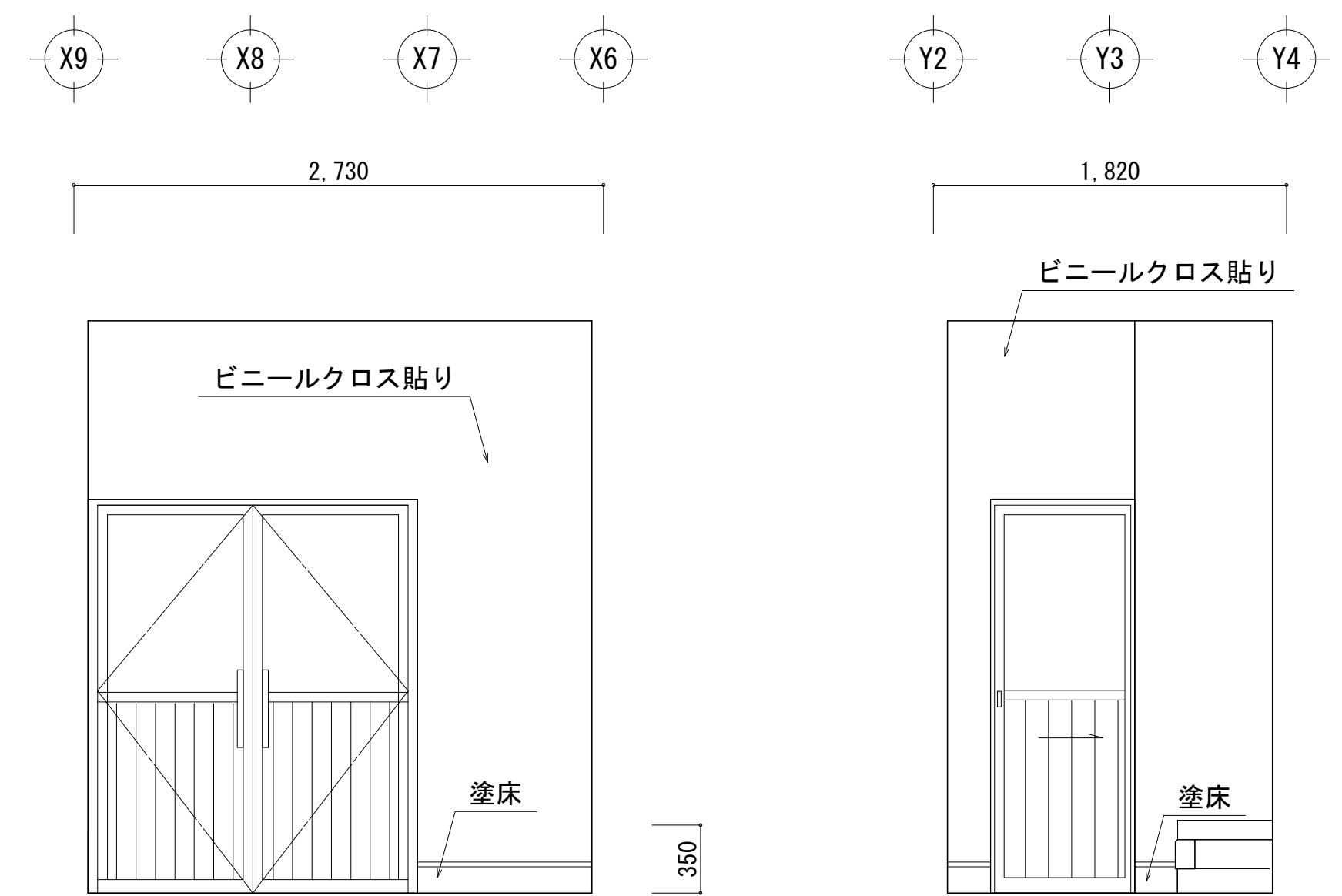
4面

玄関



1面

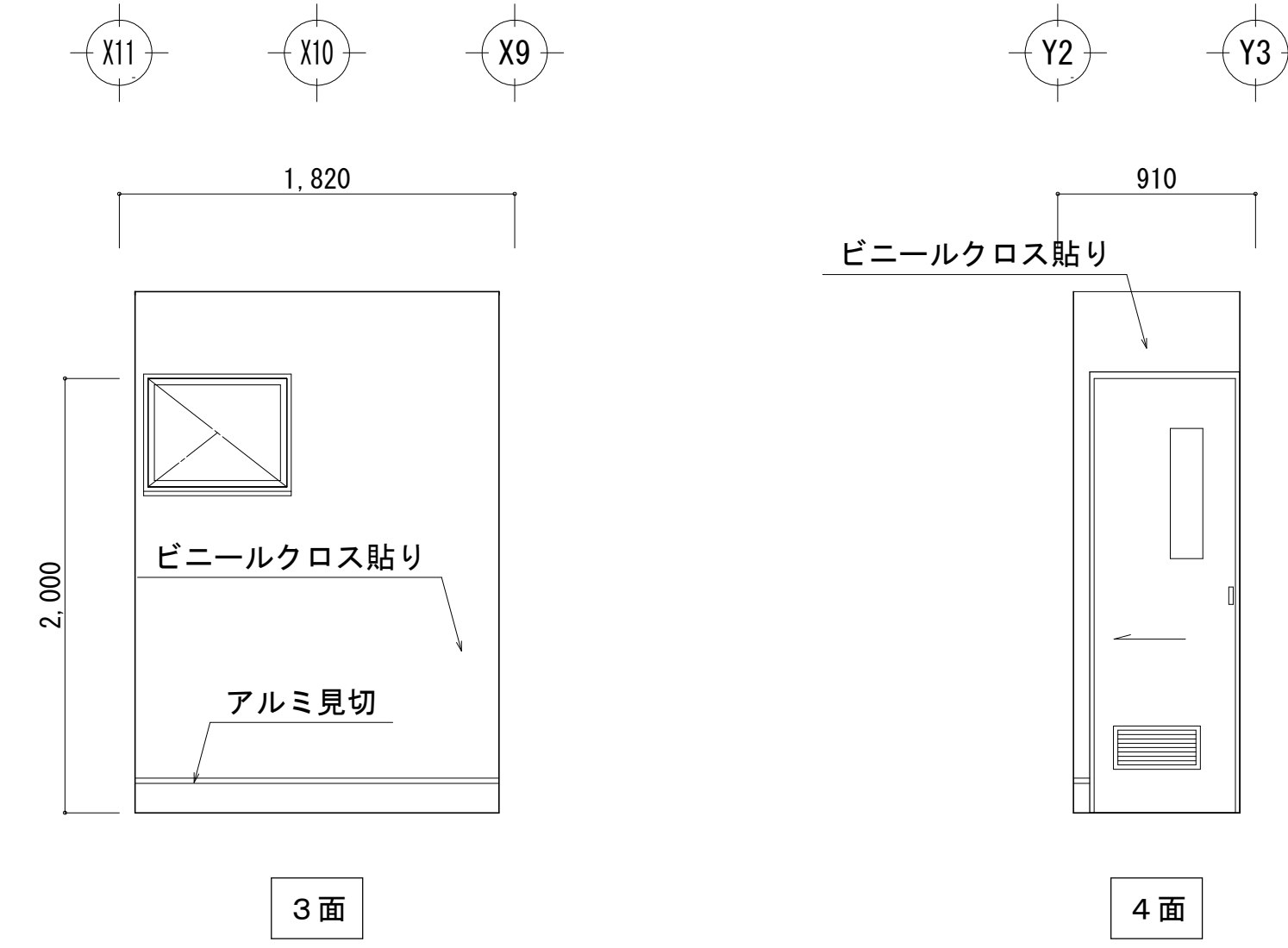
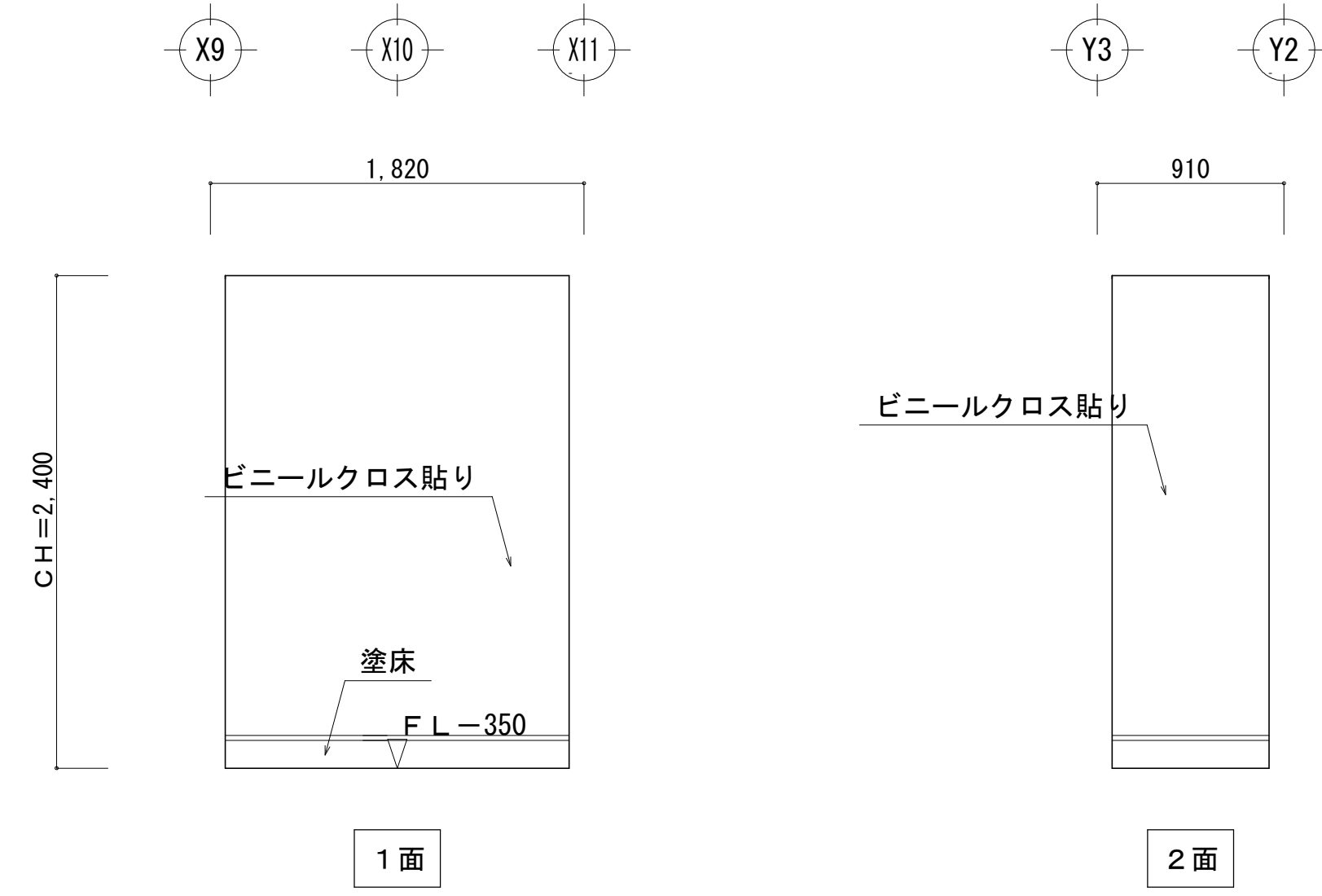
2面



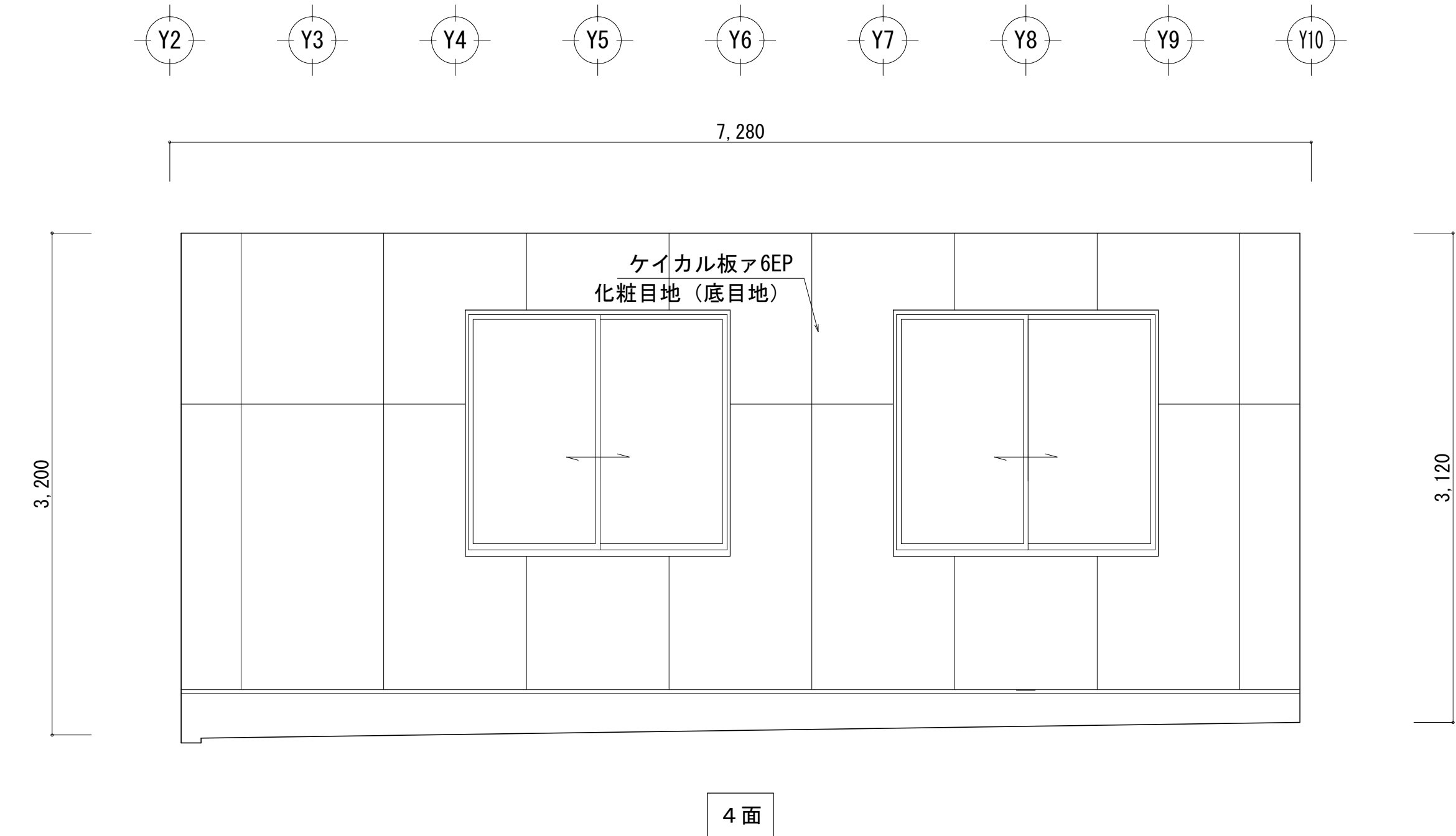
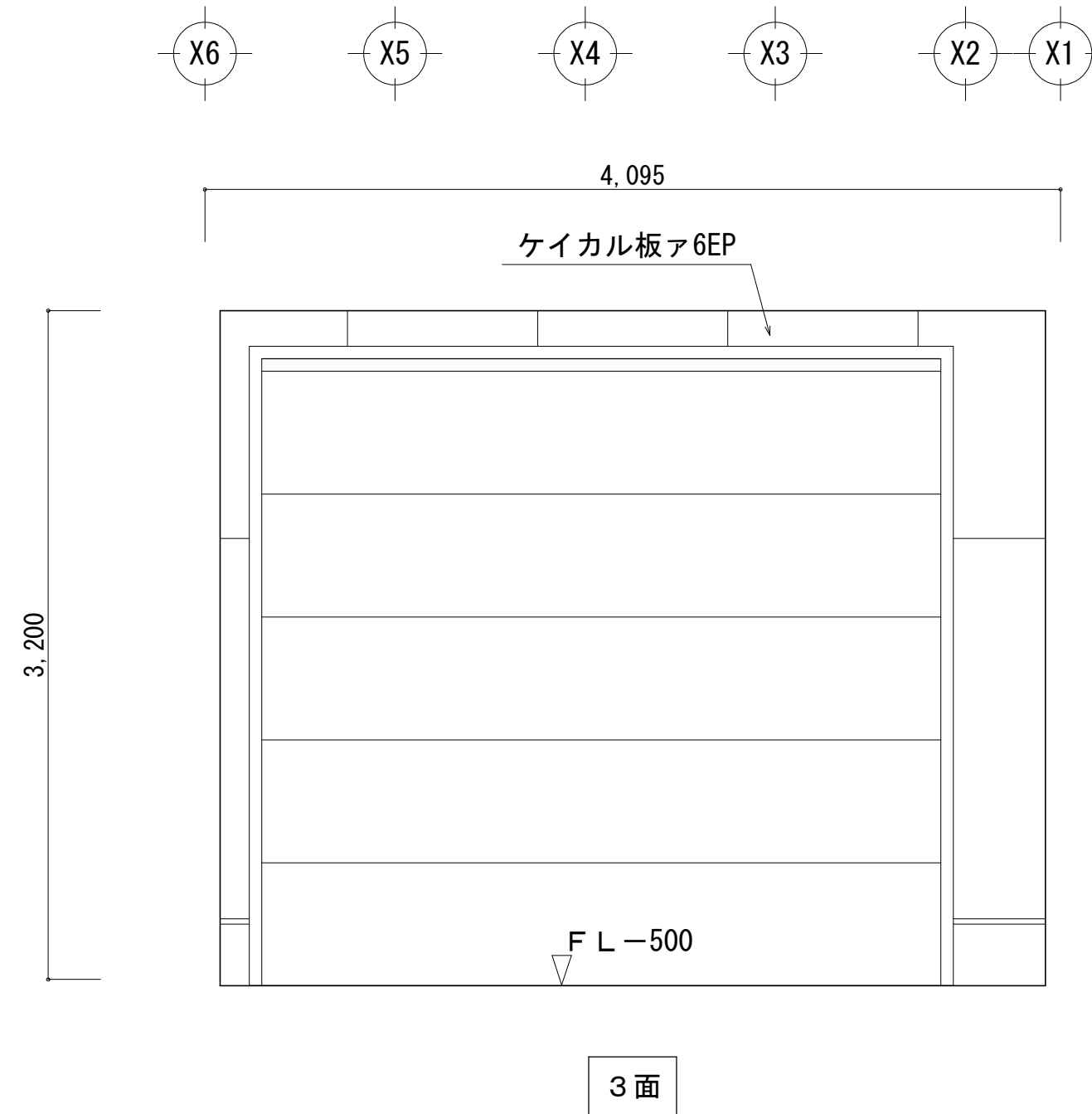
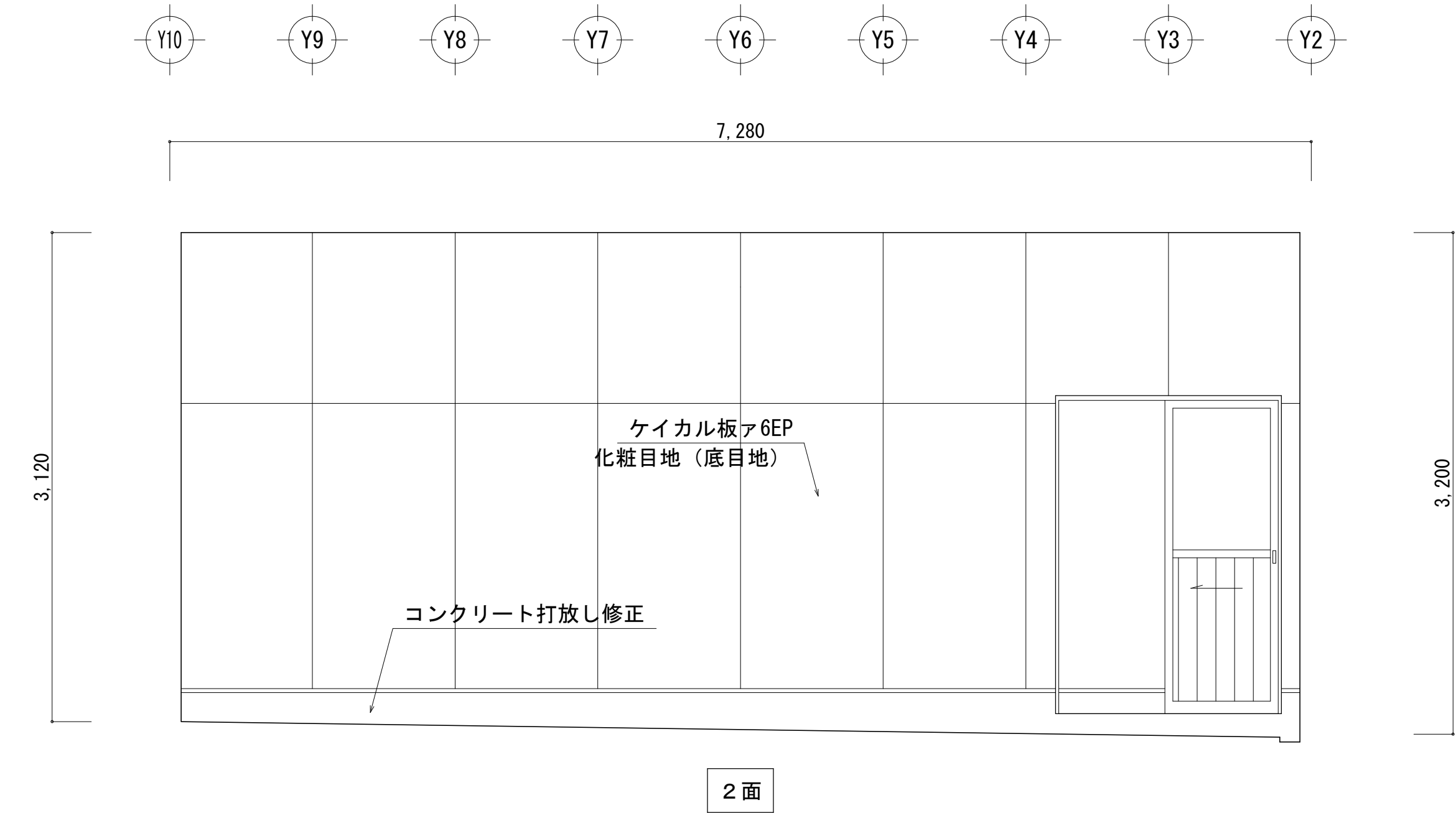
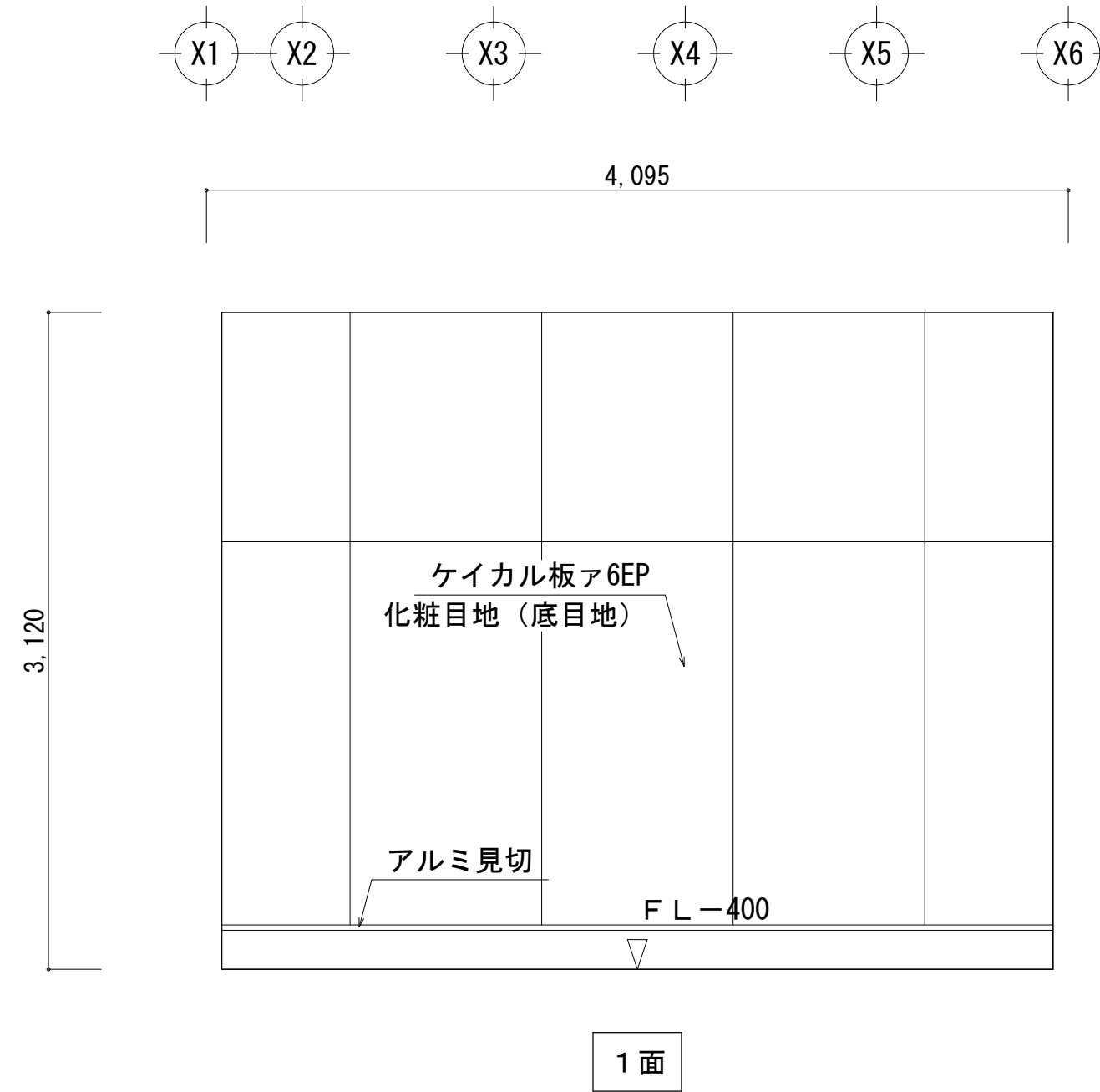
3面

4面

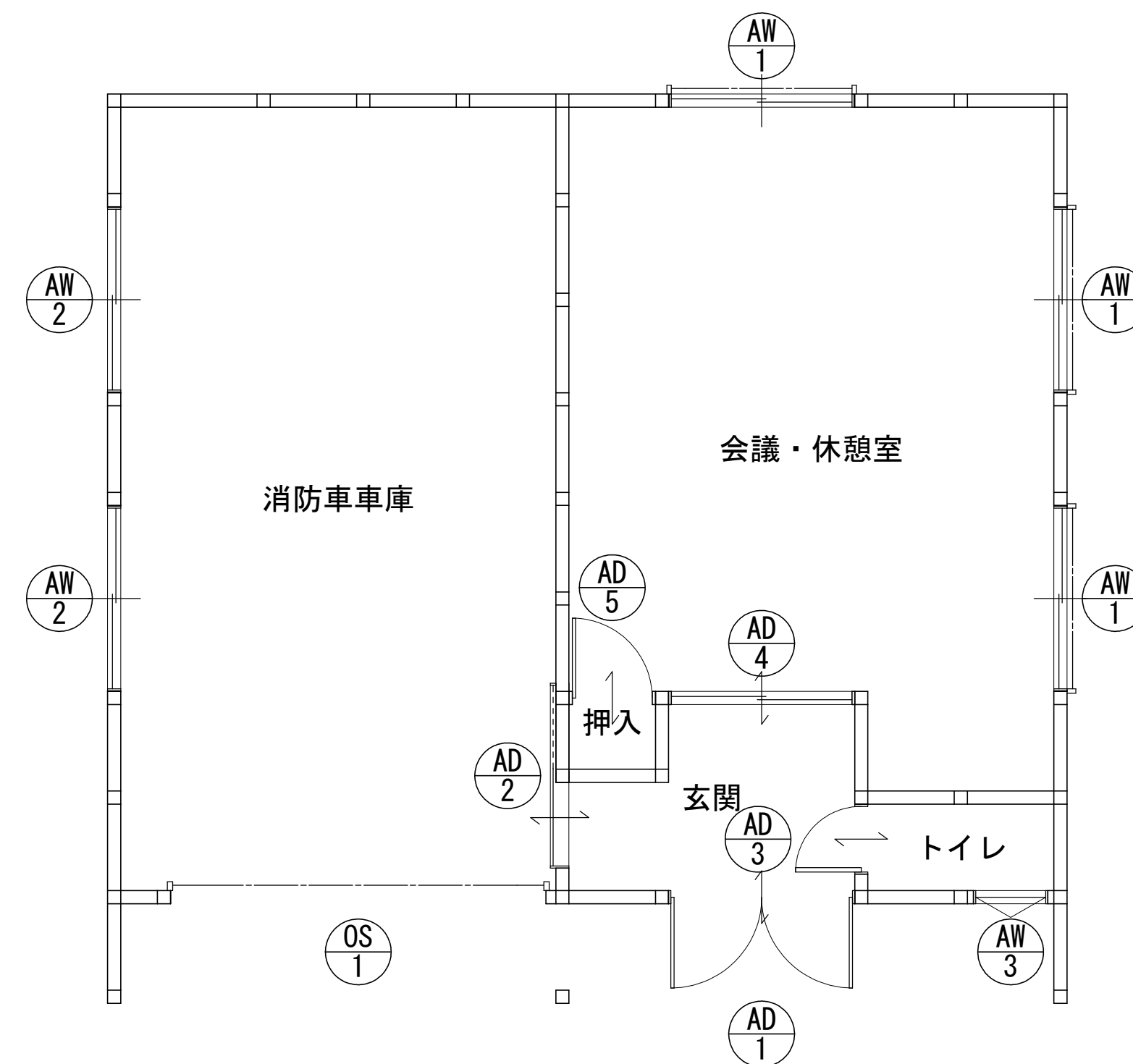
トイレ



消防車車庫



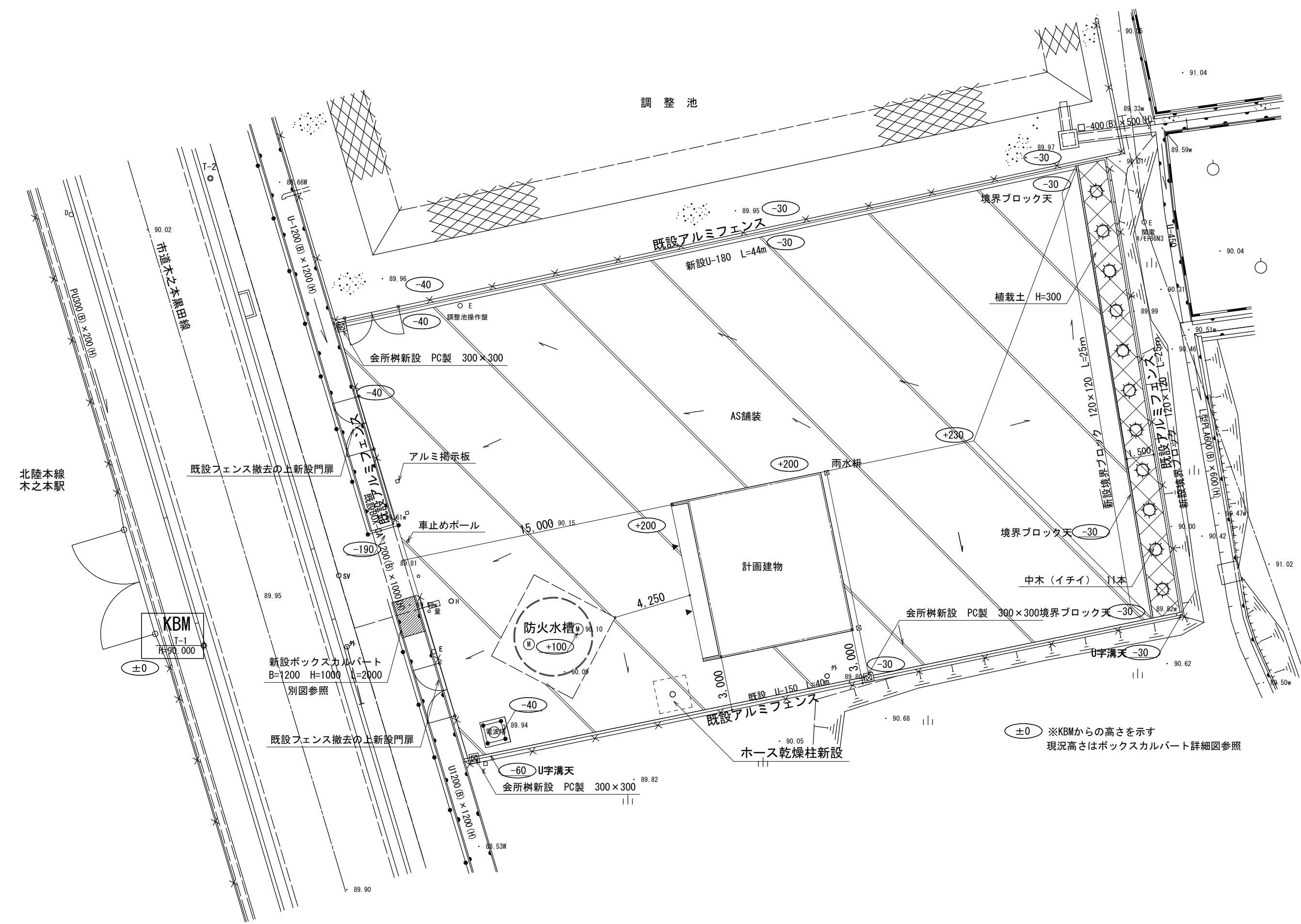
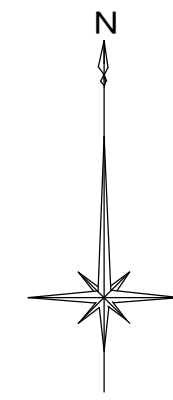
記号	OS1	AD1	AD2	AD3	AD4	AD5	AW1	AW2
1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所	2ヶ所
姿								
部 屋 名	消防車庫	玄関	玄関	玄関	会議・休憩室	会議・休憩室	会議・休憩室	消防車庫
型 式	オーバースライダー	両開きドア	外付け片引き戸	片開き戸	2枚引違戸	片開き戸	シャッター付2枚引違窓	2枚引違窓
材 質	スチール製 S5 バランス式ローヘッド型	アルミ製	アルミ製	アルミ製	7mm製	7mm製	アルミ製	アルミ製
見 込	60	70	70	70	40	40	70	70
仕 上	カラー鋼板ア0.5	アルミカラー	アルミカラー	アルミカラー			アルミカラー	アルミカラー
ガ ラ ス	明かり窓 線入りガラスφ6.8mm	FL5	F4	F4			FL5-A12-FL5	FL5
金 物	附属金物一式 三方枠PL1.6焼付塗装	附属金物一式 シガタナ-DK 7mm額縁 DC	附属金物一式 7mm額縁 サムターン 表示錠	附属金物一式 7mm額縁 サムターン 表示錠	附属金物一式 引手	附属金物一式 取手	附属金物一式、網戸	附属金物一式、網戸
備 考	三和シャッター エスブレード同等品	腰アルミパネル フロンテック LIXIL同等品	腰アルミパネル 玄関側から施錠	アルミガラリ	新和風障子 吾妻障子 間仕切枠仕様 LIXIL同等品	新和風障子 LIXIL同等品		
記号	AW3							
1ヶ所								
姿								
部 屋 名	トイレ							
型 式	縦入り窓							
材 質	アルミ製							
見 込	70							
仕 上	7mmカラー							
ガ ラ ス	F4							
金 物	附属金物一式、網戸							
備 考								



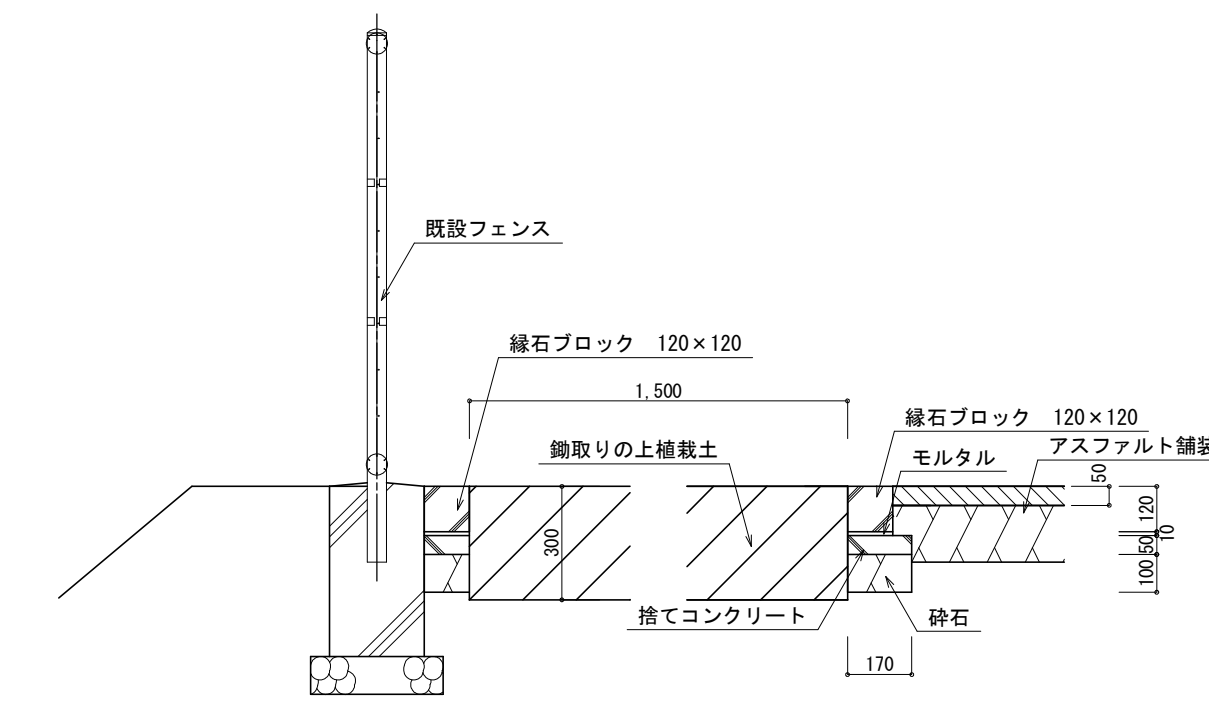
建具配置図 S:1/50

特記事項

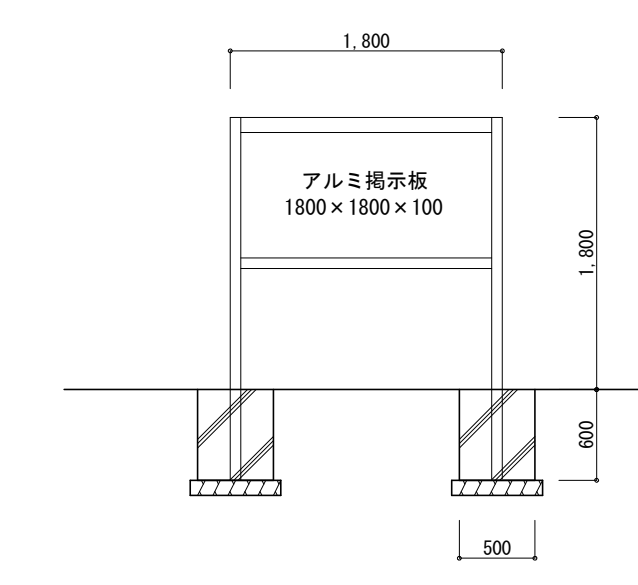
- ・本図は概略寸法を示すものであり、建具製作前に採寸し、係員と打ち合わせの上製作すること。
- ・建具の形状、ガラス等は最終打ち合わせの上決定する。
- ・窓枠で特記無きものはMDF基材化粧シート貼りとする。



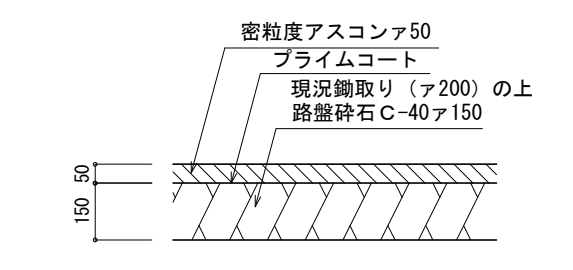
外構工事図 S:1/200



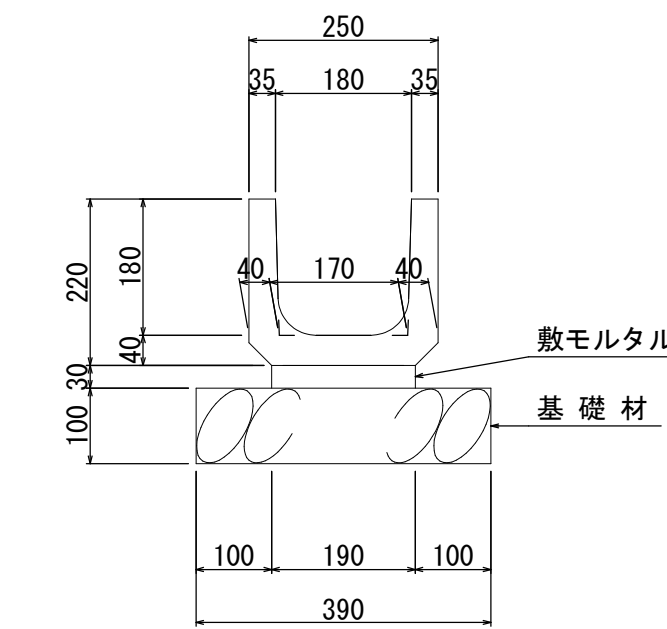
敷地東側断面図 S:1/20



掲示板詳細図 S:1/50



アスファルト舗装詳細図 S:1/20

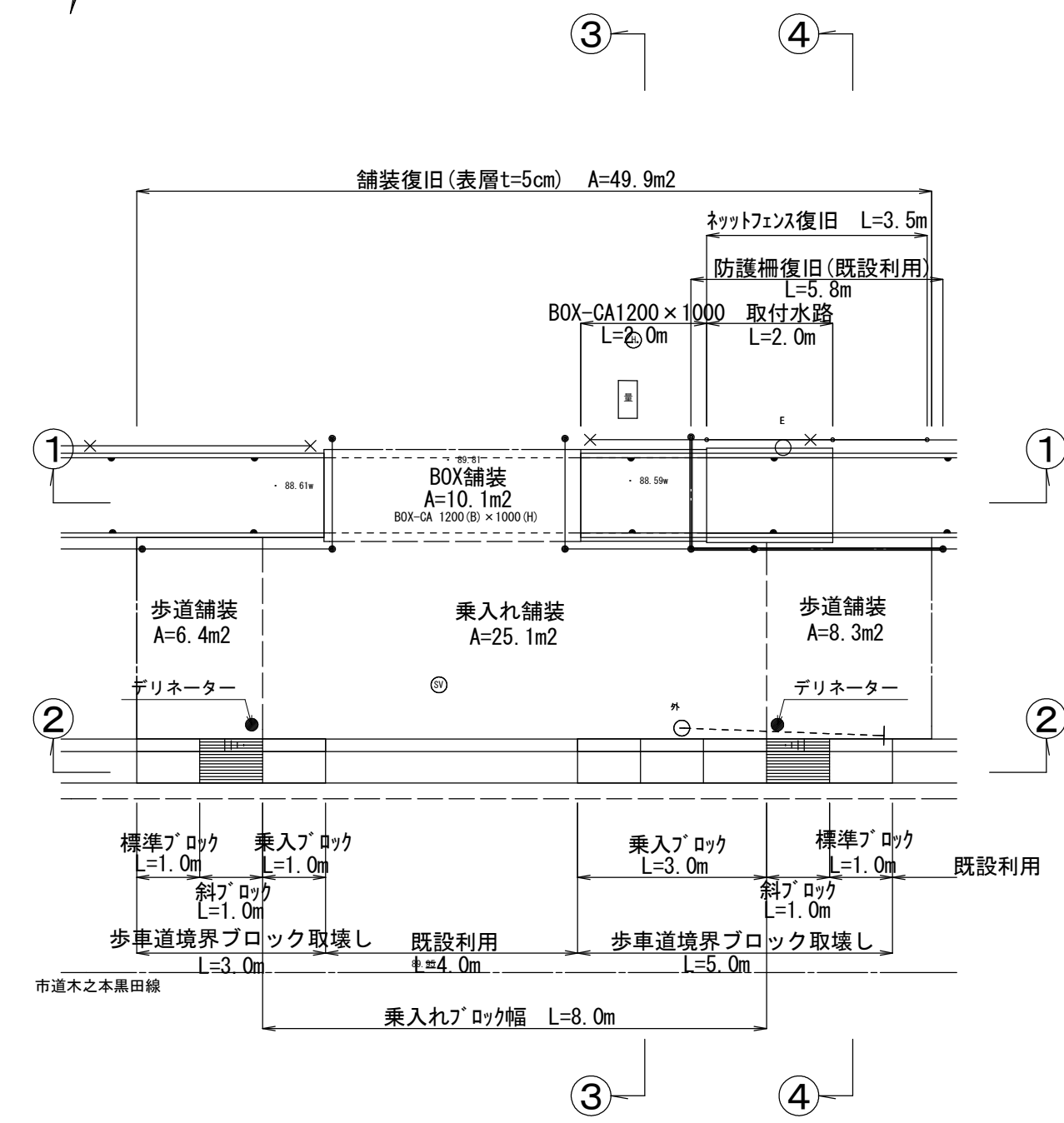


U-180詳細図 S:1/10

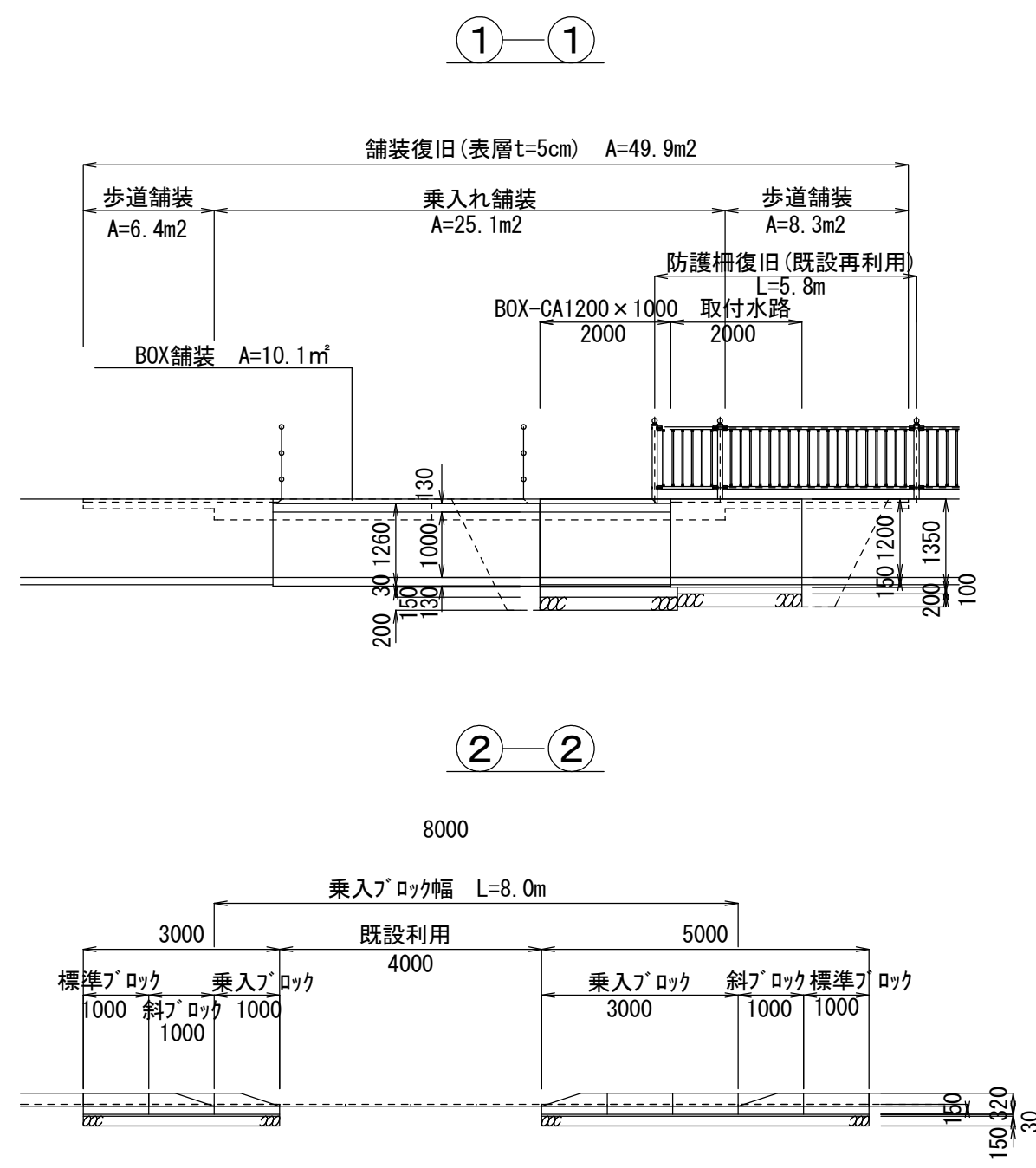
<p>撤去工事</p> <ol style="list-style-type: none"> 敷地内存置ボックスカルバート 1100×1100×2000 2ヶ 1100×1100×1000 1ヶ メッシュフェンス L=2.0m 2カ所 既設雑草撤去 約600㎡程度 	<p>外構工事</p> <ul style="list-style-type: none"> アスファルト舗装 約900㎡ ホース乾燥柱 (別図参照) 掲示板 アルミ製 SPK 2-1810 マグネット式 LED照明なし 三協アルミ同等品 	<ul style="list-style-type: none"> 会所棟 PC製 300×300 3カ所 PC製蓋共 緑石ブロック 120×120 L=50m フェンス門扉 朝日ユニフェンス H=1200 50シリーズ (積雪地用) W=1800 2カ所 基礎共 朝日スチール工業同等品 車止めポール 埋設式 76.3φ 3本 @1,850 SUSHL仕上げ チェーン内蔵ポール (チェーン L=2,000 4φ) NE X-76M-C (チェーン内蔵) 1本 NE X-76M-E (エンドポール) 2本 ユニオン同等品 中木(イチイ) 11本 H=1.5 植栽土300mm 約38㎡ 	<p>特記事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 施工にあたり、敷地内に防火水槽があるため、消火活動上支障がないよう十分に配慮すること 各高さは参考とし、現地測量の上舗装高さを決定すること。 <p>仮設計画</p> <ol style="list-style-type: none"> 交通誘導員 工事車両の出入があるとき ゲート アルミキャストゲート W=6.0m ボックスカルバートは別紙の通り
--	---	--	--

乗入れ工
S:1:100

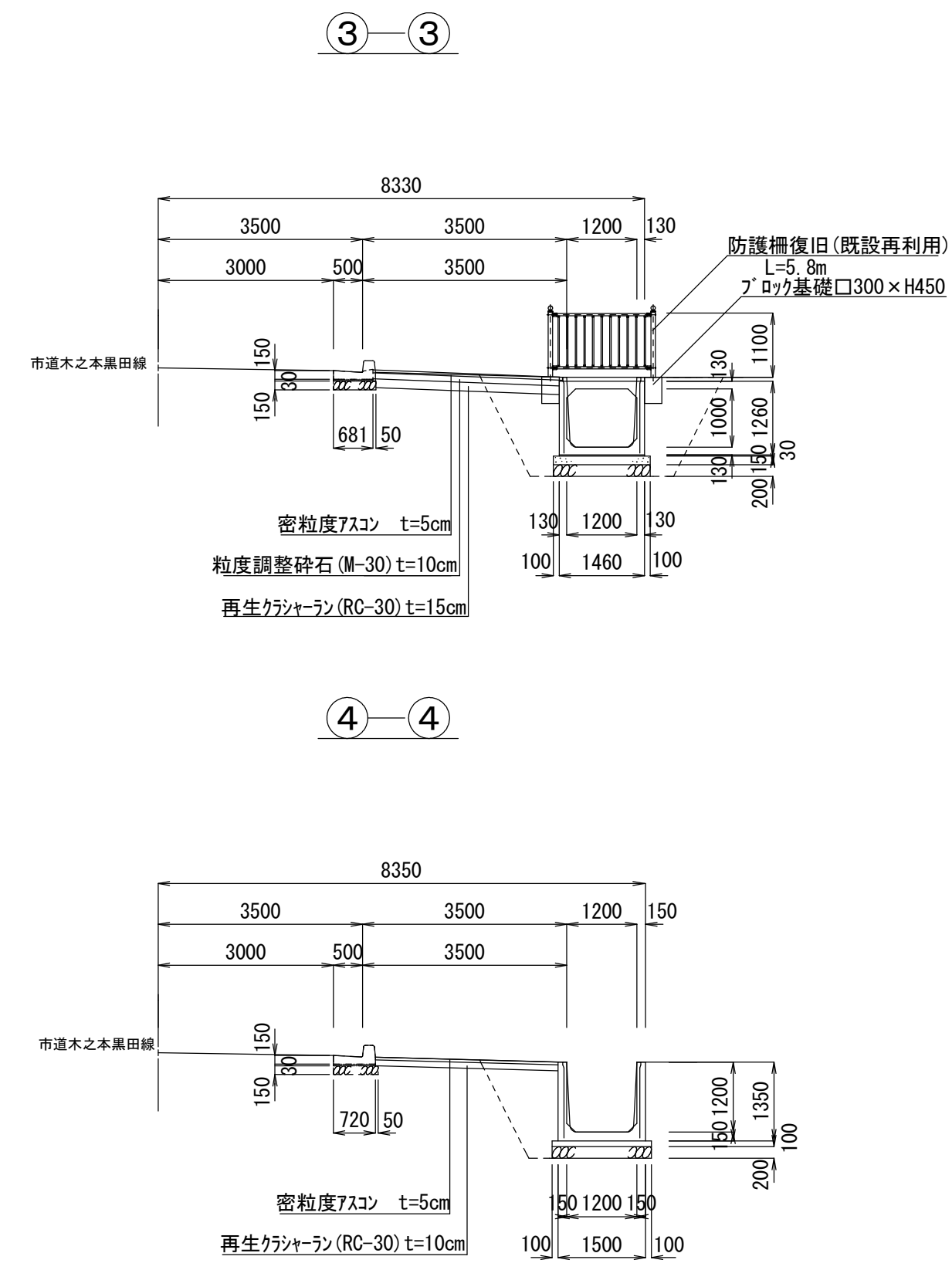
平面図



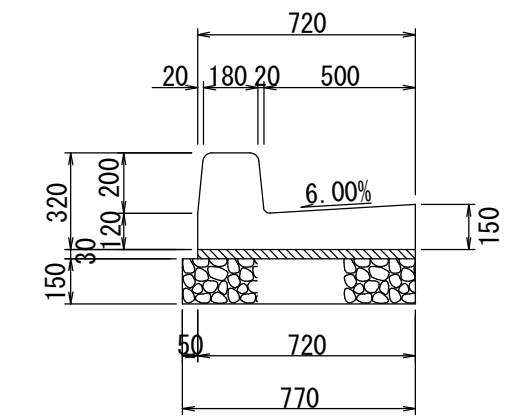
縦断面図



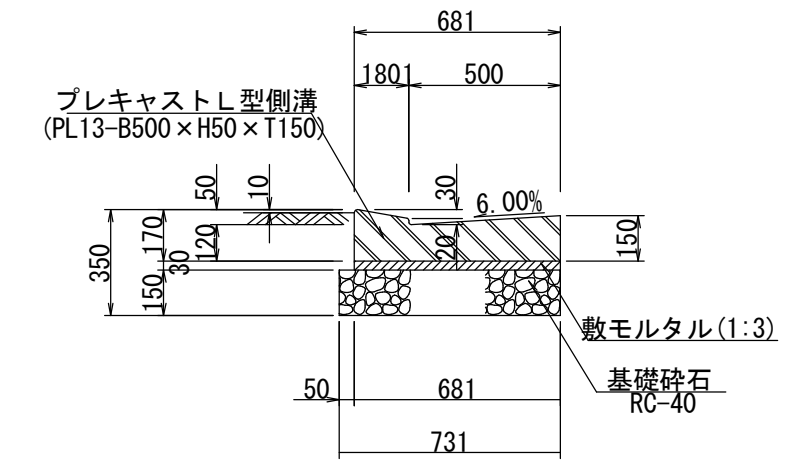
横断面図



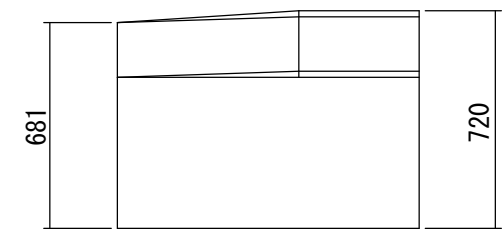
標準ブロック
(PL13-B500×H50×T150)
S:1:25



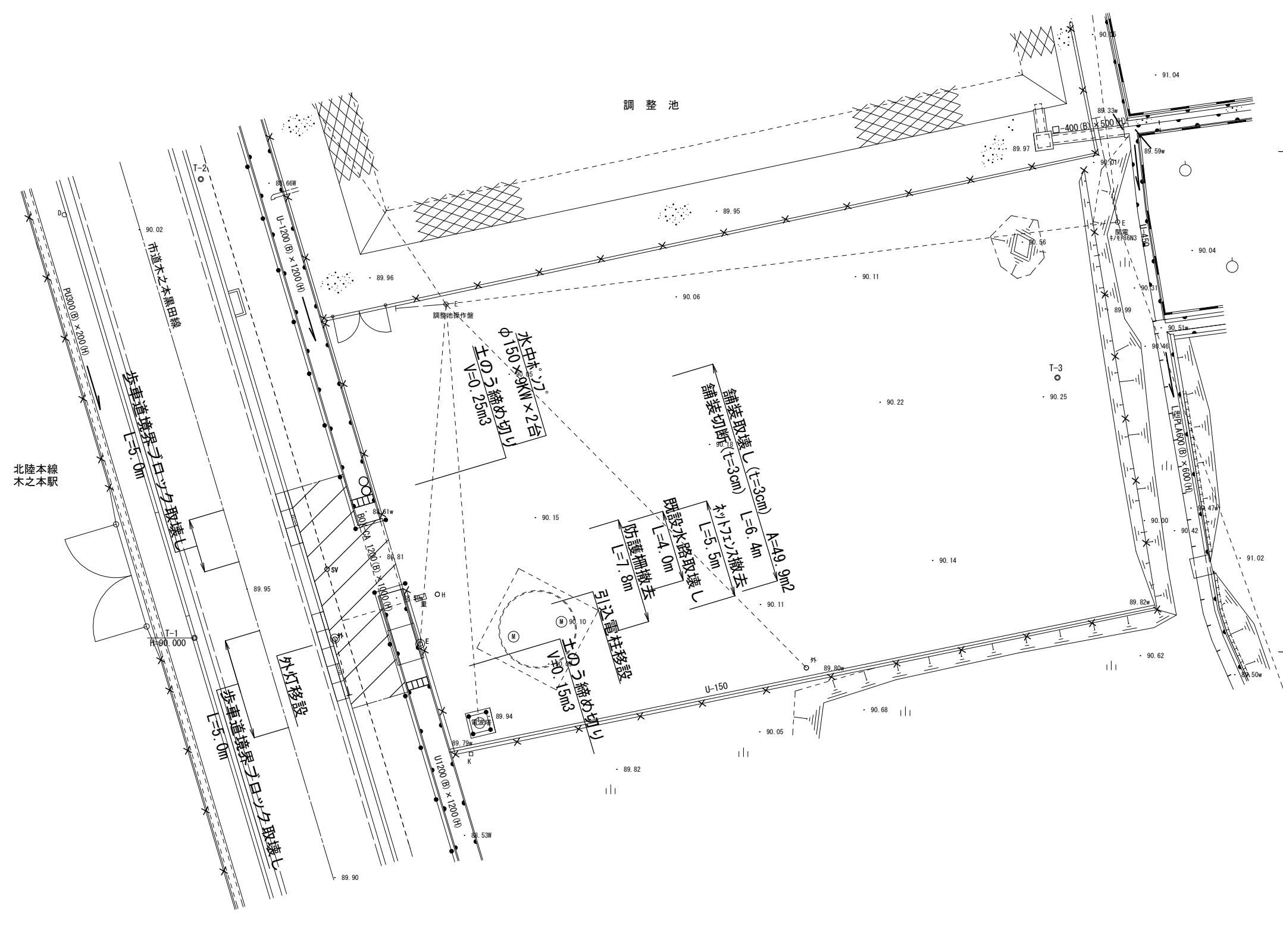
乗入ブロック
(PL13-B500×H50×T150)
S:1:25



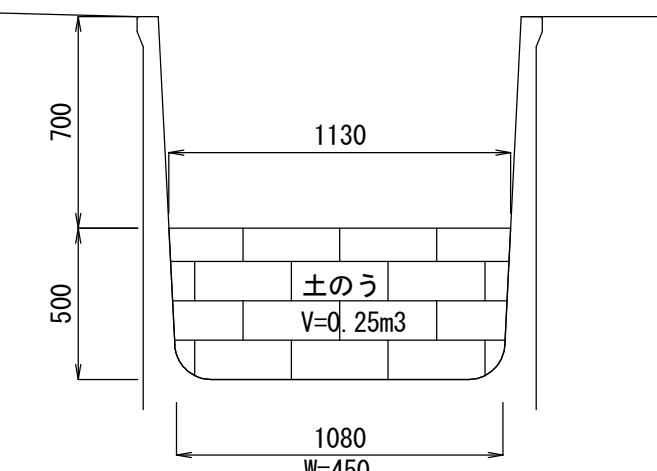
斜ブロック
(PL13-斜ブロック)
S:1:25



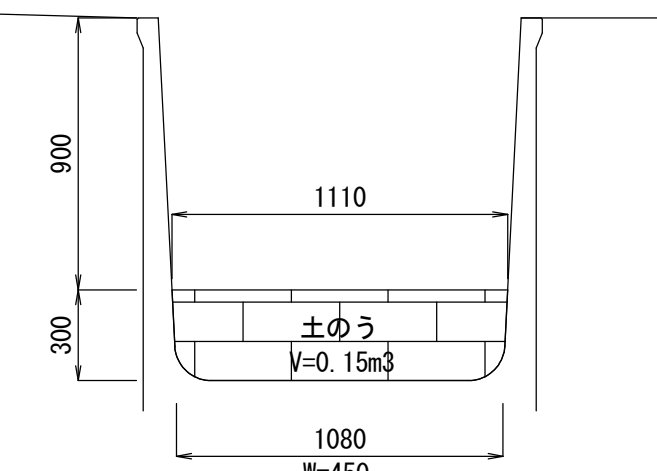
仮設・旧構造物平面図
S:1:250



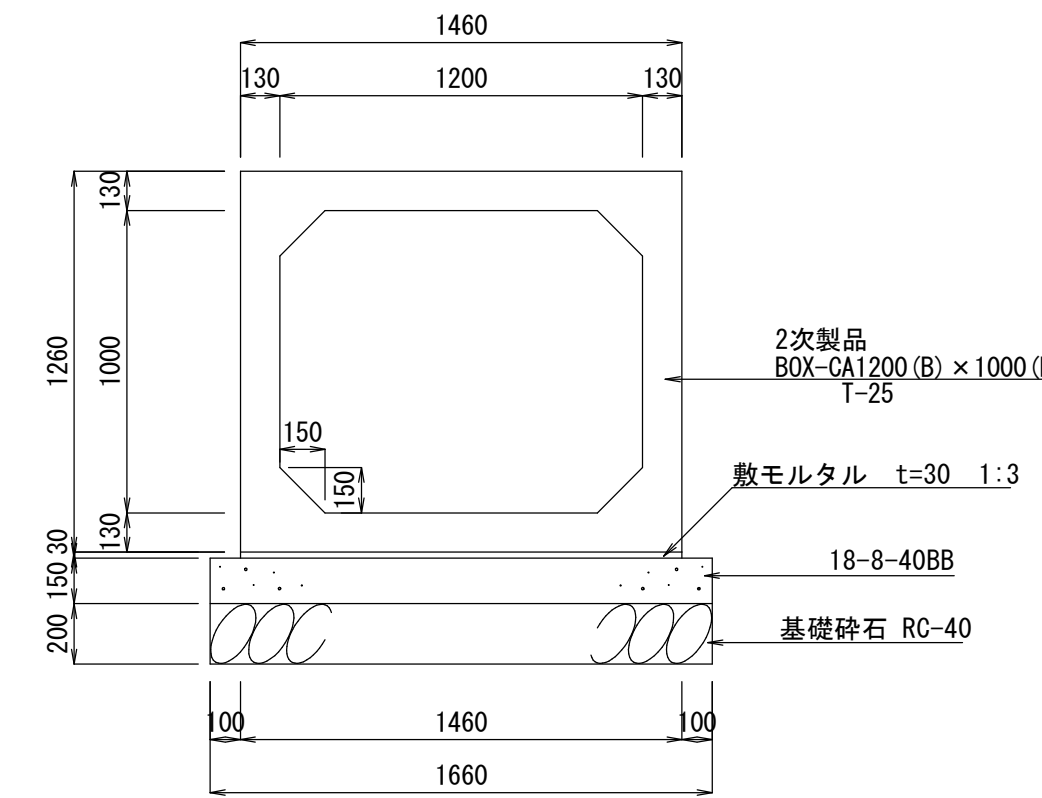
土のう締切り
(上流側)
S:1:25



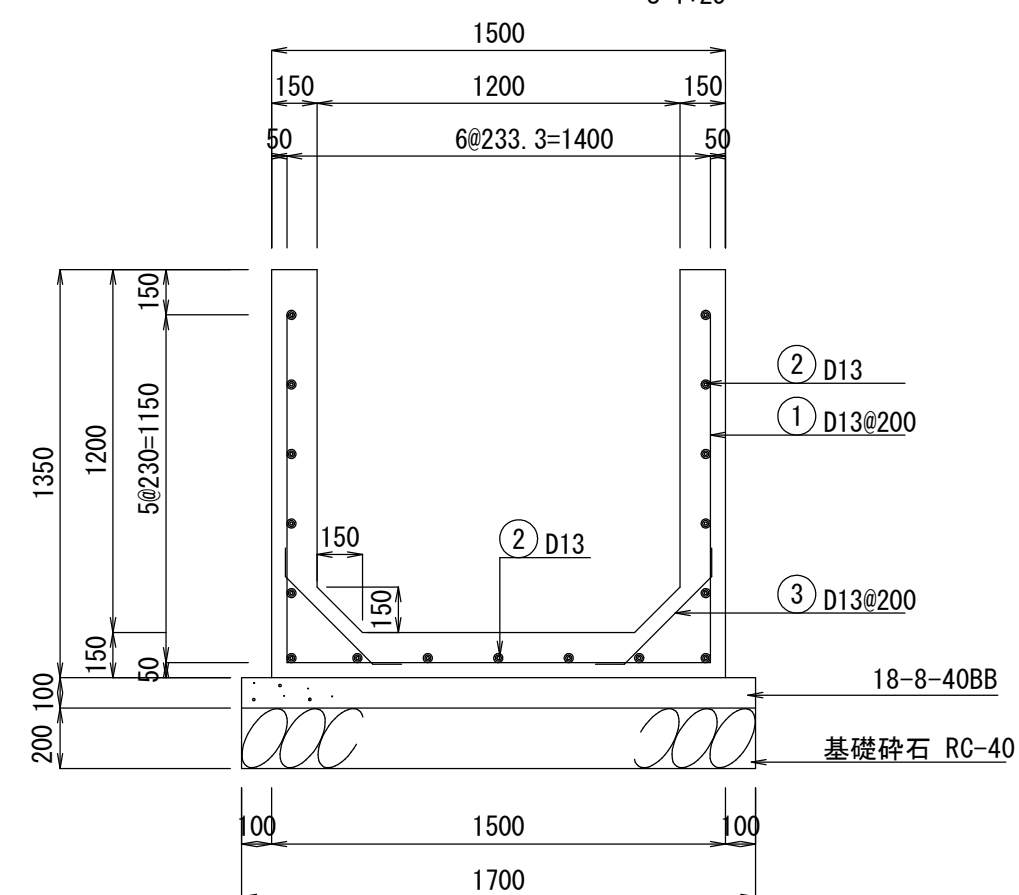
土のう締切り
(下流側)
S:1:25



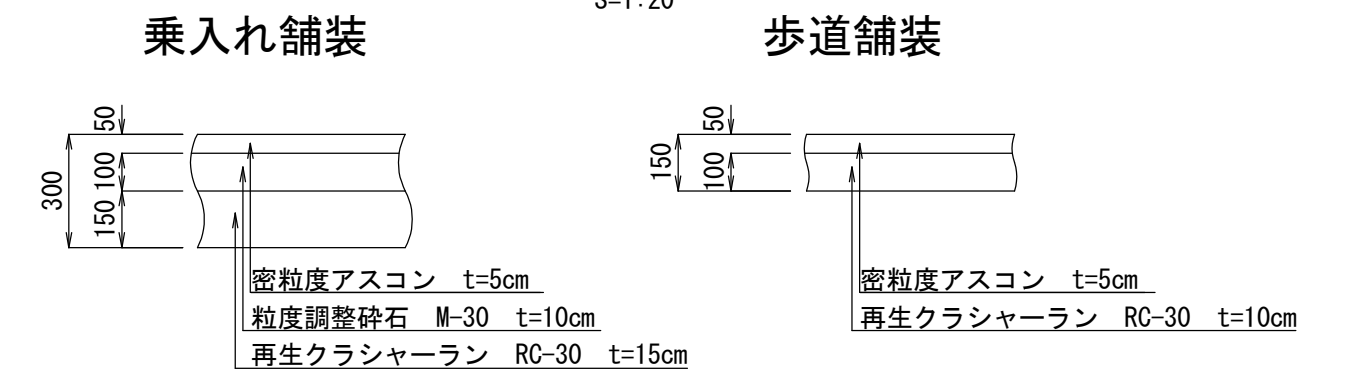
BOX-CA1200×1000
S:1:25



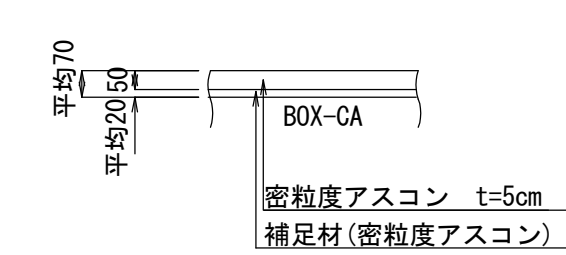
取付水路
(B1200×H1200)
S:1:25

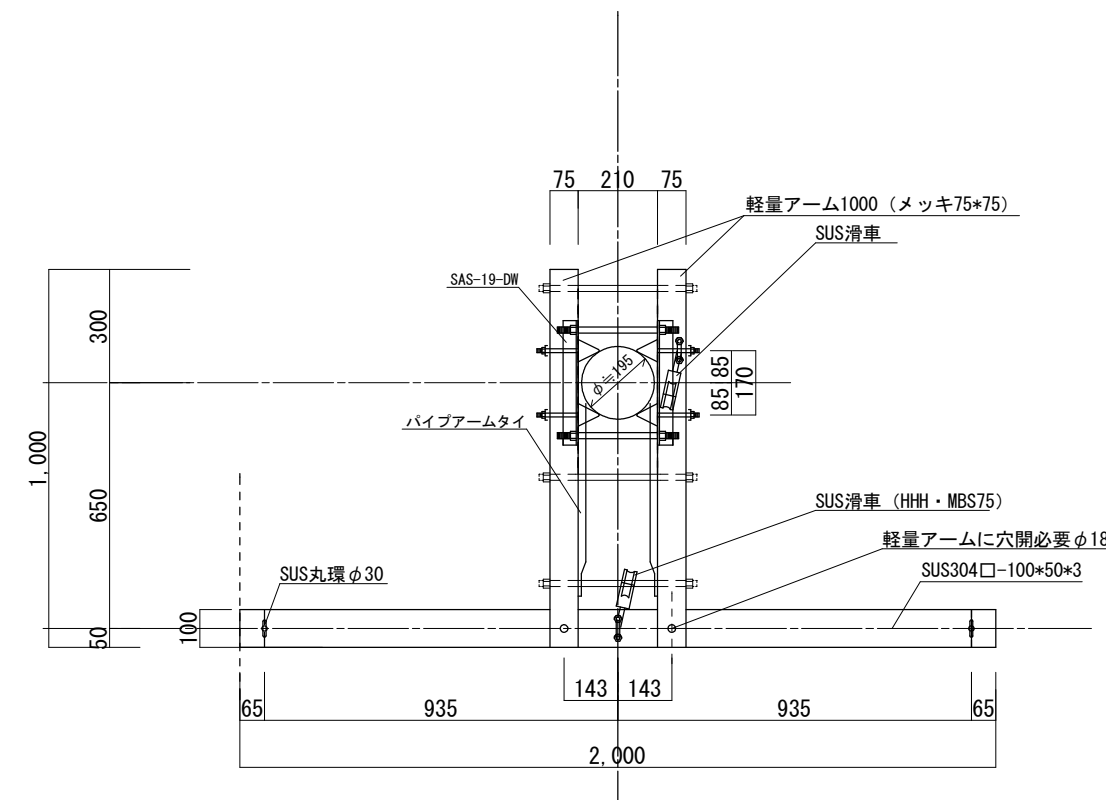


舗装構成図
S:1:20

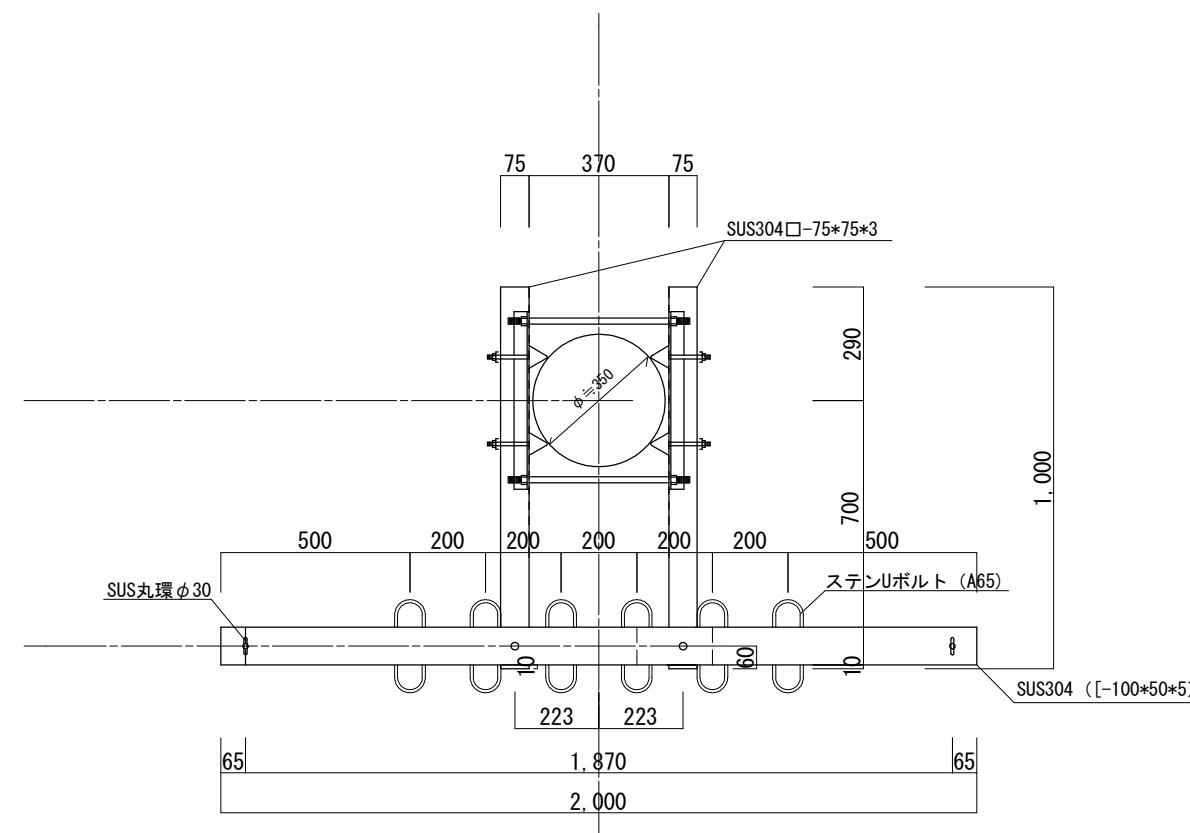


BOX舗装

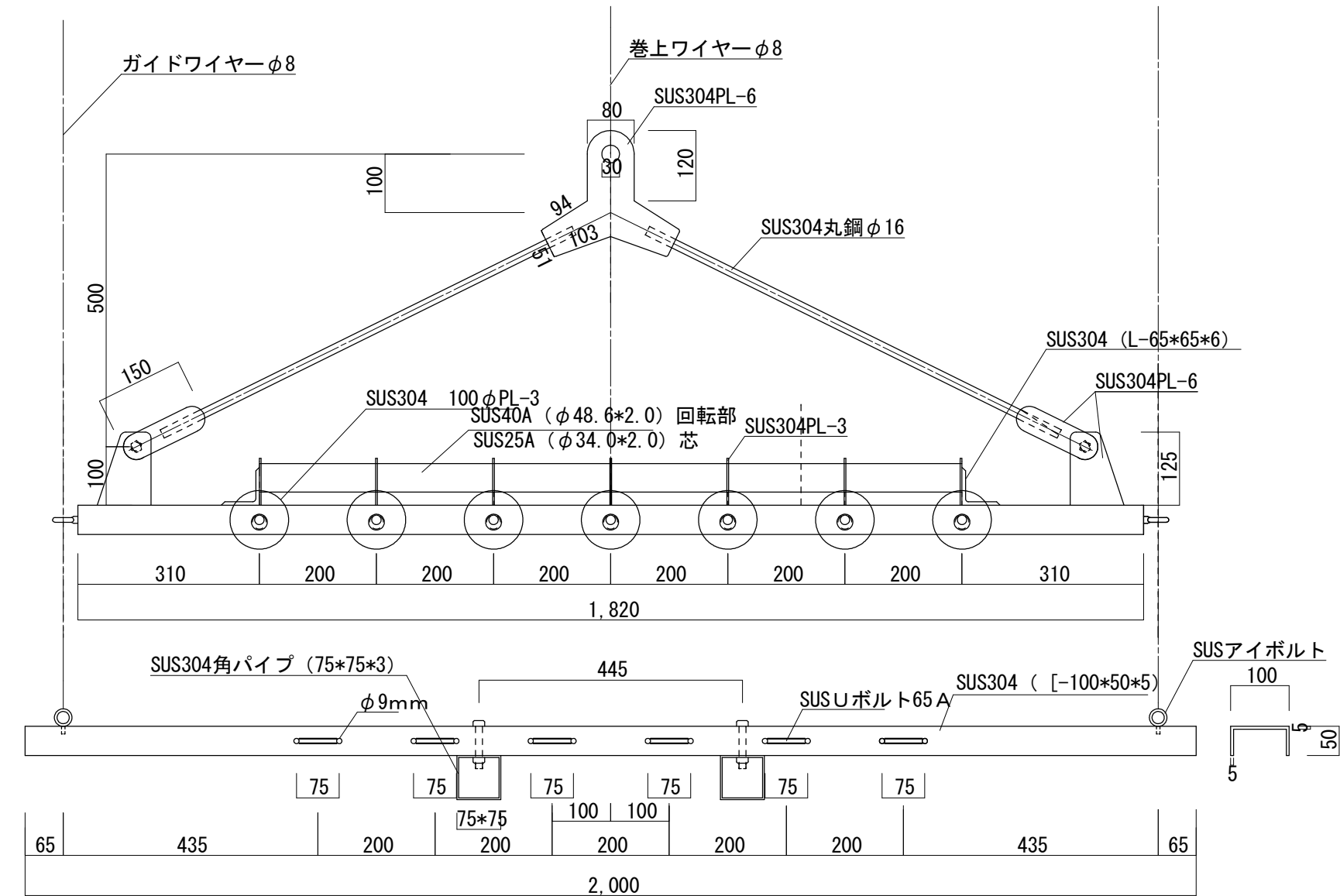
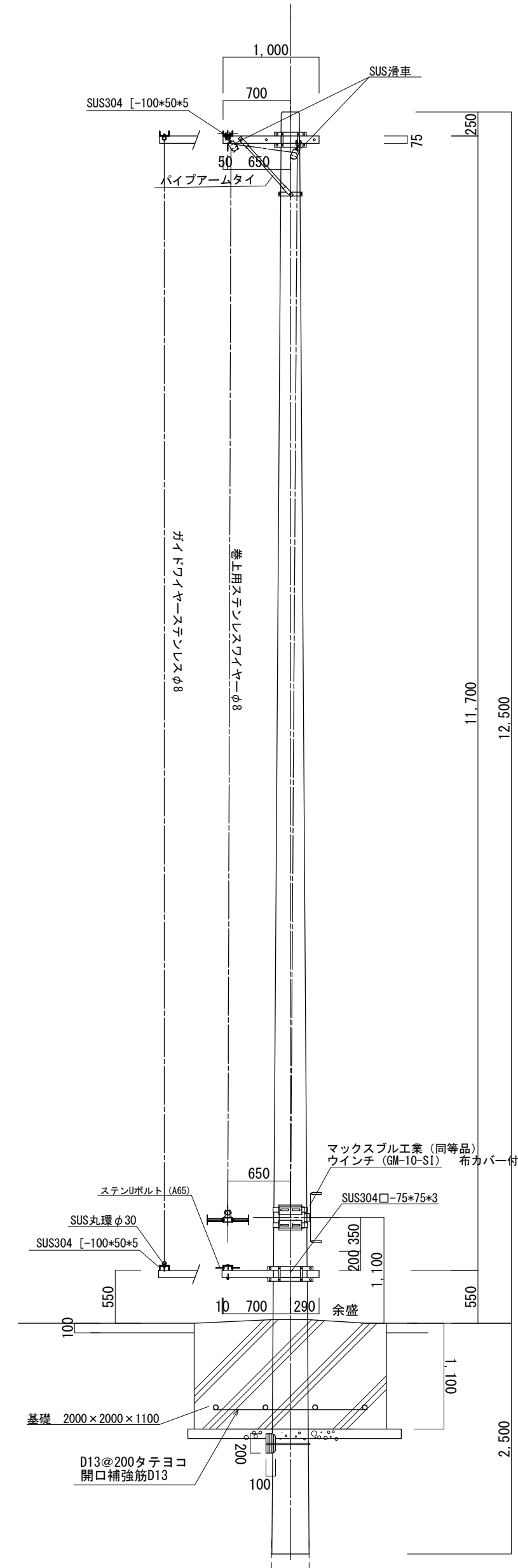




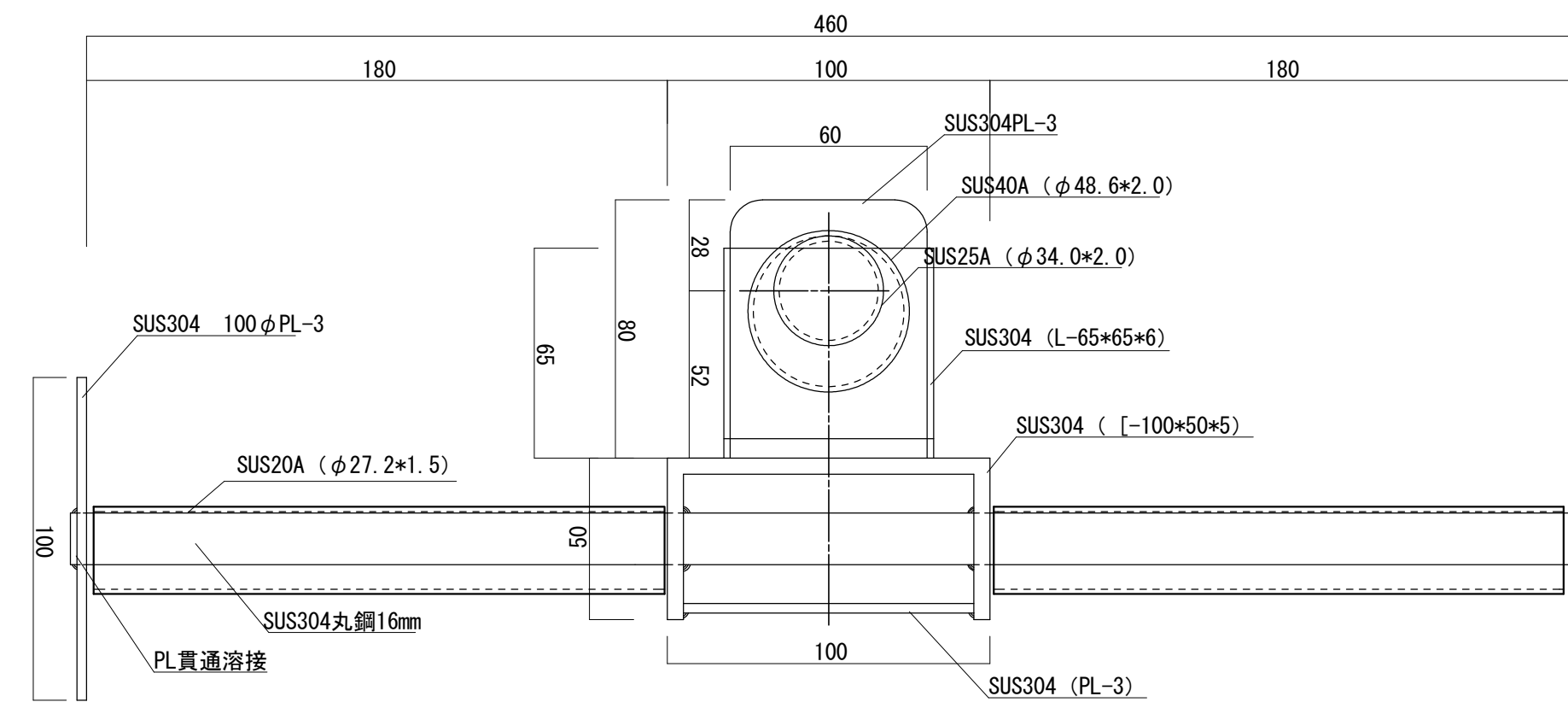
頭部平面透视图 1/20



下部部平面図 1/20



姿図 1/10



断面詳細図 1/2

特記事項

- ・消防屯所及びホース乾燥柱の解体を行う。
- ・基礎を含む地中埋設物（設備共）全てを撤去する。
- ・車庫及び土間コンクリート撤去部分は良土で埋め戻しとし、再生砕石敷 ϕ 100とする。
- ・解体発生材は産業廃棄物処理法等、アスベスト含有建材についても関係法令に従い適切に処理し、係員に報告すること。
- ・消防用水池は今後も利用するので、解体時に支障がないよう配慮すること。また、消防用水池から解体建物への水抜き穴等がある場合はモルタル等で漏水しないよう充填すること。
- ・解体に先立ち、PCBを使用した照明器具の調査を行い、関係法令に従い適切に処理の上、係員に報告すること。また、空調室外機等、家電リサイクル法他関係法令についても同様とする。

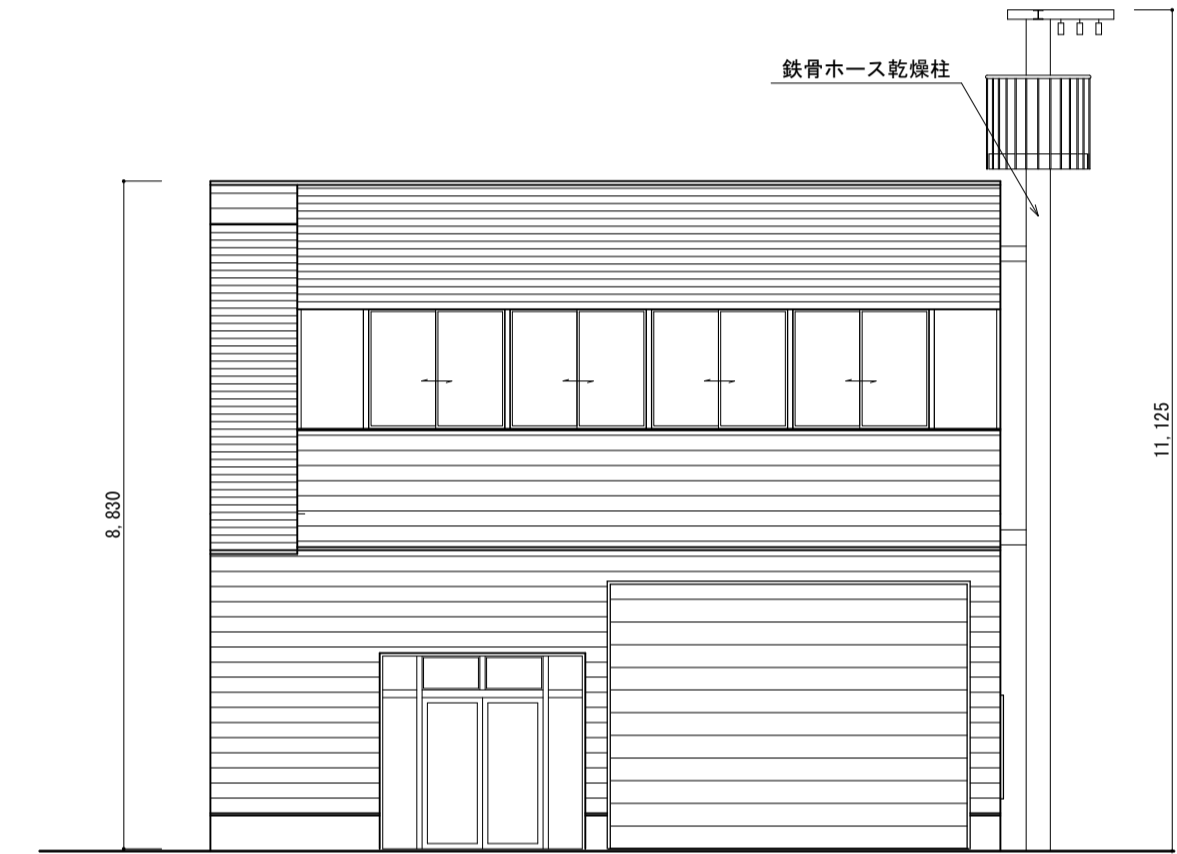
外部仕上表

部位	仕上
屋根	アスファルトルーフィング下地 カラーガルバリウム ϕ 0.4 瓦葺き
パラペット	PB ϕ 12下地 角波カラーガルバリウム
外壁	ラムダサイディング ϕ 15吹付タイル。アルミ製出隅コーナ 一部アスファルトルーフィング下地ニューコロニアル張り
巾木	モルタル刷毛引き吹付タイル
笠木	アルミ製
軒天井	「石綿ケイカル板 ϕ 6」 「吹付タイル」 サイディング ϕ 11吹付タイル 換気レジスター
樋	軒樋 硬質塩ビ製 120角 受金物共 塩ビカラー角樋 ϕ 100

内部仕上表

階	部屋名称	床		巾木		壁		天井		備考
		下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	下地	仕上	
1	車庫	コンクリート直仕上	モルタル金コテ	モルタル金コテ	サイディング ϕ 11	V.P	防火サイディング	吹付リシン	欄	
	物置	コンクリート直仕上	モルタル金コテ	モルタル金コテ	サイディング ϕ 11	O.P	P.B ϕ 9	V.P		
	待機所	コンクリート	防塵塗料	モルタル金コテ	サイディング ϕ 11	塩ビエナメル		ジブトーン ϕ 9		
2	湯沸室	コンクリート	防塵塗料	モルタル金コテ	サイディング ϕ 11	塩ビエナメル		ジブトーン ϕ 9		
	W.C		25角モザイクタイル	鉄部フタル酸エナメル	ラスカット ϕ 6	T-100	石綿ケイカル板 ϕ 6	V.P		
	階段室	モルタル	防塵塗料	鉄部フタル酸エナメル	サイディング ϕ 11	吹付タイル	石綿ケイカル板 ϕ 6	吹付タイル		
2	広間	モルタル	Pタイル	木製90 \times 25 O.P	サイディング ϕ 11	塩ビエナメル		ジブトーン ϕ 9		
	和室6帖	コンパネ ϕ 12	畳敷	畳寄せ	P.B ϕ 12	ビニールクロス		杉巻P.B ϕ 9		
	押入		ベニヤ ϕ 5.5	雑巾摺		ベニヤ ϕ 4		ベニヤ ϕ 4	中段 杖欄	
	女子便所・男子便所	コンパネ ϕ 12	C.Fシート ϕ 2.3	木製90 \times 25 O.P		化粧合板 ϕ 4	P.B ϕ 9	V.P		

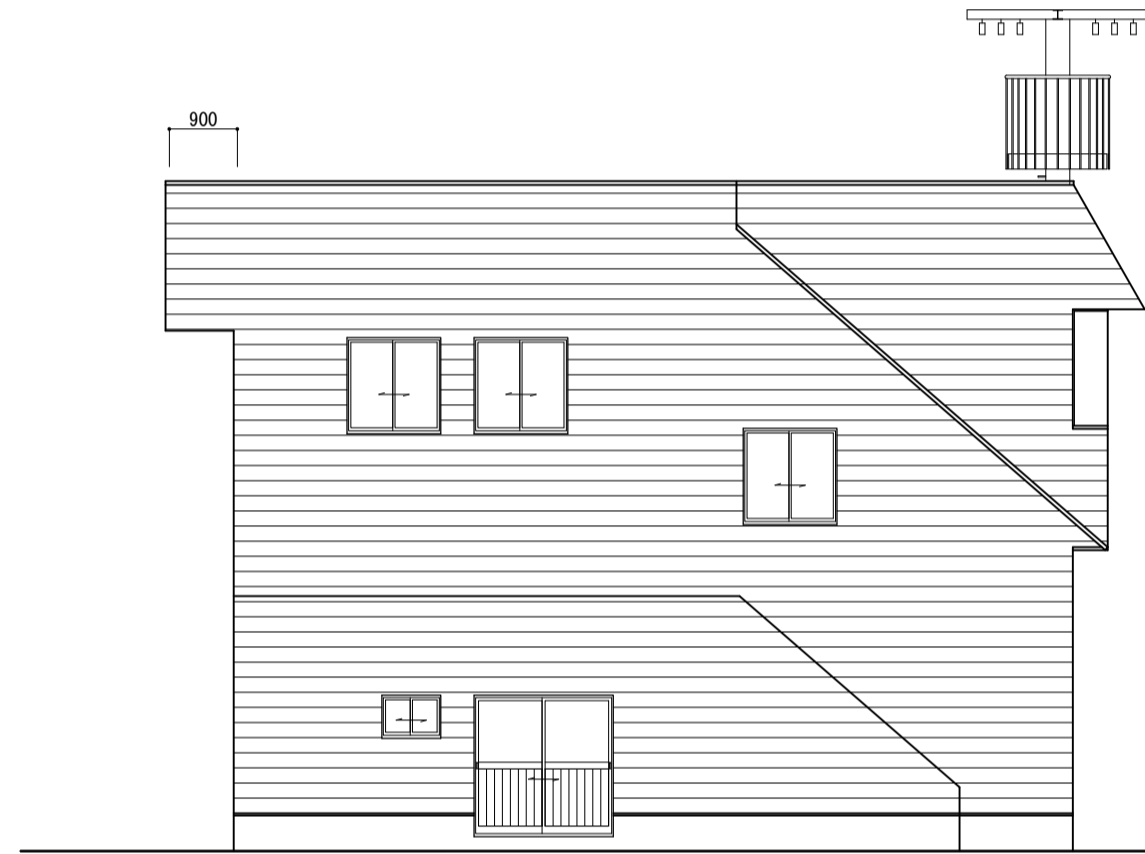
石綿含有材



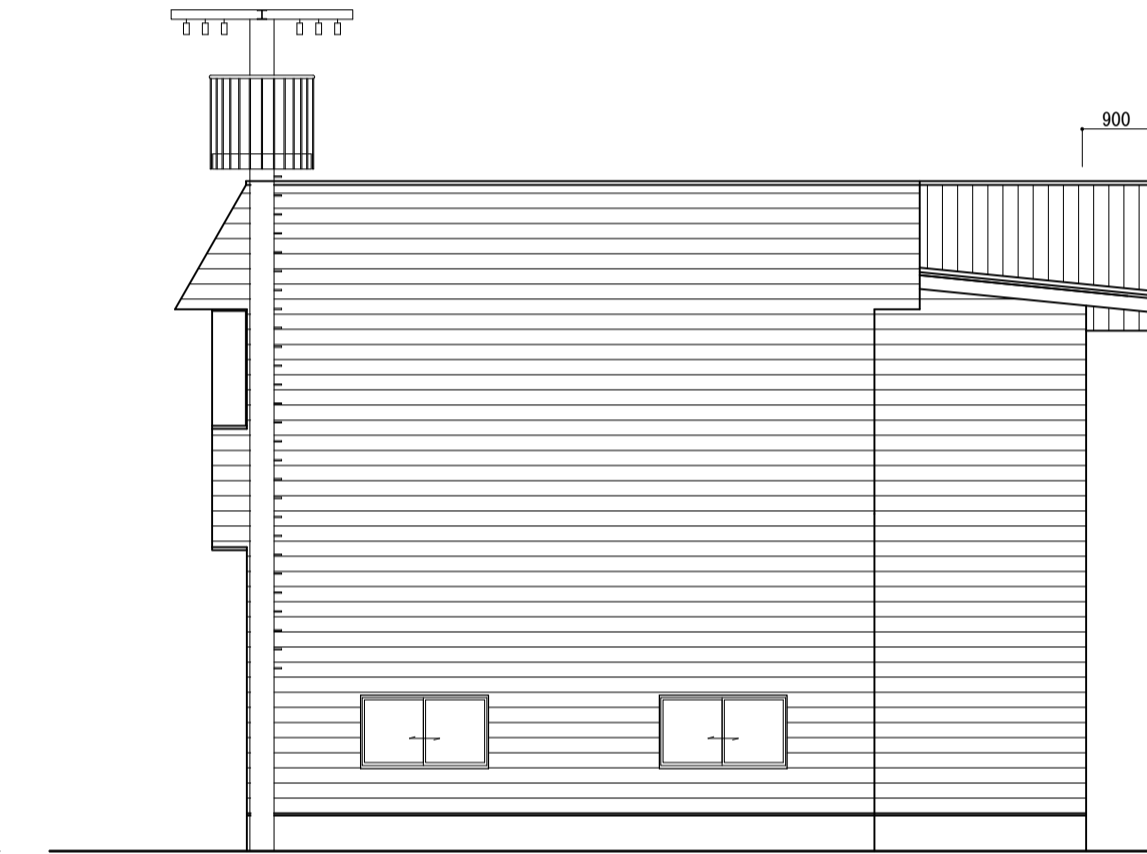
北側立面図 S:1/100



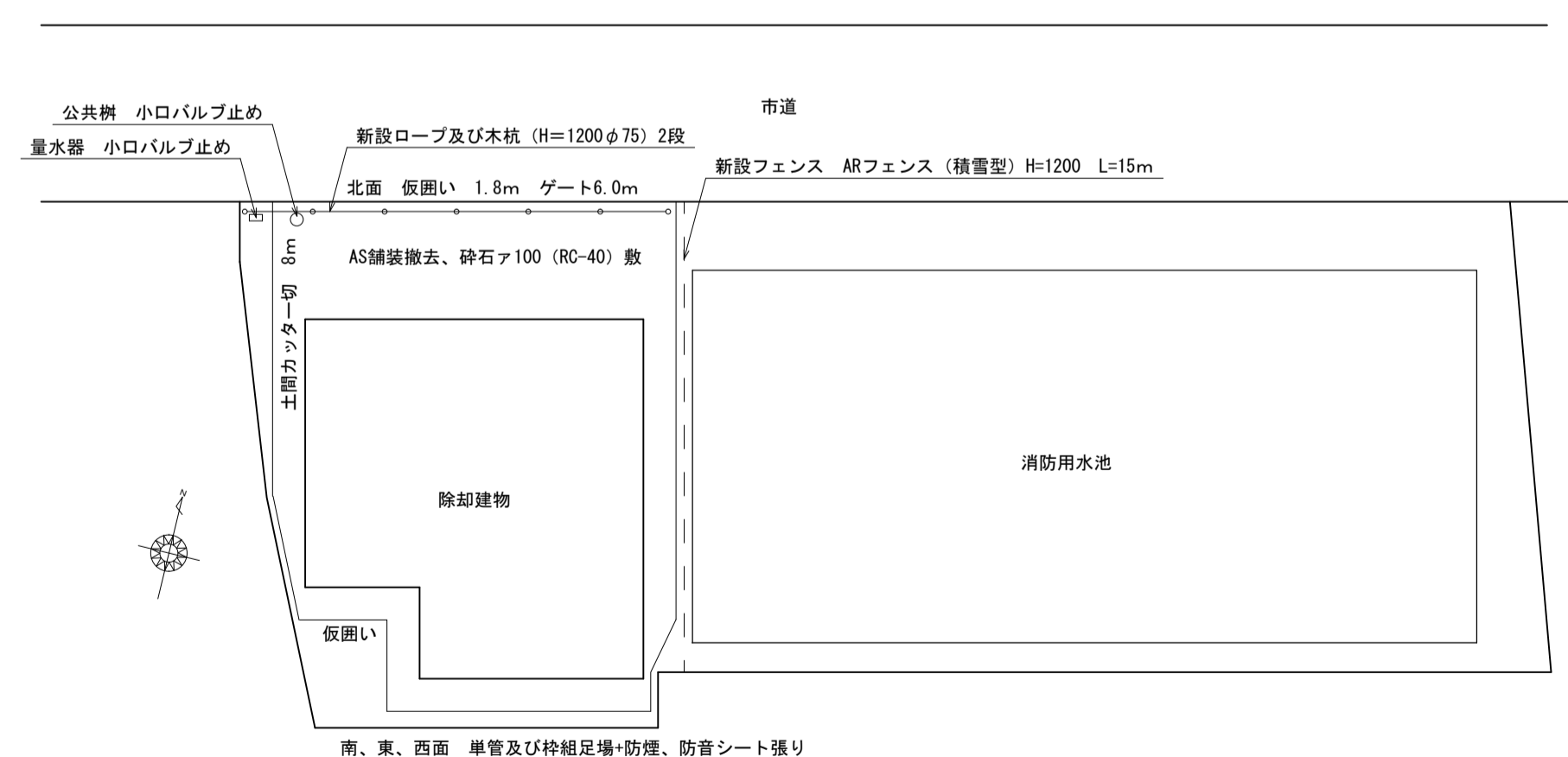
南側立面図 S:1/100



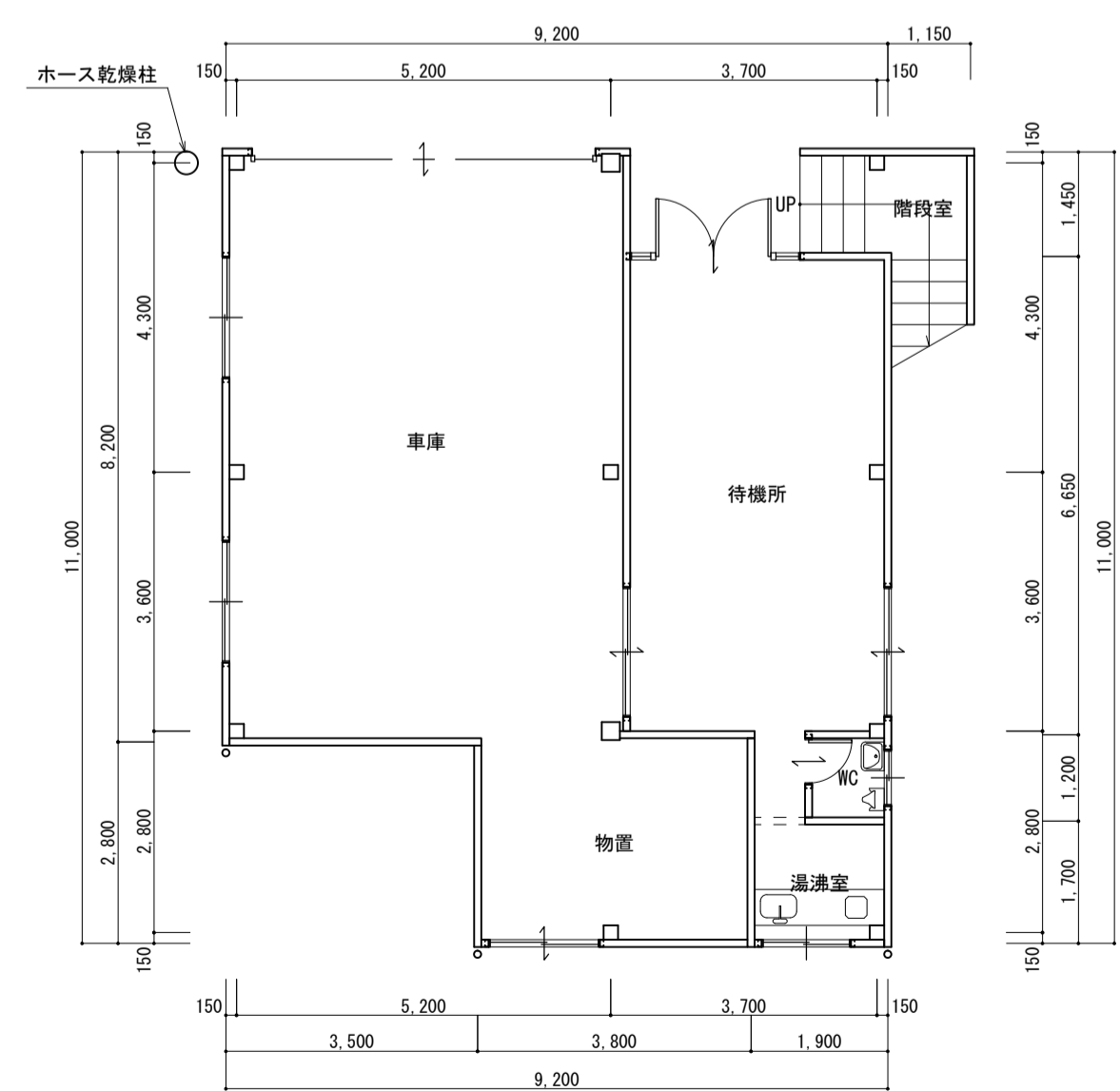
東側立面図 S:1/100



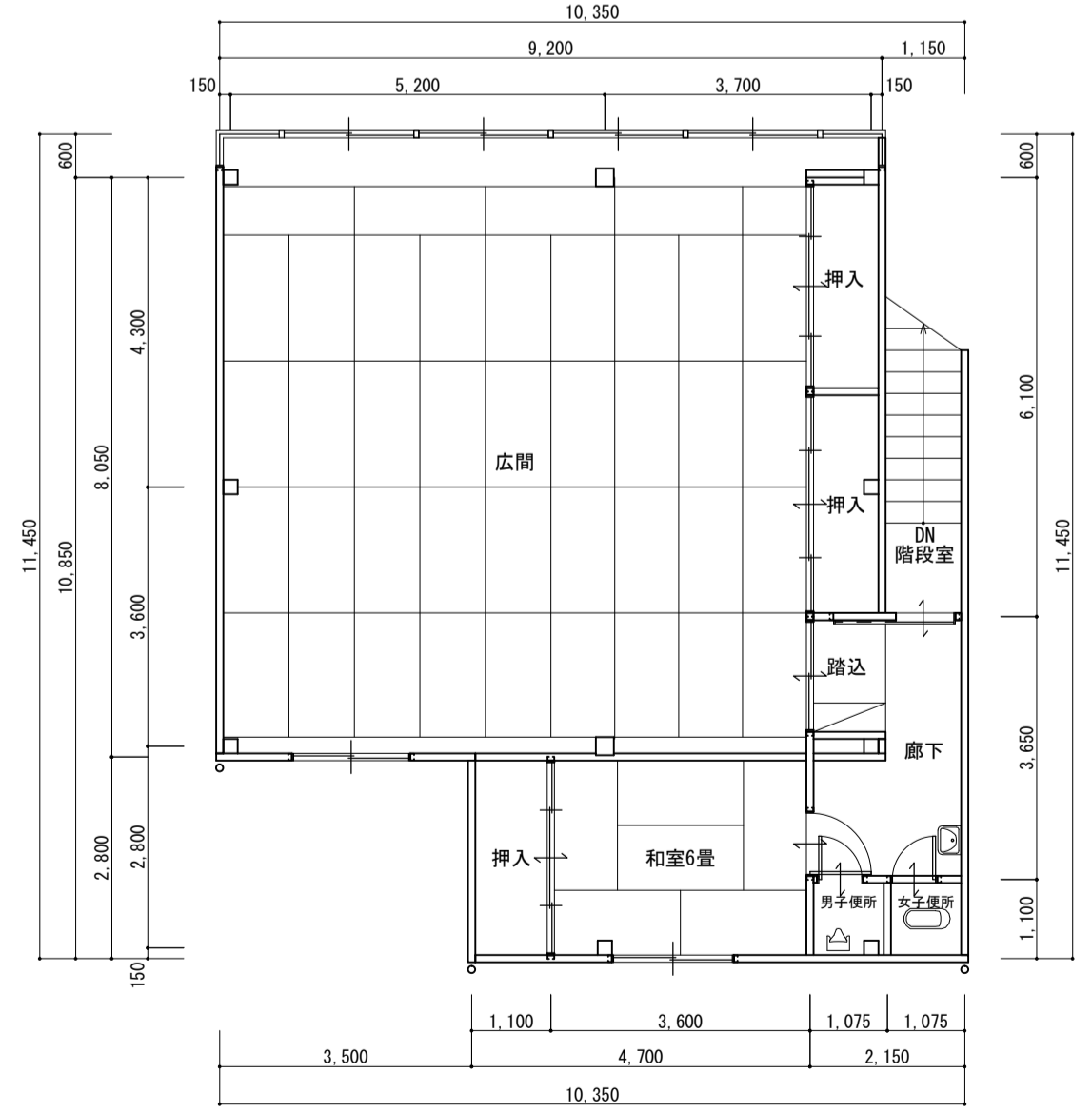
西側立面図 S:1/100



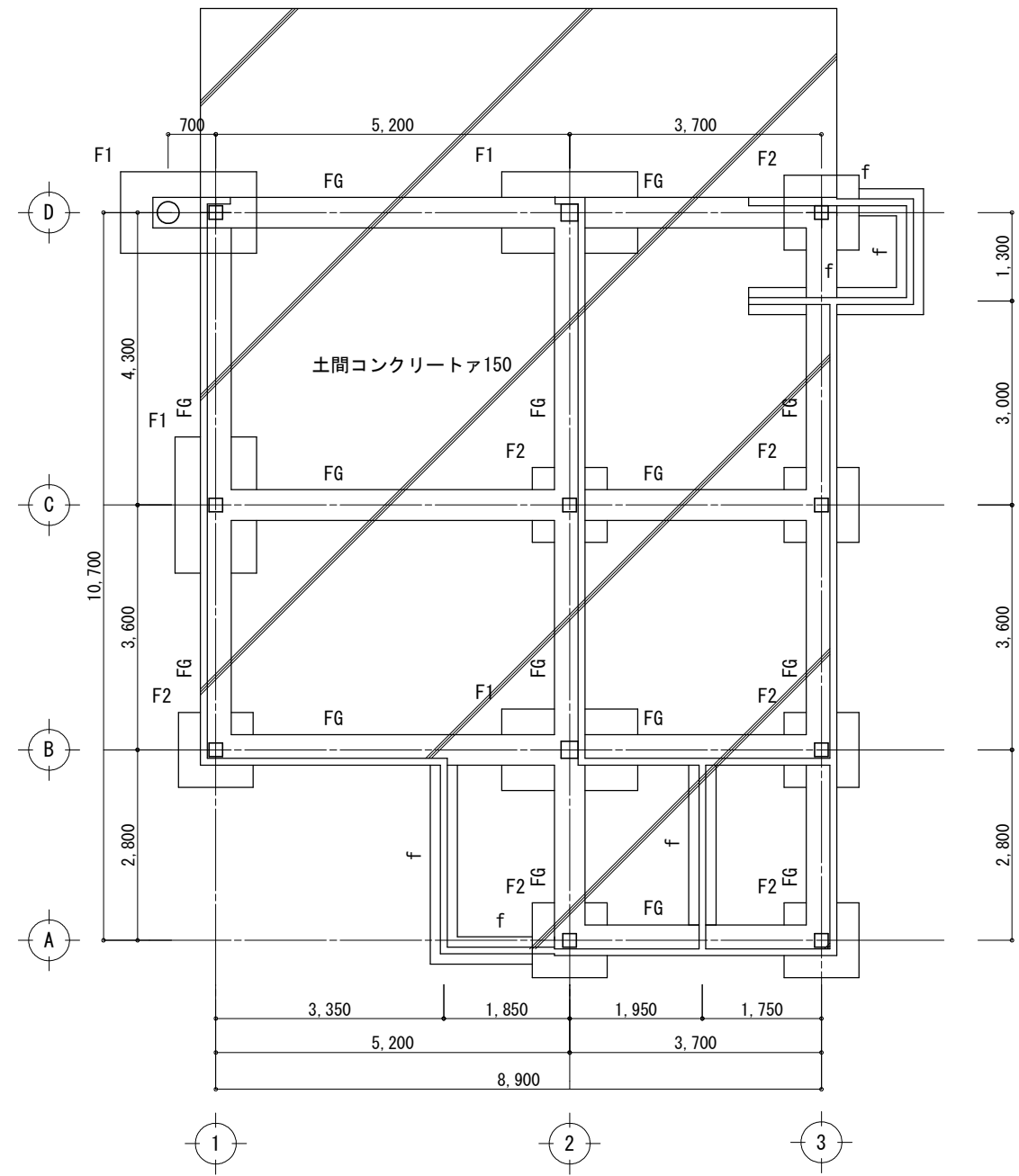
配置図 S:1/200



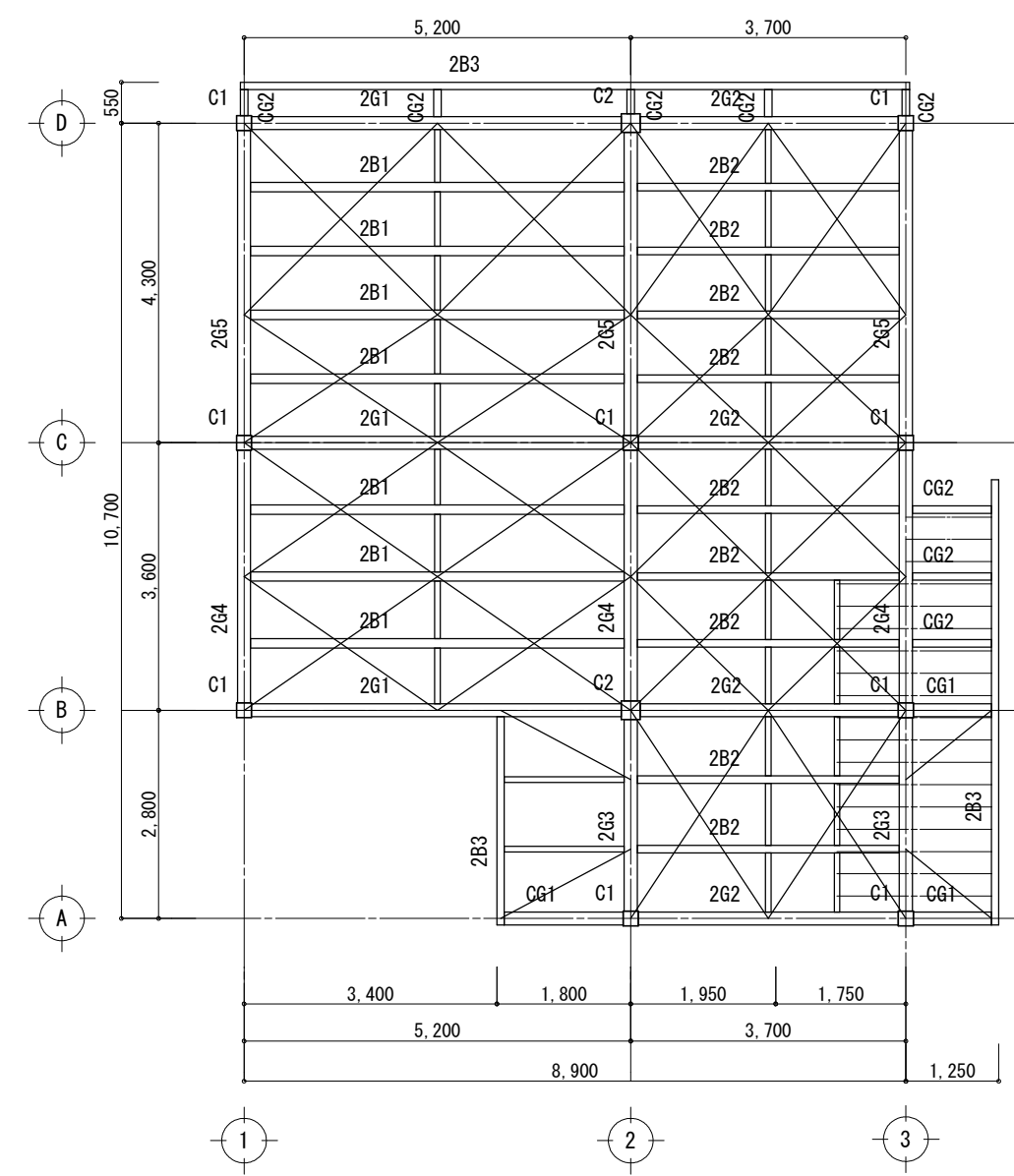
1階平面図 S:1/100



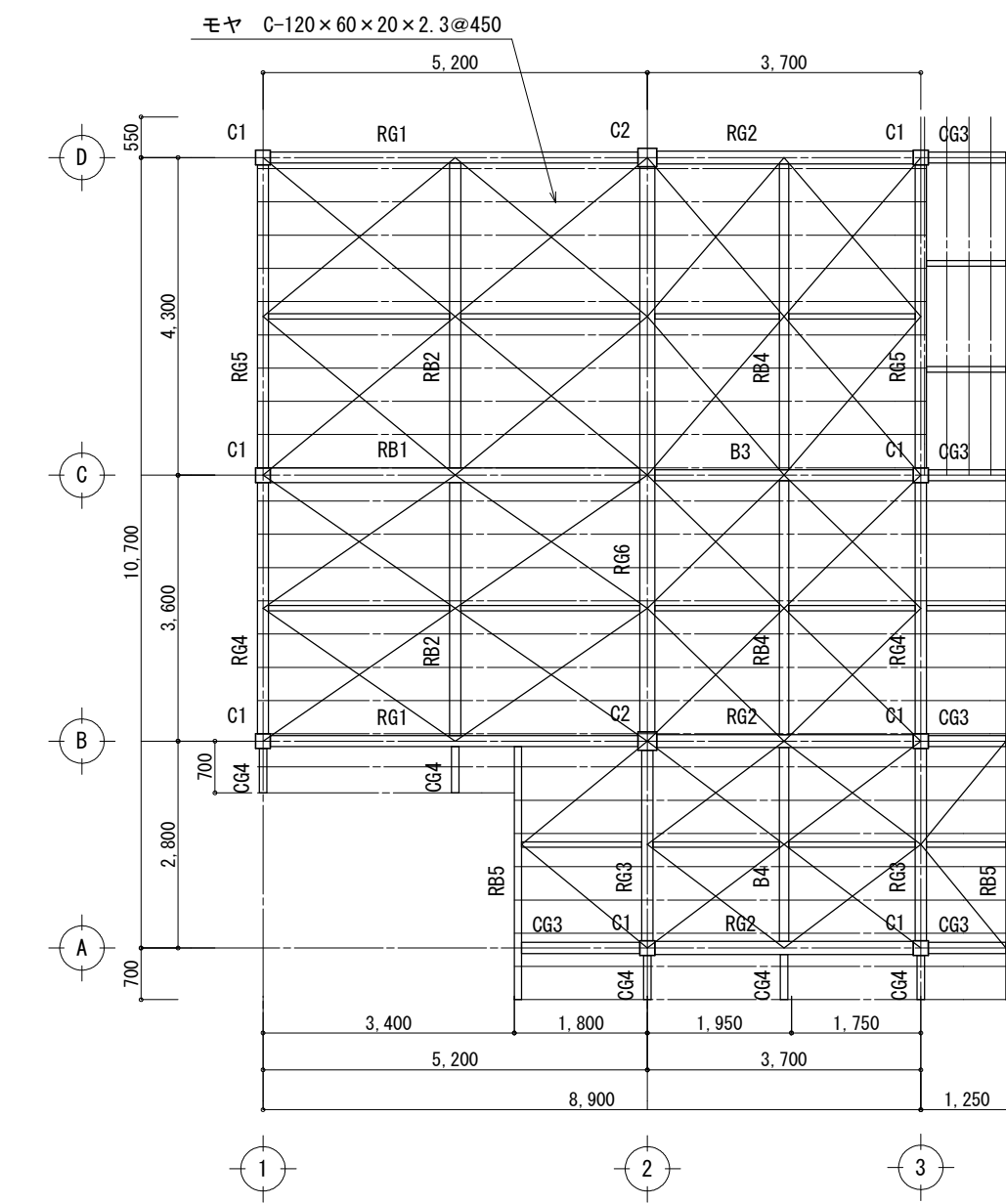
2階平面図 S:1/100



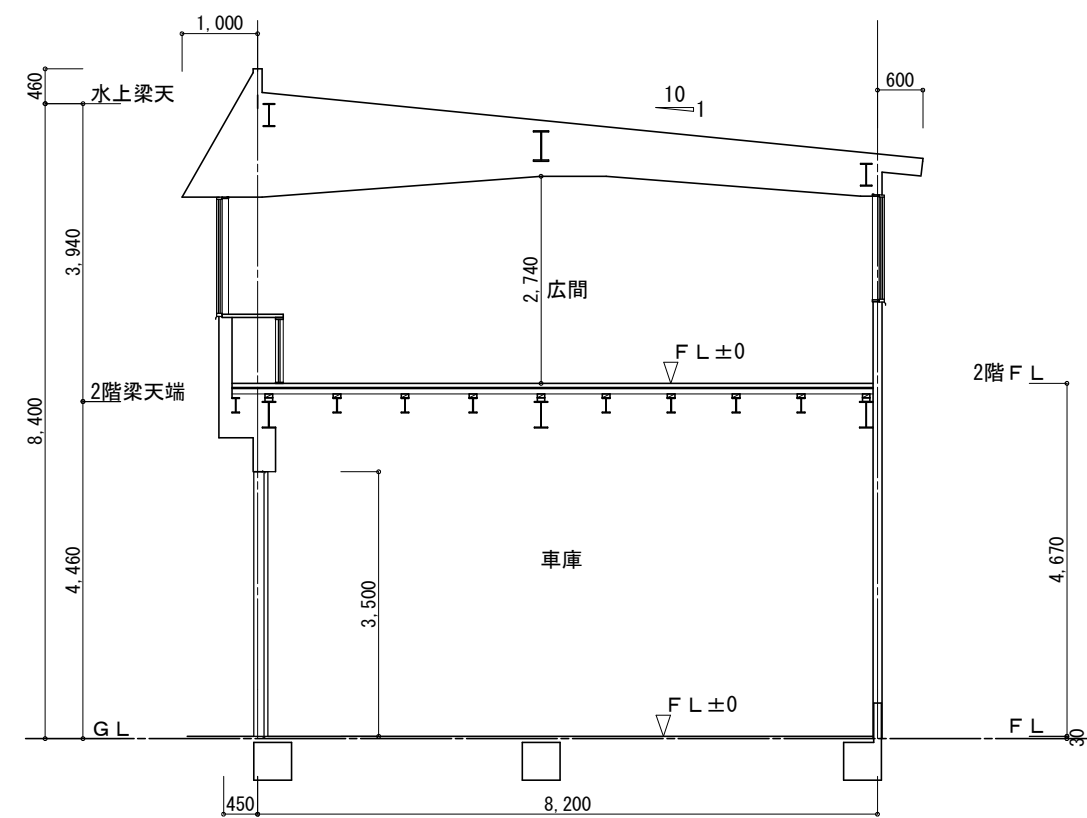
基礎伏図 S:1/100



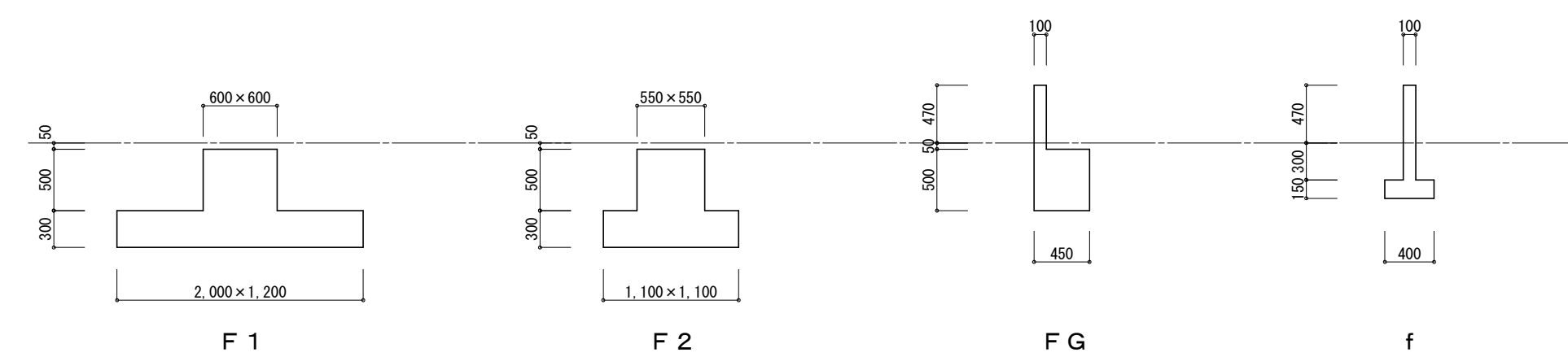
2階梁伏図 S:1/100



R階梁伏図 S:1/100



断面図 S:1/100



基礎断面図 S:1/50

地中梁リスト

FG1	450 × 500
柱リスト	
C1	□-200 × 200 × 9
C2	□-250 × 250 × 9
梁リスト	
2B1~5	H-346 × 174 × 6 × 9
R61~5	H-300 × 150 × 6.5 × 9
R66	H-396 × 199 × 7 × 11
CG1	H-346 × 174 × 6 × 9
CG2	H-200 × 100 × 3.2 × 4.5
CG3	H-300 × 150 × 6.5 × 9
CG4	H-100 × 100 × 5 × 6
2B1	LH-250 × 125 × 4.5 × 6
2B2	LH-200 × 100 × 3.2 × 4.5
2B3	H-200 × 100 × 5.5 × 6
RB1	H-396 × 199 × 7 × 11
RB2	H-300 × 150 × 6.5 × 9
RB3	H-300 × 150 × 6.5 × 9
RB4	H-250 × 125 × 6 × 9
RB5	H-200 × 100 × 5.5 × 8
2桁材	LH-150 × 75 × 3.2 × 4.5
水平リブ	φ16
根太	75 × 45 × 300

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1 一般共通事項

- 使用材料、工法等は構造特記仕様書による。
- 設計図に記載なき場合は本標準図に従うものとする。また本標準図に明記なき場合は構造特記仕様書に指定した共通仕様書及び日本建築学会「JASS」及び「鉄筋コンクリート造配筋指針・同解説」による。
- 本標準図は異形鉄筋を対象とし、dは呼び名に用いた数値とする。
- 本標準図に示す単位は特記無き限りすべてmmとする。

2 加工及び組立

- 鉄筋の切断は、シャッカッター又はのこぎりで行う。ただし、現場でやむを得ない場合は、ガス切断とすることができる。
- 次の部分に使用する異形鉄筋の末梢部には、フックを付ける。
 - 柱の隅隅にある主筋で、重ね継手の場合及び最上階の柱頭にある場合。
 - 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の隅隅にある場合(基礎梁を除く)。
 - 煙突の鉄筋(壁の一部となる場合を含む)。
 - 杭基礎のベース筋。
 - 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。

- 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所は、表2.1及び表2.2による。

表2.1 鉄筋の折曲げ内法直径及びその使用箇所(末端部)

折曲げ角度	折曲げ図	折曲げ内法直径(D)			使用箇所
		D16以下	D19	D19以上	
180°		3d以上	4d以上	5d以上	柱、梁の主筋 基礎のベース筋 D16以上の鉄筋
135°		3d以上	4d以上	—	あばら筋、帯筋 スパイラル筋 D13以下の鉄筋
90°		3d以上	4d以上	5d以上	T形及びL形の梁のあばら筋
135°及び90°		3d以上	4d以上	—	幅止め筋
90°以下		4d以上(5d以上)	6d以上(6d以上)	8d以上(8d以上)	その他の鉄筋

(注) SD390は、使用箇所が、その他の鉄筋の場合に、()内を適用する。

2.3 組立

- 鉄筋の組立は、鉄筋継手部分及び交差部の要径をD、8mm以上の鉄線で結束し、適切な位置にスプーラー、吊金物等を使用し行う。なお、スプーラーは、乾固及び作業荷重等に耐えられるものとし、スラブのスプーラーは、原則として、鋼製とする。また、鋼製のスプーラーは、型枠に接する部分に防錆処理を行ったものとする。
- 前に打ち込まれたコンクリートから出ている鉄筋の位置を修正する場合は、鉄筋を急に曲げることなく、できるだけ長い距離で修正する。

2.4 継手及び定着

- 鉄筋の継手は重ね継手、ガス圧接継手又は特殊な鉄筋継手とし、適用は特記による。
- 鉄筋の重ね継手は、次による。なお、径が異なる鉄筋の重ね継手の長さは、細い鉄筋の径による。

- 柱及び梁の主筋の重ね継手の長さは、特記による。特記がなければ、40d(軽量コンクリートは50d)と表2.3の重ね継手長さの大きい方とする。

表2.3 鉄筋の重ね継手の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc)(N/mm ²)	L1	
		L1 (フックなし)	L1 (フックあり)
SD295A	18	4.5d	3.5d
	21	4.0d	3.0d
	24	3.5d	2.5d
SD295B	3.0 3.3 3.6	3.5d	2.5d
	18	5.0d	3.5d
	21	4.5d	3.0d
SD345	2.4 2.7	4.0d	3.0d
	3.0 3.3 3.6	3.5d	2.5d
	21	5.0d	3.5d
SD390	2.4 2.7	4.5d	3.5d
	3.0 3.3 3.6	4.0d	3.0d

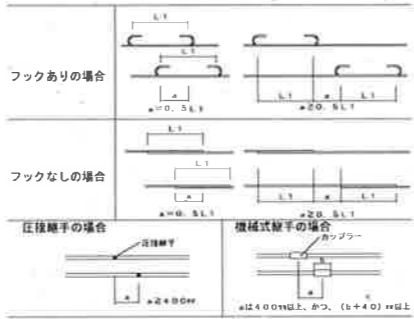
- L1: 重ね継手の長さ。
- フックありの場合のL1は、図2.1に示すようにフック部分dを含めない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。



図2.1 フックありの場合の重ね継手の長さ

- 隣り合う継手の位置は、表2.4による。ただし、壁の場合及びスラブでD16以下の場合は除く。なお、先組み工法等で、柱、梁の主筋の継手を同一箇所には、特記による。

表2.4 隣り合う継手の位置



- 鉄筋の定着は、次による。

- 柱及び梁の主筋の定着の長さは、特記による。特記がなければ、40d(軽量コンクリートは50d)と表2.5の定着長さの大きい方とする。

表2.5 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc)(N/mm ²)	フックなし				フックあり	
		L1	L2	L3	L4	L5	L6
SD295A	18	4.5d	4.0d	3.5d	3.5d	3.0d	—
	21	4.0d	3.5d	3.0d	3.0d	2.5d	—
	24	3.5d	3.0d	2.5d	2.5d	2.0d	—
SD295B	3.0 3.3 3.6	3.5d	3.0d	2.5d	2.5d	2.0d	—
	18	5.0d	4.0d	3.0d	3.0d	2.5d	10d
	21	4.5d	3.5d	2.5d	2.5d	2.0d	—
SD345	2.4 2.7	4.0d	3.5d	3.0d	3.0d	2.5d	—
	3.0 3.3 3.6	3.5d	3.0d	2.5d	2.5d	2.0d	—
	21	5.0d	4.0d	3.0d	3.5d	3.0d	—
SD390	2.4 2.7	4.5d	4.0d	3.5d	3.5d	3.0d	—
	3.0 3.3 3.6	4.0d	3.5d	3.0d	3.0d	2.5d	—

- L1: 2.及び3.以外の定着長さ。
- L2: 割壊後のおそれのない箇所への定着長さ。
- L3: 小梁及びスラブの下端筋の定着長さ。ただし、基礎耐圧スラブ及びこれを受ける小梁を除く。
- フックありの場合のL1、L2及びL3は、図2.2に示すようにフック部分dを含めない。なお、フックありの場合は、中間部での折曲げは行わない。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- 定着の方法は、図2.2による。なお、柱内に縦に折り曲げて定着する鉄筋の定着長さが表2.5のフック有り定着の長さを確保出来ない場合は全長を表2.5に示す直線定着長さとし、かつ余長を8d、柱外面から鉄筋外面までの投影定着長さを表2.6に示す長さ(かつ、梁主筋の柱内定着においては原則として、柱せいの3/4倍以上)をのみ定着する。

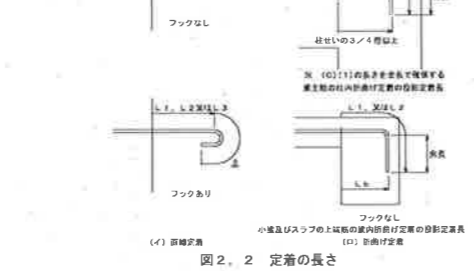


表2.6 投影定着長さ

鉄筋の種類	コンクリートの設計基準強度(Fc)(N/mm ²)	L1	
		L1a	L1b
SD295A	18	2.0d	1.5d
	21	1.5d	1.0d
	24	1.0d	0.5d
SD295B	3.0 3.3 3.6	1.5d	1.0d
	18	2.0d	1.5d
	21	1.5d	1.0d
SD345	2.4 2.7	1.5d	1.0d
	3.0 3.3 3.6	1.0d	0.5d
	21	2.0d	1.5d
SD390	2.4 2.7	2.0d	1.5d
	3.0 3.3 3.6	1.5d	1.0d

- L1a: 梁主筋の柱内折曲げ定着の投影長さ(基礎梁、片持ち梁、片持ちスラブを含む)。
- L1b: 小梁及びスラブの上端筋の梁内折曲げ定着の投影長さ(片持ち小梁、片持ちスラブを除く)。
- 軽量コンクリートの場合は、表の値に5dを加えたものとする。

- その他の鉄筋の継手及び定着は、次による。

- 溶接金網の継手及び定着は、図2.3による。なお、L2及びL3は表2.5の(注)による。

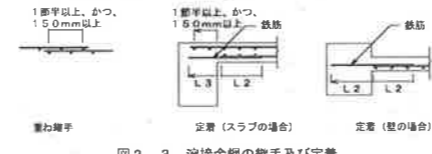


図2.3 溶接金網の継手及び定着

- スパイラル筋の継手及び定着は、図2.4による。

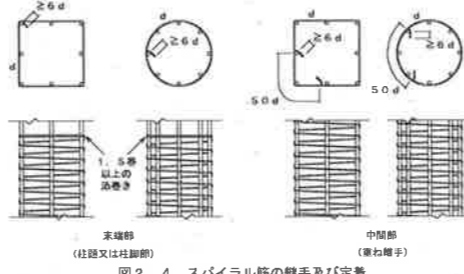


図2.4 スパイラル筋の継手及び定着

2.5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

- 鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、表2.6による。ただし、柱及び梁の主筋にD20以上を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保するように最小かぶり厚さを定める。

表2.6 鉄筋の最小かぶり厚さ(単位: mm)

構造部分の種類	最小かぶり厚さ
スラブ、耐力壁	20
以外の壁	30
土に接しない部分	30
柱、梁、耐力壁	30
土に接する部分	40
基礎、梁、耐力壁	40
基礎、梁、耐力壁	60
煙突等風を受ける部分	60

- ※印のかぶり厚さは、普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は、特記による。
- 「仕上げあり」とは、モルタル塗り等の仕上げのあるものとし、鉄筋の耐久性上有効でない仕上げ(土塗料、塗装等)のものを除く。
- スラブ、梁、基礎及び煙突で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含めない。
- 杭基礎のかぶり厚さは、杭先端からとする。
- 煙突を受けるおそれのある部分等、耐久性上不利な箇所は、特記による。

- 柱、梁等の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、最小かぶり厚さに10mmを加えた数値を標準とする。

- 鉄筋相互のあきは、最小かぶり厚さ以上とする。

- 鉄筋相互のあきは、図2.5により、次の値のうち最大のもの以上とする。ただし、特殊な鉄筋継手の場合は、特記による。

- 縦骨材の最大寸法の1.25倍
- 2.5mm
- 隣り合う鉄筋の平均径(2.1(a)によるd)の1.5倍



図2.5 鉄筋相互のあき

- 鉄骨鉄筋コンクリート造の場合、主筋と平行する鉄骨とのあきは、(d)による。
- 貫通孔に接する鉄筋のかぶり厚さは、(e)による。

2.6 鉄筋の保護

- 鉄筋の組立後、スラブ、梁等には、歩み板を置き、直接鉄筋の上を歩かないようにする。
- コンクリート打込みによる鉄筋の乱れは、なるべく少なくする。特に、かぶり厚さ、上端筋の位置及び間隔の保持に努める。

2.7 各部配筋

- 各部の配筋は特記による。特記がなければ、「3 基礎及び基礎梁の配筋」から「9 梁貫通孔その他の配筋」による。

3 基礎及び基礎梁の配筋

3.1 杭基礎

- 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法は、次による。なお、図中の寸法の単位はmmとし、単位記号は省略する(以下同じ)。

- 既製コンクリート杭の杭頭部の補強方法は、特記による。

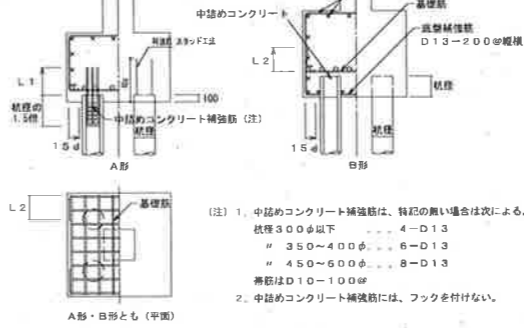


図3.1 杭基礎の配筋及び杭頭部の補強方法

3.2 直接基礎

- 直接基礎(独立基礎)の場合の配筋は、図3.2による。



図3.2 独立基礎の配筋

- 直接基礎(連続基礎)の場合の配筋は、図3.3による。

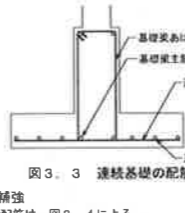


図3.3 連続基礎の配筋

3.3 基礎接合部の補強

- 基礎接合部の補強配筋は、図3.4による。

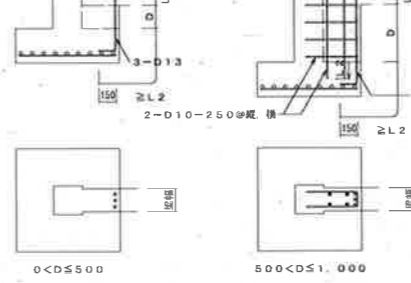


図3.4 基礎接合部の補強配筋

3.4 基礎梁

- 一般事項
 - 上端主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。
 - 束筋は、原則として、柱をまたいで引き通すものとし、引き通すことができない場合は、柱内に定着する。ただし、やむを得ず梁内に定着する場合は、図3.5による。
 - 束筋を柱内に定着する場合は、5.1(a)(4)による。

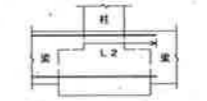
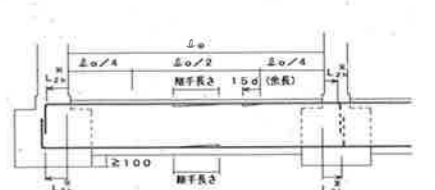
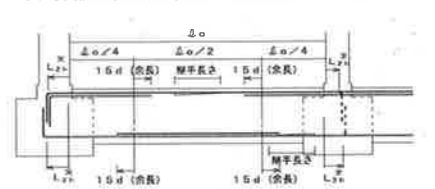


図3.5 梁筋の基礎梁内への定着

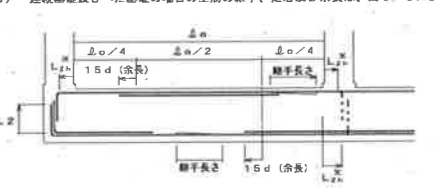
- 独立基礎で基礎梁にスラブが付かない場合の主筋の継手、定着及び余長



- 独立基礎で基礎梁にスラブが付く場合の主筋の継手、定着及び余長



- 連続基礎及びべた基礎の場合の主筋の継手、定着及び余長は、図3.8による。

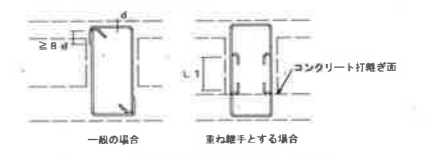


- 図示のない事項は、5.1による。
- 印は、継手及び余長位置を示す。
- 破線は、柱内定着の場合を示す。
- L2hを確保出来ない場合は、2.4(C)(2)によること出来る。

図3.8 主筋の継手、定着及び余長(その3)

3.5 基礎梁のあばら筋等

- あばら筋
 - あばら筋の径及び間隔は、特記による。
 - あばら筋の立筋及びフックの位置は、5.2(b)による。ただし、梁の上下端にスラブが付く場合で、かつ、梁せいが1.5m以上の場合は、図3.9によること出来る。



- 腰筋及び幅止め筋は、5.2による。ただし、梁せいが1.5m以上の場合は、特記による。
- あばら筋の割付けは、5.2(c)による。

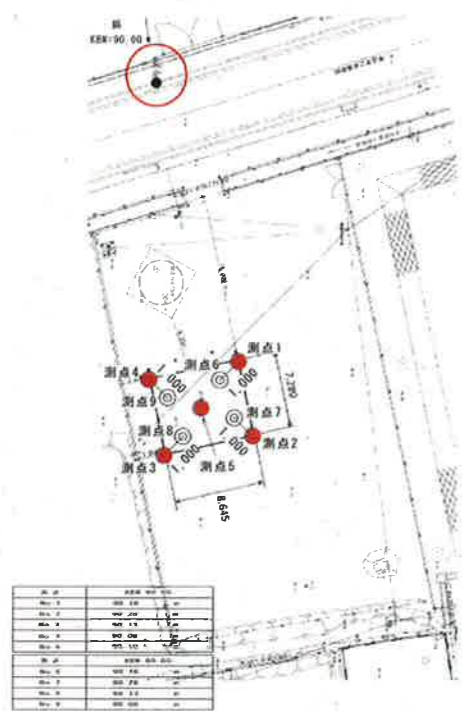
3.6 基礎梁の補強

- 打直し補強筋は、5.3による。
- 土間スラブ等の打抜き補強筋は、7.3(c)及び(d)による。

7 測定点位置図

スクリーウエイト貫入試験

消防団第26分団整備事業



図面番号: 202208271

※測点1~4については、地盤改良面にて測定困難なため、位置を変更し測定

8 スクリューウェイト貫入試験

測点	貫入試験結果 (kN/m ²)	試料	試験方法	試験結果
測点1	100	粘土	標準貫入	100
測点2	120	粘土	標準貫入	120
測点3	150	粘土	標準貫入	150
測点4	180	粘土	標準貫入	180
測点5	200	粘土	標準貫入	200
測点6	220	粘土	標準貫入	220
測点7	250	粘土	標準貫入	250
測点8	280	粘土	標準貫入	280

図面番号: 202208271

8 スクリューウェイト貫入試験

測点	貫入試験結果 (kN/m ²)	試料	試験方法	試験結果
測点1	100	粘土	標準貫入	100
測点2	120	粘土	標準貫入	120
測点3	150	粘土	標準貫入	150
測点4	180	粘土	標準貫入	180
測点5	200	粘土	標準貫入	200
測点6	220	粘土	標準貫入	220
測点7	250	粘土	標準貫入	250
測点8	280	粘土	標準貫入	280

図面番号: 202208271

8 スクリューウェイト貫入試験

測点	貫入試験結果 (kN/m ²)	試料	試験方法	試験結果
測点1	100	粘土	標準貫入	100
測点2	120	粘土	標準貫入	120
測点3	150	粘土	標準貫入	150
測点4	180	粘土	標準貫入	180
測点5	200	粘土	標準貫入	200
測点6	220	粘土	標準貫入	220
測点7	250	粘土	標準貫入	250
測点8	280	粘土	標準貫入	280

図面番号: 202208271

8 スクリューウェイト貫入試験

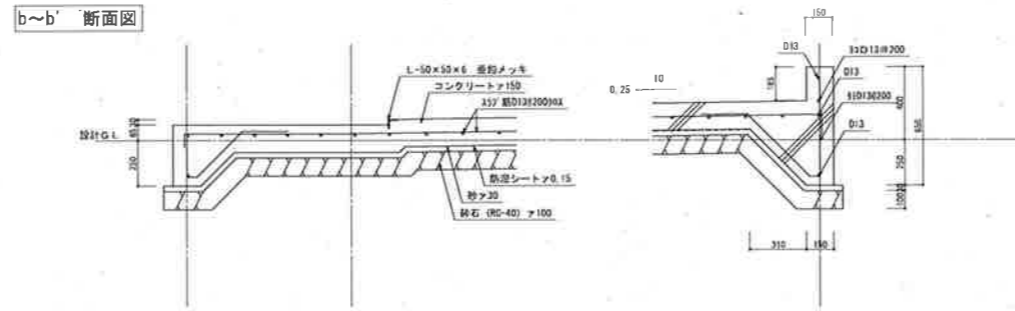
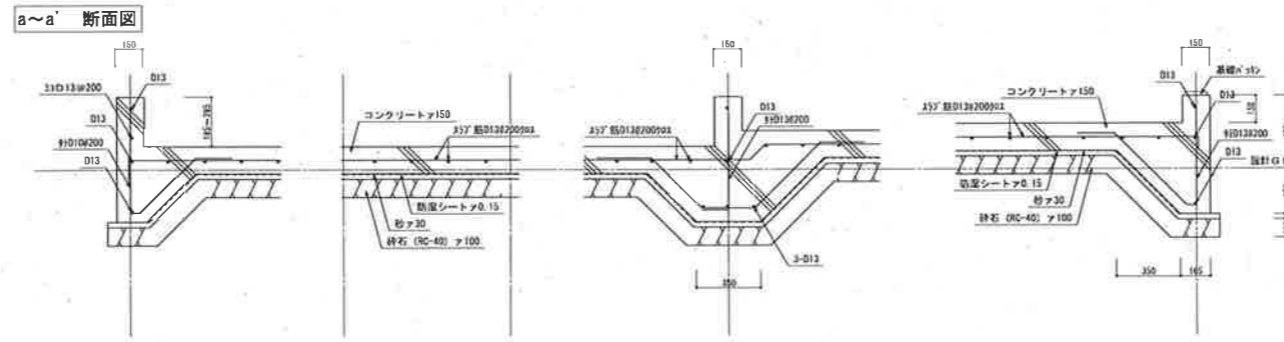
測点	貫入試験結果 (kN/m ²)	試料	試験方法	試験結果
測点1	100	粘土	標準貫入	100
測点2	120	粘土	標準貫入	120
測点3	150	粘土	標準貫入	150
測点4	180	粘土	標準貫入	180
測点5	200	粘土	標準貫入	200
測点6	220	粘土	標準貫入	220
測点7	250	粘土	標準貫入	250
測点8	280	粘土	標準貫入	280

図面番号: 202208271

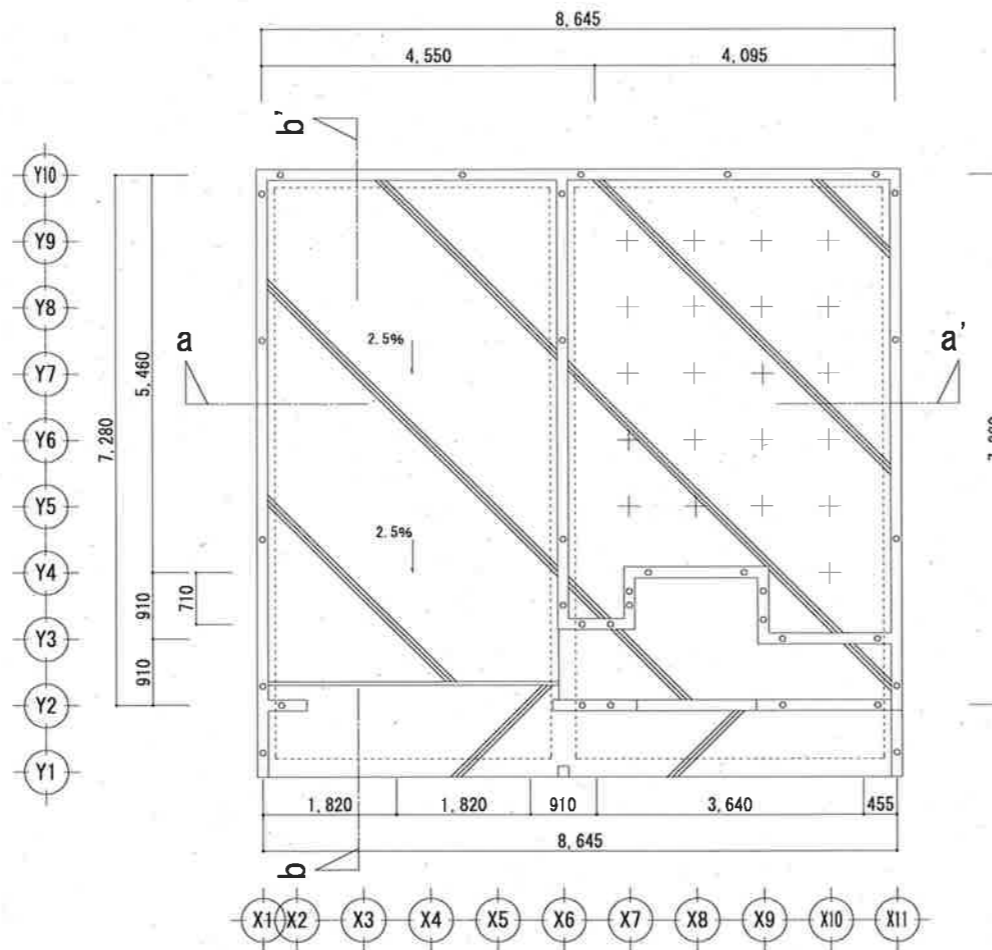
8 スクリューウェイト貫入試験

測点	貫入試験結果 (kN/m ²)	試料	試験方法	試験結果
測点1	100	粘土	標準貫入	100
測点2	120	粘土	標準貫入	120
測点3	150	粘土	標準貫入	150
測点4	180	粘土	標準貫入	180
測点5	200	粘土	標準貫入	200
測点6	220	粘土	標準貫入	220
測点7	250	粘土	標準貫入	250
測点8	280	粘土	標準貫入	280

図面番号: 202208271



基礎詳細図 S:1/20



凡例

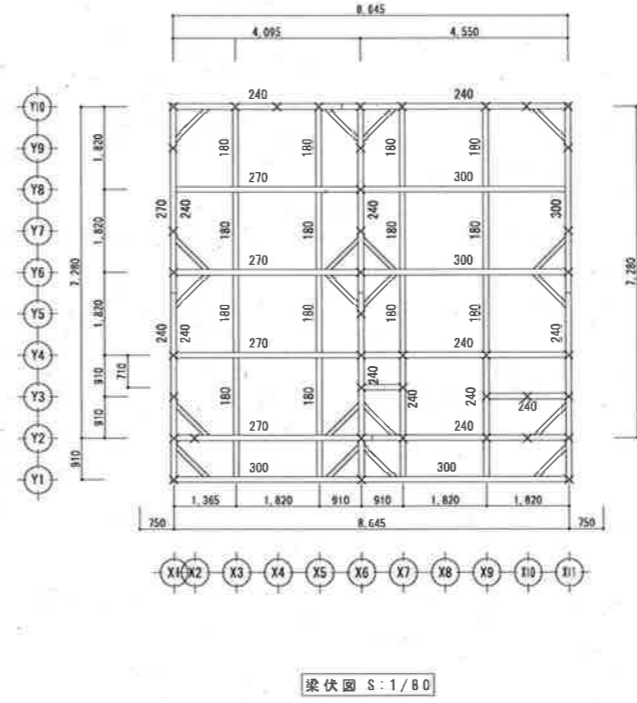
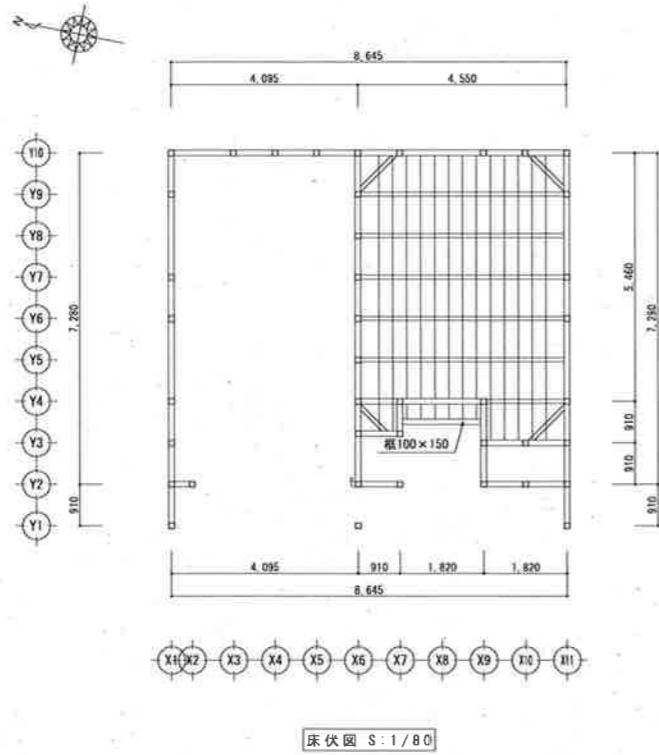
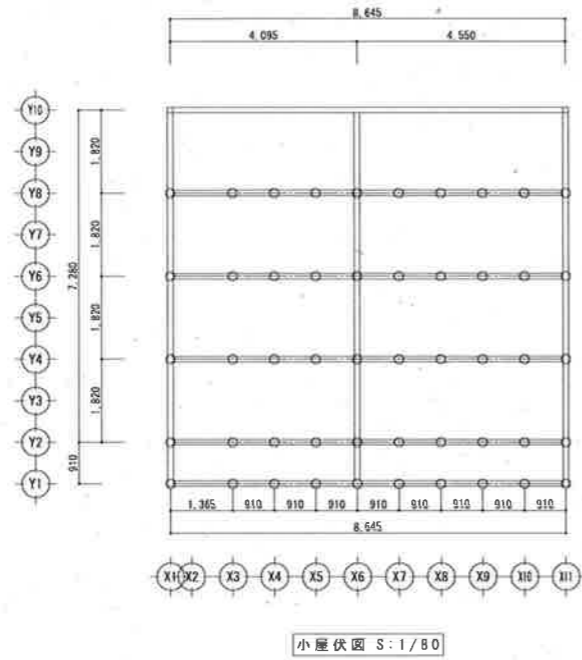
○ A. BOLT 12φ L=450 土台継ぎ手部及び耐力壁周辺
その他@2700以内

＋ 鋼製束

コンクリート=150
鉄筋D13@200φ取
防湿シート=0.15
砂t=30
砕石t=100

コンクリート=150
鉄筋D13@200φ取
砂t=30
砕石t=100

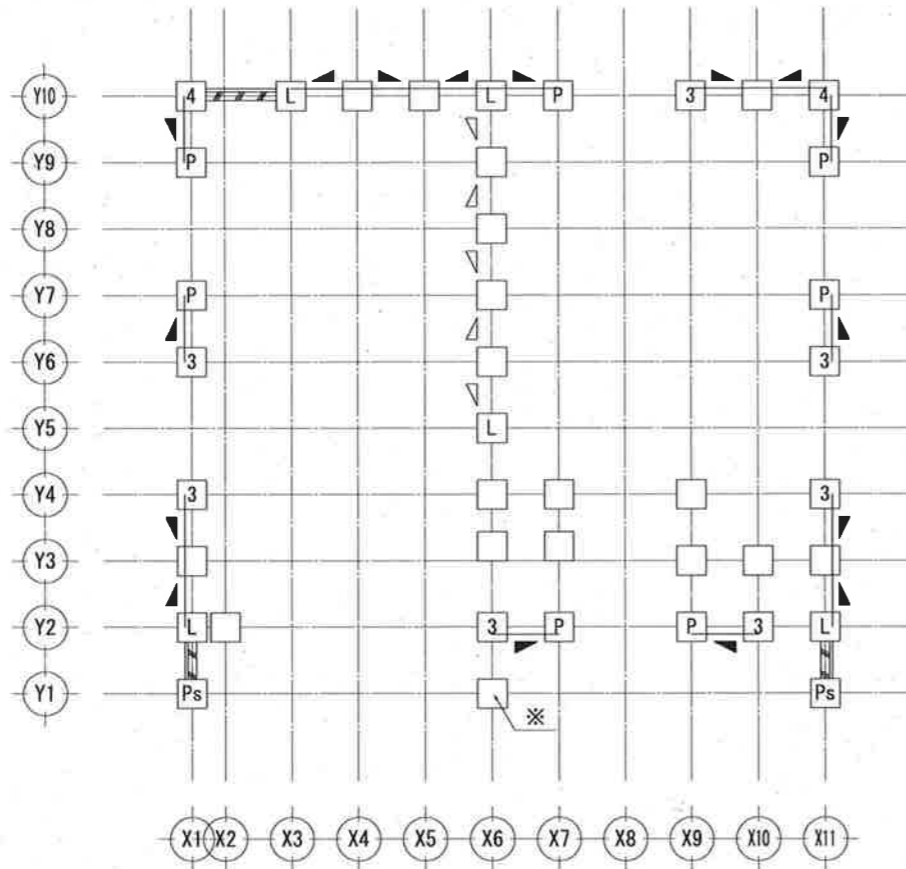
基礎伏図 S:1/50



木材 (市支給材) 一覧	本数
柱: 1等 杉KD 120x120 L=4.0m	1
柱: 1等 杉KD 120x120 L=3.0m	41
土台: 1等 桧KD 120x120 L=4.0m	14
大引: 1等 桧KD 105x105 L=4.0m	8
梁: 1等 杉KD 120x300 L=5.0m	4
梁: 1等 杉KD 120x300 L=4.0m	2
梁: 1等 杉KD 120x270 L=5.0m	4
梁: 1等 杉KD 120x270 L=4.0m	1
梁: 1等 杉KD 120x240 L=5.0m	7
梁: 1等 杉KD 120x240 L=4.0m	2
梁: 1等 杉KD 120x240 L=3.0m	1
梁: 1等 杉KD 120x180 L=4.0m	7
梁: 1等 杉KD 120x120 L=4.0m	1
梁: 1等 杉KD 120x120 L=3.0m	1
まぐさ: 1等 杉KD 45x120 L=3.0m	5
窓台: 1等 杉KD 45x120 L=3.0m	5
母屋: 1等 杉KD 120x120 L=4.0m	10
母屋: 1等 杉KD 120x120 L=3.0m	21
小屋束: 1等 杉KD 120x120 L=3.0m	13
火打梁: 1等 杉KD 90x90 L=1.0m	20
火打土台: 1等 杉KD 90x90 L=1.0m	4
筋違: 1等 杉KD 45x90 L=3.0m	24
根太: 45x45 1等 杉KD L=6.0m	18
間柱: 30x120 1等 杉KD L=3.0m	57
床: フローリング 1等 杉KD 15x100 L=1.8m	19

特記事項

- ・耐力壁の取り付く柱の土台又は横架材に対する接合方法はH12建設省告示第1460号の表による。
- ・支給品以外の木材は本工事とする。
- ・木材の支給材はKDモルターにて支給、寸法は仕上り寸法とし、加工は本工事とする。
- ・受け渡し時期は工事着工時とする。



1階柱壁伏図

凡例				
記号	壁の構造(1) 壁の構造(2)	筋かいの構造	倍率	
W1	△	木材 45×90以上 シングル	2.00	2.00
W2	▨ 大壁 構造用合板	2.50		2.50
W3	▨ 大壁 構造用合板	2.50 木材 45×90以上 シングル	2.00	4.50

※建物外周部全面 構造用合板 α 9張り

△ 頭

※三角の大きい方が柱の頭に取り付く

※耐力壁の取り付く柱の土台又は横架材に対する接合方法は

H12.5.31 建設省告示第1460号

木造の継手及び仕口の構造方法を定める件による

接合部凡例

*接合部凡例はユーザ設定されたものです。

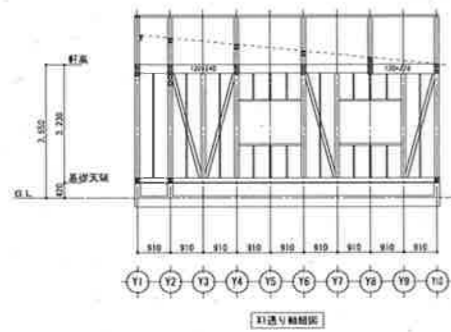
記号	仕様	N	倍率
(い)	短ほぞ差し、かすがい打ち	0.00	
(ろ)	N 長ほぞ差し込み栓打ち		0.70
(ろ)	L L字型金物	0.65	0.70
(は)	V V字型金物	1.00	1.00
(は)	T T字型金物		1.00
(に)	P 羽子板ボルト	1.40	1.40
(に)	I 短冊金物		1.40
(ほ)	Ps 羽子板ボルト+スクリュー釘50	1.60	1.60
(ほ)	Is 短冊金物+スクリュー釘50		1.60
(へ)	2 10KN用引き寄せ金物	1.80	1.80
(と)	3 15KN用引き寄せ金物	2.80	2.80
(ち)	4 20KN用引き寄せ金物	3.70	3.70
(り)	5 25KN用引き寄せ金物	4.70	4.70
(ぬ)	32 15KN用引き寄せ金物×2	5.60	5.60
(る)	J1 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物		1.90
(を)	J2 腰掛け蟻若しくは大入れ蟻掛け+羽子板ボルト、短冊金物×2		3.00
※	高耐力柱脚金物45(カネシン) 同等品		

梁継手・仕口用

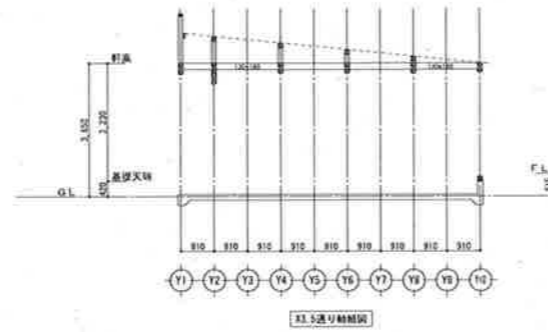
梁継手・仕口用

筋かいの種類に応じた筋かいの端部の接合部の仕様		
筋かいの種類	接合部の仕様(構造方法)	
イ 鉄筋 ϕ 9	柱又は横架材を貫通し、三角座金を介してナット締め、又は鋼板添え板を用い鋼板を柱及び横架材にCN90、8本平打ち	
ロ 筋かい:15×90	柱・横架材を欠き込み、柱・横架材双方に対してN65、5本平打ち	
ハ 筋かい:30×90	鋼板添え板 $t=1.6\text{mm}$ を筋かいに対してボルト ϕ 12及びCN65、3本平打ち、柱に対してCN65、3本平打ち、横架材に対してCN65、4本平打ち。筋かいプレートBP同等品	
ニ 筋かい:45×90	鋼板添え板 $t=2.3\text{mm}$ を筋かいに対してボルト ϕ 12及びスクリュー釘 ϕ 4.5L50、7本平打ち、柱及び横架材に対してスクリュー釘 ϕ 4.5L50、5本平打ち。筋かいプレートBP-2同等品	
ホ 筋かい:90×90	柱又は横架材にボルト ϕ 12mmを用いて一面剪断接合	

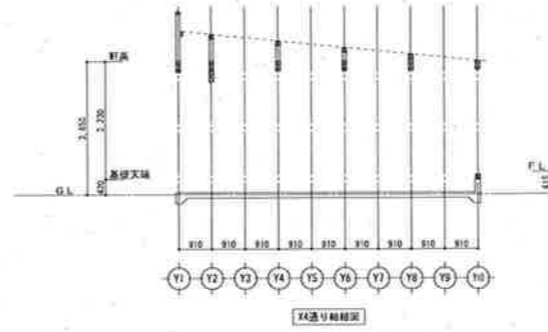
胴差と通し柱の接合部の仕様		
胴差と通し柱の条件		仕口
T1	通し柱の片側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、羽子板ボルト、かね折り金物又は同等以上の仕口
T2	通し柱の両側に胴差が来る場合	胴差を柱にかたぎ大入れ短ほぞ差しの上、短冊金物又は、同等以上の仕口で胴差相互を緊結
T3	通し柱と胴差の接合部の近くに90×90以上の筋かいが来る場合(通し柱が建物の出隅にあるか、筋かい壁が外壁と直交して接する場合)	胴差を通し柱に、15KN用引き寄せ金物を水平に用いて緊結



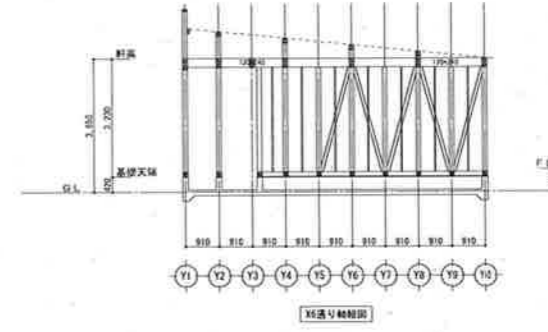
X1通り軸組図



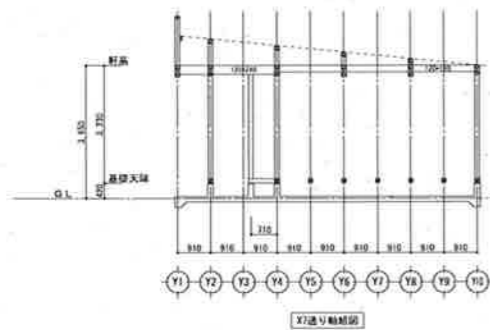
X1.5通り軸組図



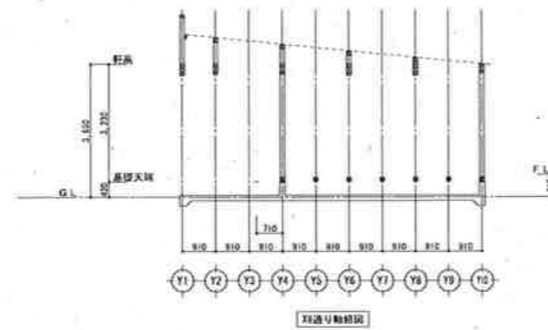
X4通り軸組図



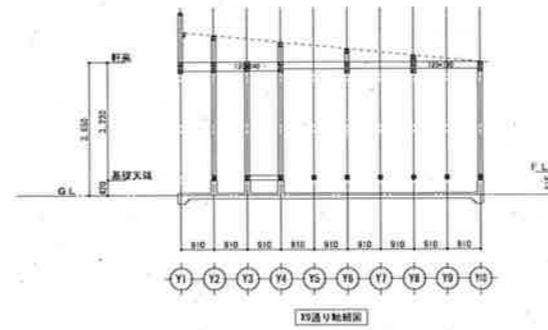
X5通り軸組図



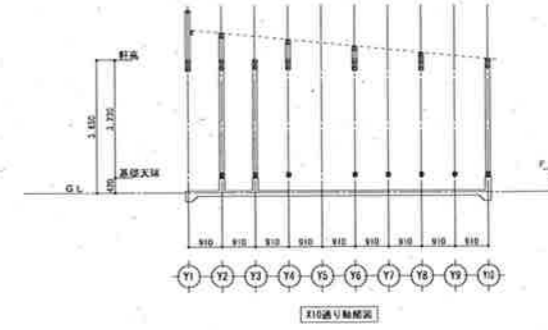
X7通り軸組図



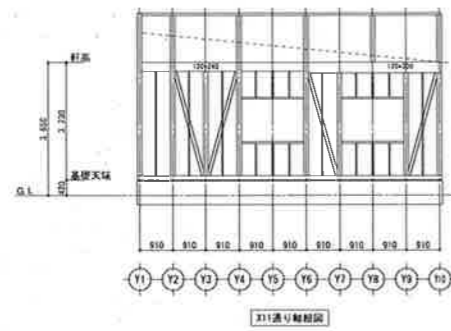
X8通り軸組図



X9通り軸組図



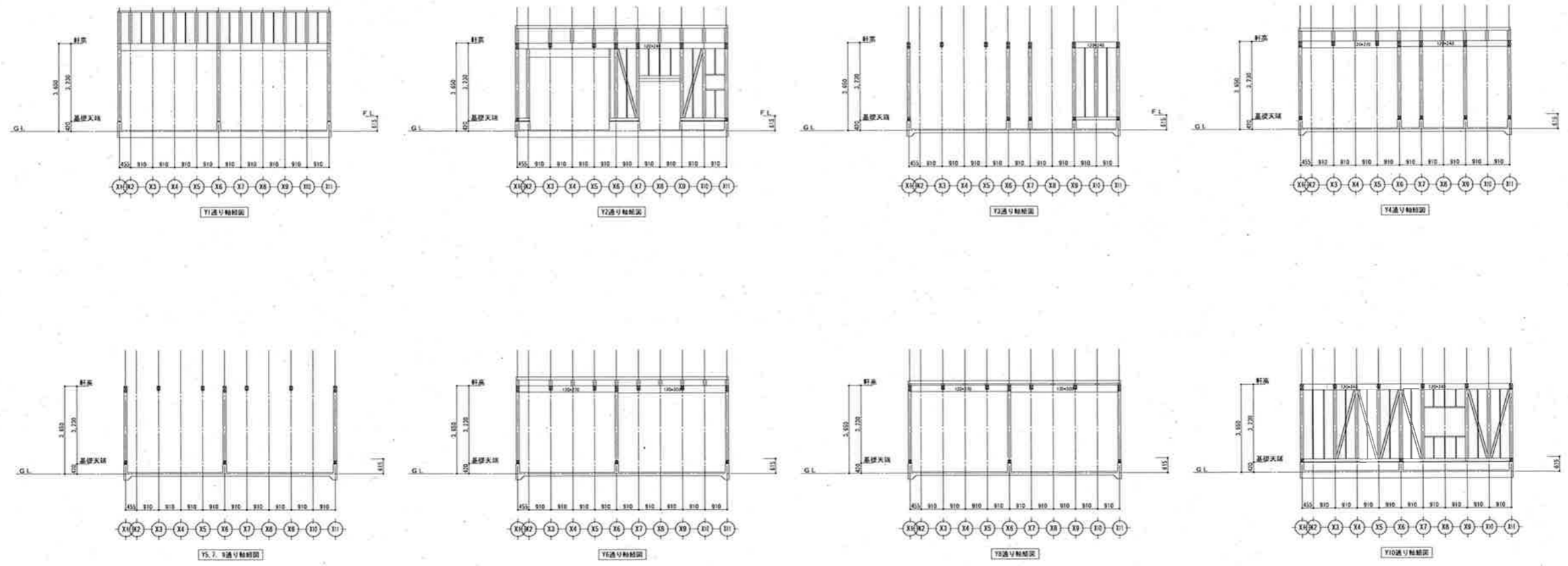
X10通り軸組図

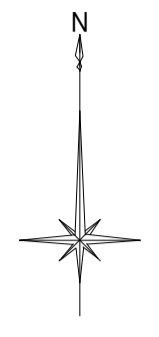


X11通り軸組図

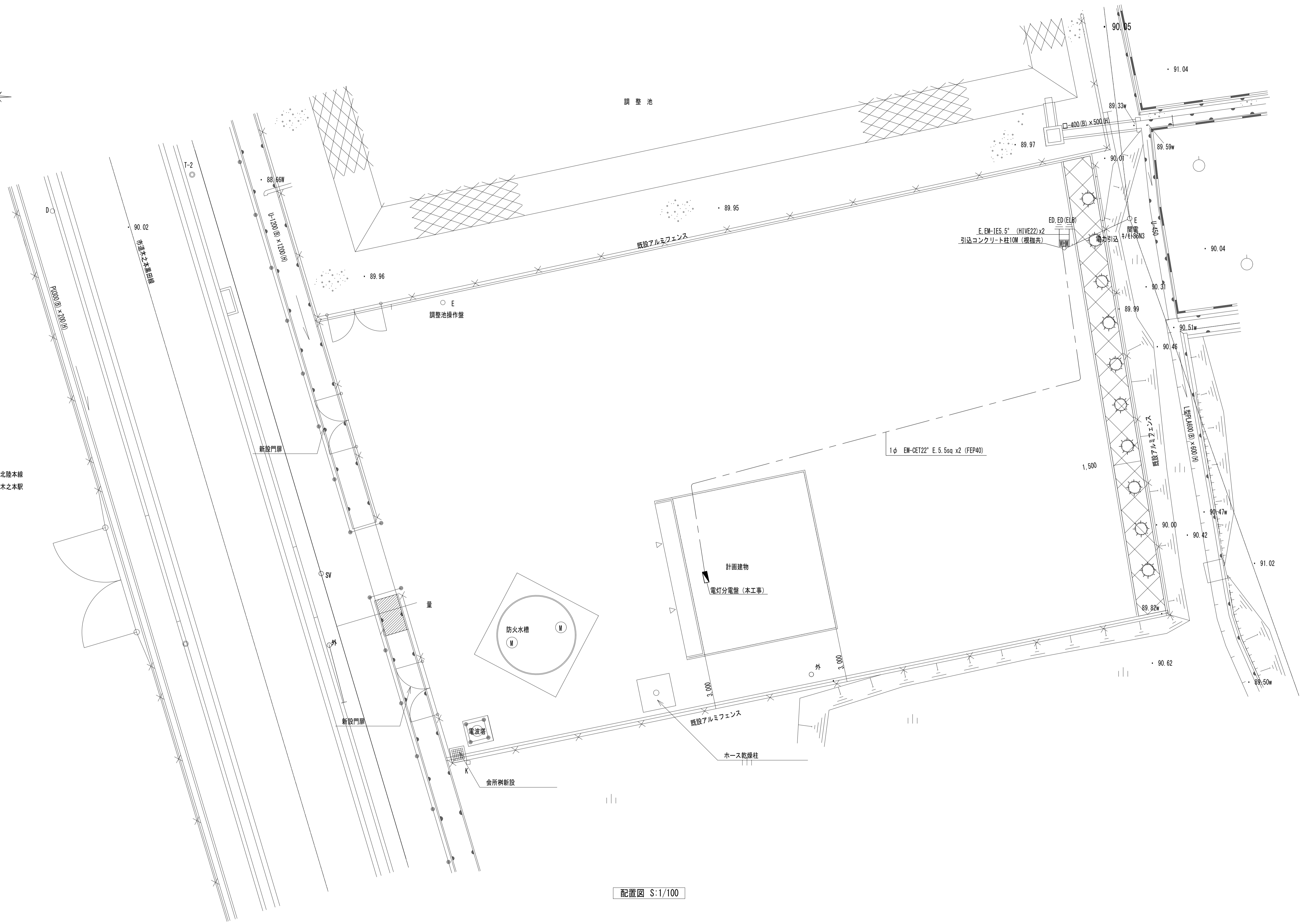
※建物外周部は全て構造用合板で張りとする。

消防団第26分団拠点施設整備工事 設計図		図名	軸組図(1)	縮尺	1/100	図面番号	年月日	2023/01	S-7
伊藤建築設計事務所		〒100-0001 東京都千代田区千代田2-7-1 一級建築士登録36093号 電話(0749)78-0101 伊藤 嘉文							



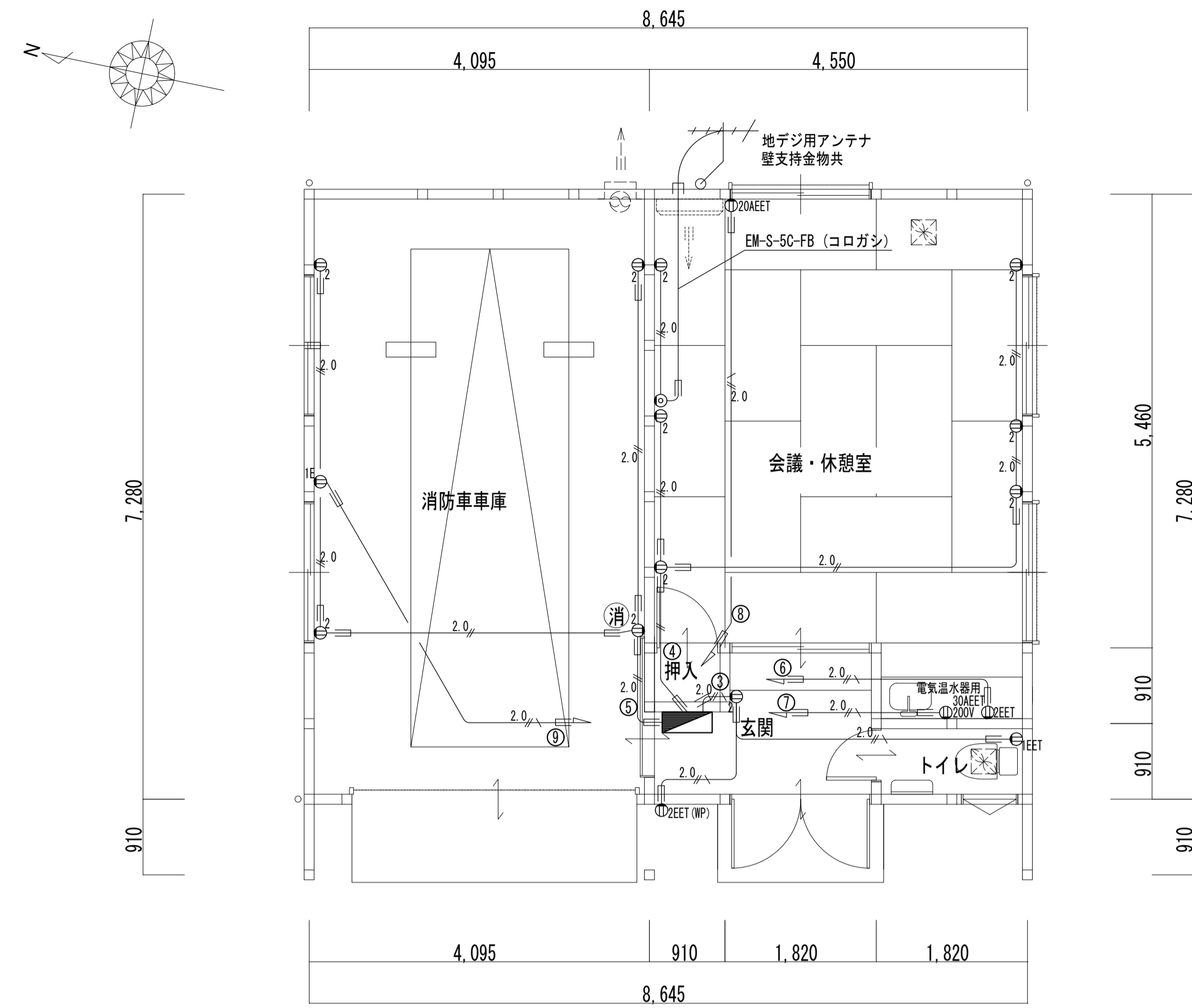
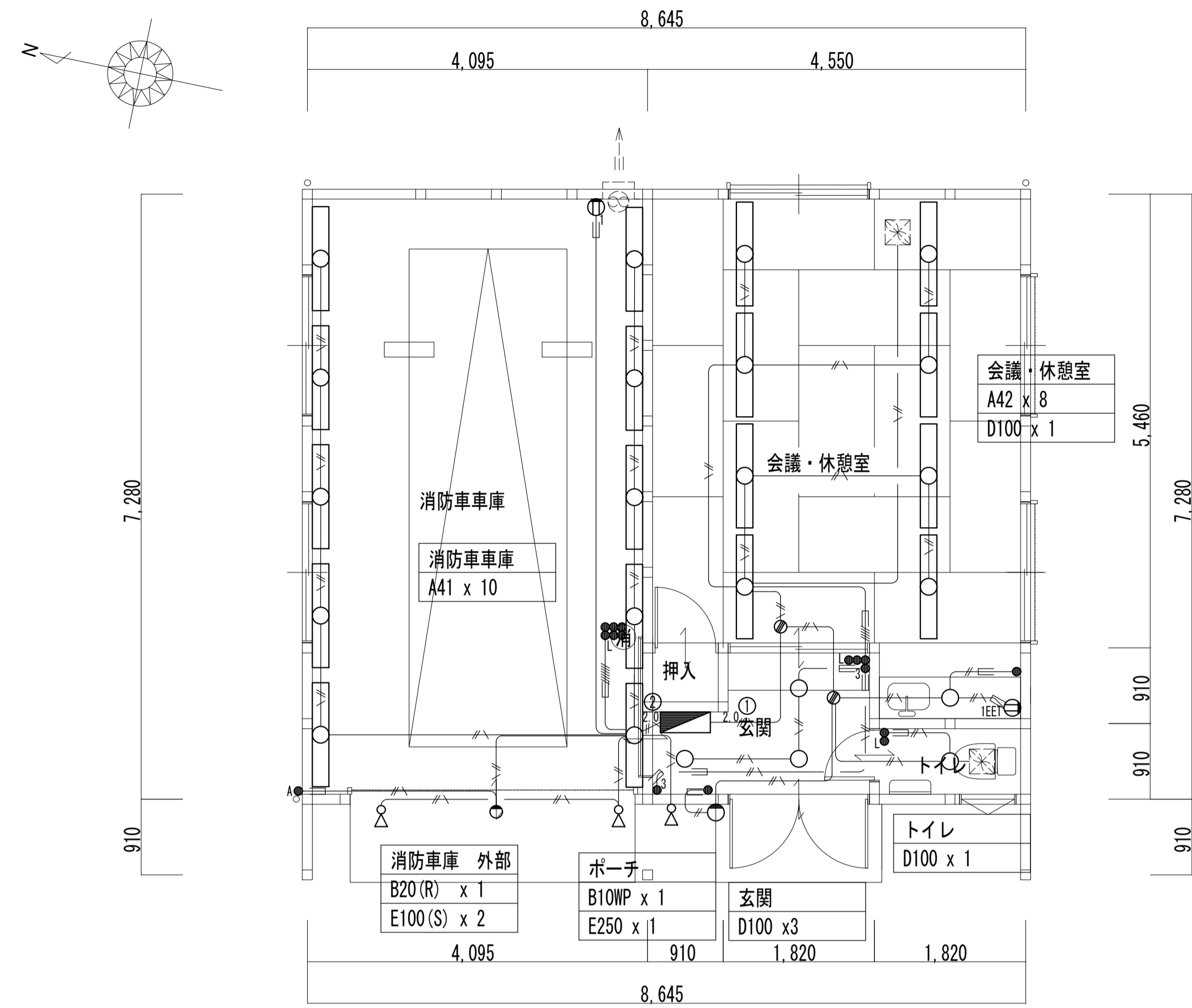


北陸本線
木之本駅



配置図 S:1/100

消防団第26分団拠点施設整備工事		設計図	図名	電気設備 配置図	縮尺	1/150	図面番号	年月日	2023/1	E-2/3
伊藤建築設計事務所		滋賀県長浜市湖北町速水2711 一級建築士登録360938号								
		電話(0749)78-0101番	伊藤 嘉文							

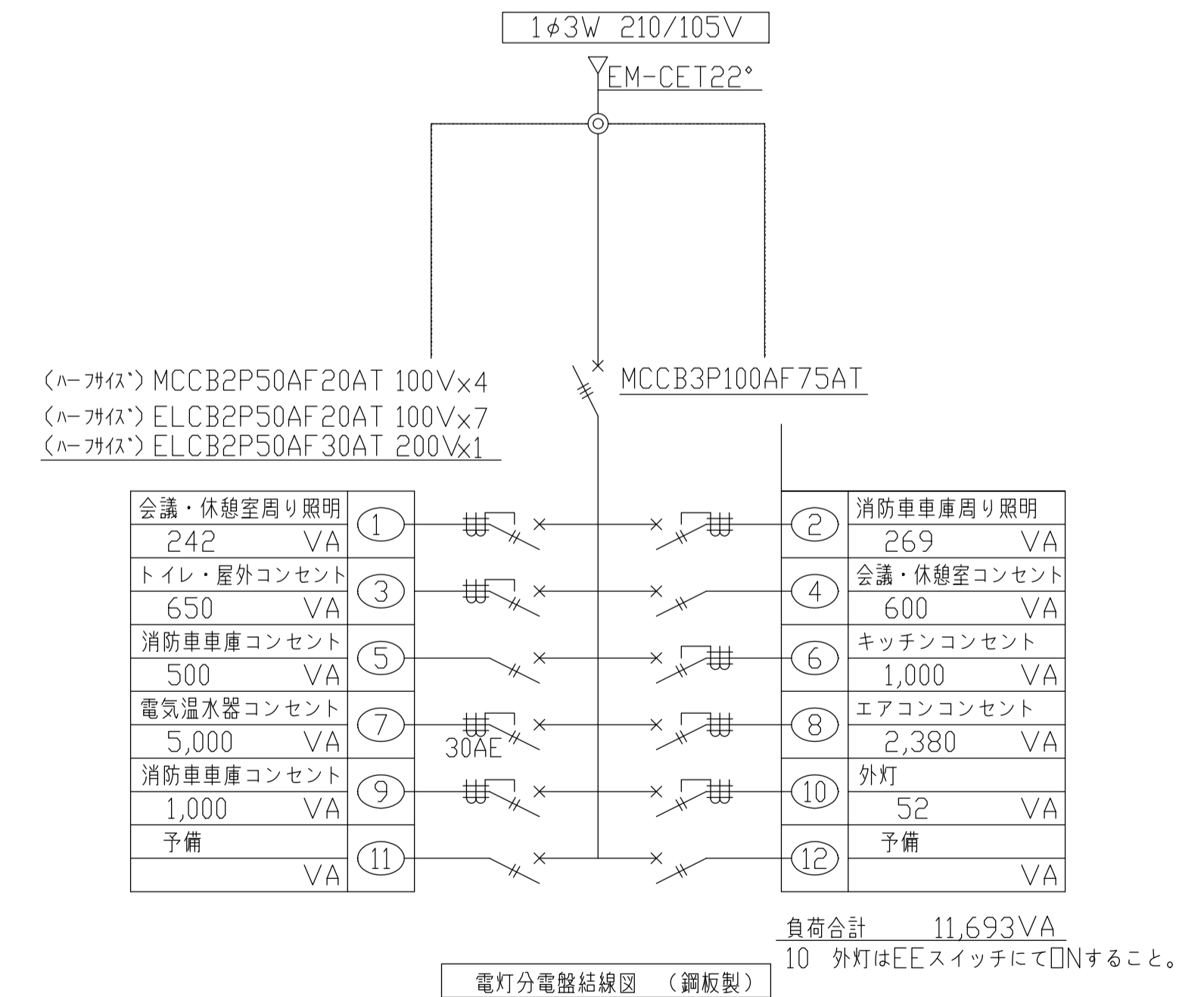
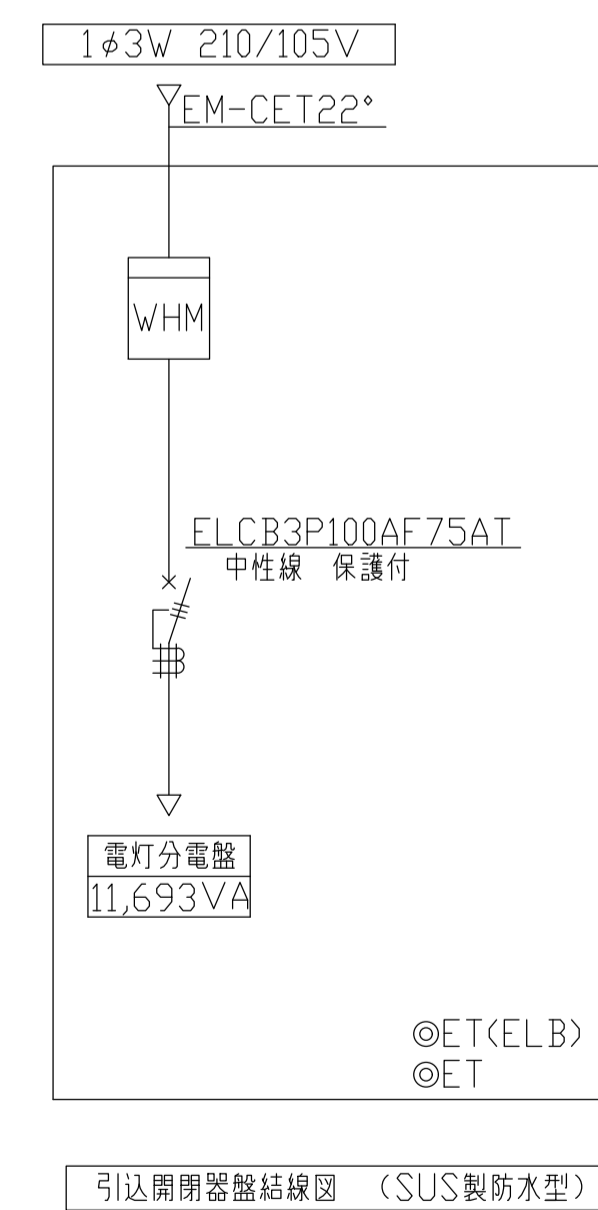


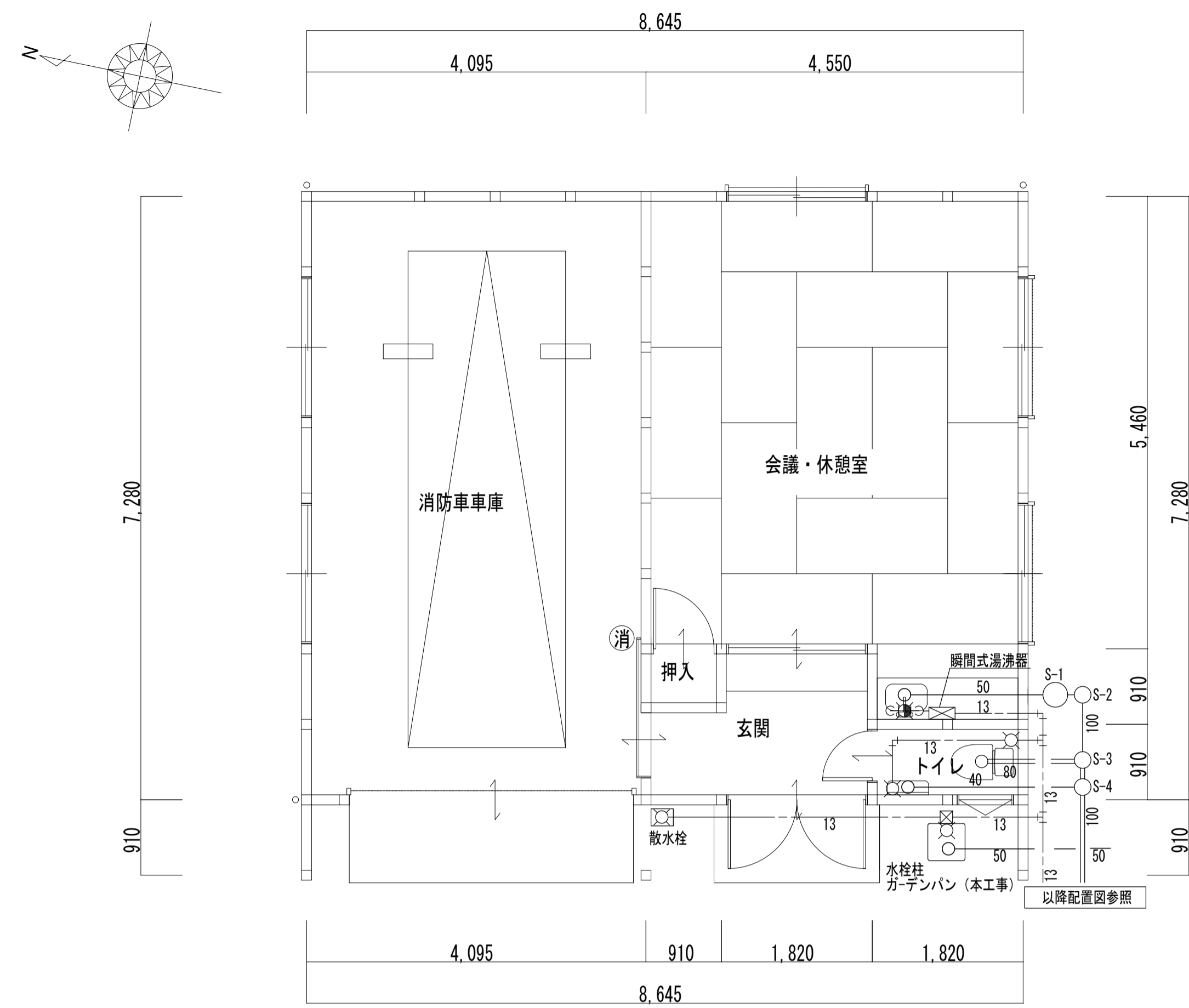
照明器具図

A42	LED 天井直付灯 W150	A41	LED 片反射並反射板 壁直付灯		
B20(R)	LED ブラケット直付灯	B10WP	LED ブラケット 防水センサー付	D100	LED ダウンライト
E250	LED スポットライト	E100(S)	LED 屋外スポットライト (人感センサー)		

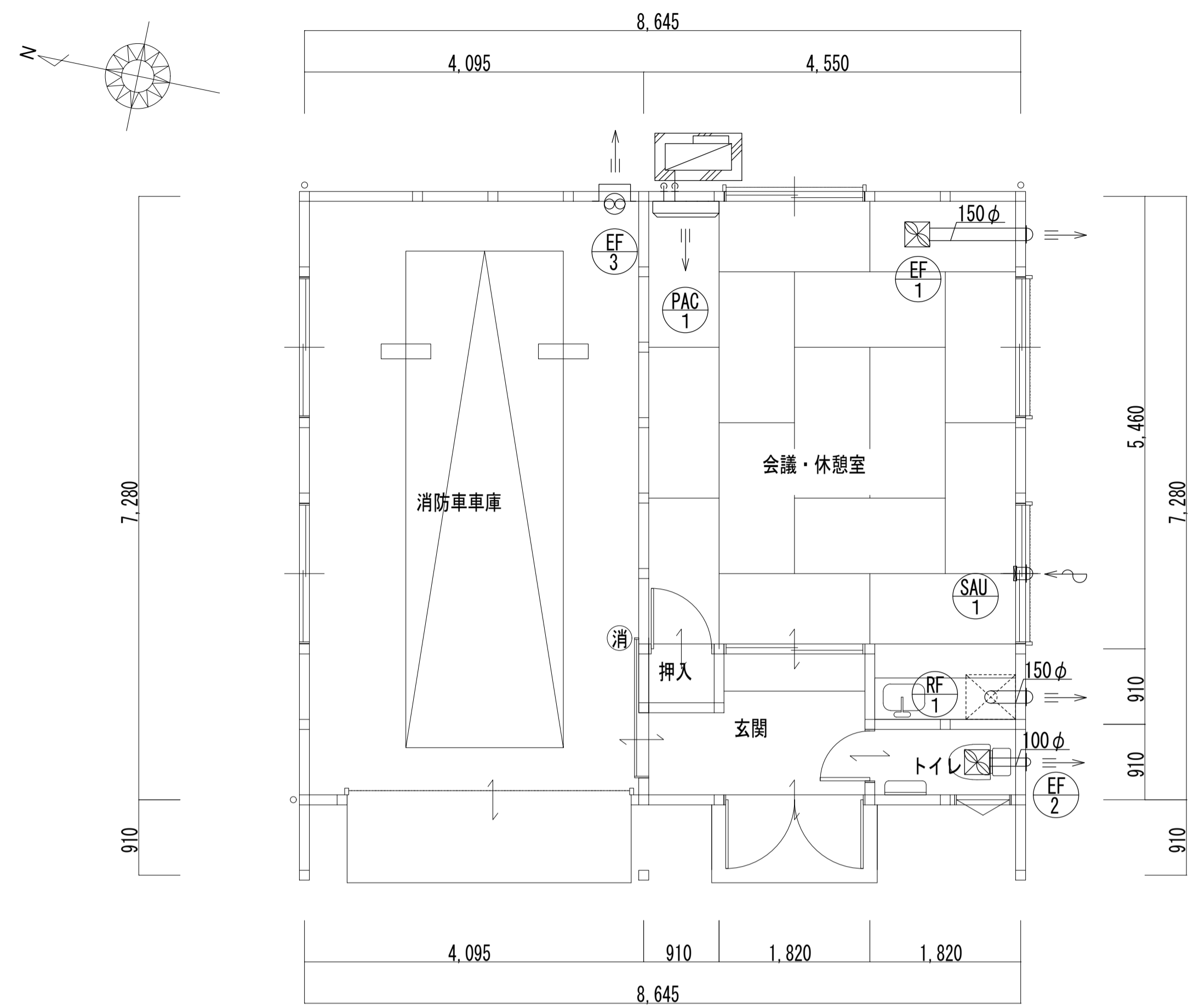
凡例

記号	名称及び仕様
■	電灯分電盤
■	引込開閉器盤
●	埋込スイッチ1P15Ax1
●	埋込スイッチ1P15Ax1 ホタルスイッチ
●	埋込スイッチ3W15Ax1
●	自動点滅器 (3A)
E1	埋込コンセント2P15Ax1
E2	埋込コンセント2P15Ax2 E付 ET共
E2EET	埋込コンセント2P15Ax2 E付 ET共 (防水型)
E2EET (WP)	埋込コンセント2P15Ax2 E付 ET共 (防水型)
E20AET	埋込コンセント2P20Ax1 E付 ET共
E20AET	埋込コンセント2P30Ax1 E付 ET共
□	プルボックス
○	ジョイントボックス
○	TV受口 (端末)
—	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)
—	EM-EEF1.6-3C (コロガシ)
—	EM-EEF1.6-2C x 2 (コロガシ)
—	EM-EEF1.6-2C x 2 + 3Cx1 (コロガシ)
—	EM-EEF1.6-3C (IE) (コロガシ)
—	EM-EEF2.0-2C (コロガシ)
—	EM-EEF2.0-3C (IE) (コロガシ)
—	EM-EEF1.6-2C (PF22)
—	EM-EEF1.6-3C (PF22)
—	接地工事 D種、D種 (ELB用)





平面図 S:1/50



平面図 S:1/50

衛生器具表 (新設)

器具名称	器具品番	器具付属品	合計	備考
床置床排水大便器	CS232B#NW1	SH232BA#NW1 TCF4713AKR#NW1 YH500#NW1 T11206#NW1 T11003R x2	1	
手洗い器	LSL870APR#NW1		1	
散水栓	T28UNH13		1	
同上ボックス	樹脂製		1	
樹脂製水栓柱	1200L	1200L	1	
キー付横水栓	T200CSNR13		1	
瞬間式湯沸器	E1X-2500D	1φ200V 5KW 25A 壁掛型	1	
シングルレバー混合水栓	TKS05311J		1	
アングル型止水栓	TL3470U		1	
流し台等	タカラ DY-165L	吊戸棚 タカラ W-M105 レンジフード VRAT-602ADL (前面パネル共)	1	
ガーデンパン	積水 650N型		1	

換気機器表 (新設)

記号	機器名	仕様	台数	動力			機器	設置場所	備考 (参考品番)
				φ	V	KW			
EF-1	天井扇	型式 - 低騒音形 インテリア格子タイプ 能力 - 風量 400CMH 付属品 - ステンレス製深形フード スパイラルダクト150φ 防露保温共	1	1	100	0.042	ファン	消防車庫	三菱電機VD-20ZXP13-C
EF-2	天井扇	型式 - 低騒音形 サニタリー用 能力 - 風量 90CMH 付属品 - ステンレス製深形フード スパイラルダクト100φ 防露保温共	1	1	100	0.0093	ファン	トイレ	三菱電機 VD-10ZC13
EF-3	業務用有任換気扇	型式 - 格子タイプ 電動シャッター付 能力 - 風量 1210CMH 付属品 - 取付枠 ステンレス製ウエザーカー (防虫網付)	1	1	100	0.04	ファン	消防車庫	三菱電機EFG-25KSR2-W
SAU-1	自然給気ユニット	型式 - 壁掛付 能力 - 150φ フィルター付 付属品 - ステンレス製深形フード	1					会議・休憩室	三菱電機 P-18WOU
RF-1	レンジフード	本体、ダクト工事は本工事とする。 付属品 - ステンレス製深形フード スパイラルダクト150φ 防露保温共	1					会議・休憩室	衛生器具表 参照

空調機器表 (新設)

記号	機器名	仕様	台数	動力			機器	設置場所	備考 (参考品番)
				φ	V	KW			
PAC-1	空冷ヒートポンプエアコン	型式 - 壁掛型 グリーン購入法 能力 - 冷房能力 5.6KW 暖房能力6.7KW 付属品 - 冷媒渡り配管 Cuφ.35φ、Cuφ.52φ 内外連絡線 コンクリート基礎200H 防振パッド 平置き台 (H500)メッキ製	1	1	200	2.38	エアコン	会議・休憩室	三菱電機MSZ-GV5620S

雑排水污水樹表 (新設)

符号	樹径	H	備考
S-1	φ300	300	樹脂製分糞樹 (バスケット付)
S-2	φ150	350	樹脂製インバート樹 段差付
S-3	φ150	380	樹脂製インバート樹 段差付
S-4	φ150	400	樹脂製インバート樹 段差付
S-5	φ150	480	樹脂製インバート樹 段差付
S-6	φ150	580	樹脂製インバート樹 段差付
S-7	φ150	660	樹脂製インバート樹 段差付
公設樹	φ200	1800	樹脂製インバート樹 底排水タイプ